

令和3（2021）年度

事業報告書

社会福祉法人

名古屋市身体障害者福祉連合会

目 次

事業報告(コロナの影響について・基本事業)	1
重点実施事項取組表	7
重点実施事項 取組成果報告	11
各部署 資料集	
本部	48
名身連ヘルパーセンター	63
名身連第一ワークス・第一デイサービス	65
名身連第二ワークス・第二デイサービス	69
熱田区障害者基幹相談支援センター	75
中村区障害者基幹相談支援センター	76
障害者相談センターめいしんれん	77
名身連聴覚言語障害者情報文化センター	78
障害者就労支援センターめいしんれん	99
サニーライフ犬山	101
グループホーム中村	102

令和3(2021)年度事業報告について

新型コロナウイルスの感染拡大により、当法人においても各事業に大きく影響がありました。一方、コロナの影響を最小限にするため様々な取り組みを実施しました。今後も継続してコロナの感染対策を行いながら、事業継続に努めていきます。
また施設経営として、目標を立てその目標に向け成果を上げるようにしました。併せて構造化、仕組み化に取り組みました。

【新型コロナウイルスによる事業への影響 について】

・令和1(2019)年度(コロナ前)と令和3年(2021)年度と収入を比較すると、-18,909,383円となりました。

【事務局】

旅行事業はコロナの移動自粛要請が発令された影響を大きく受けツアーの中止や旅行控えにより大きく影響を受けました。自動販売機事業は、公共施設の閉鎖や利用者が減ったことで影響を受けています。福祉バス事業は、施設、障害者団体ともにコロナにより行事の中止が多く福祉バスの貸し出しが減りました。

【第一WD・第二WD】

コロナの影響により感染リスクの高い重度障害の利用者の長期的なお休みがありました。そのためその部分では減収となりましたが、利用者確保もあわせて行ったため、減収を補うことができ大きな収入減少とはなっていません。また、利用者工賃に影響のある作業収入についても販売先の減少等はありませんでしたが、施設外就労の実施や営業活動の強化、新製品の発売等を行ったことで大きな収入減少とはなっていません。

【ヘルパーセンター】

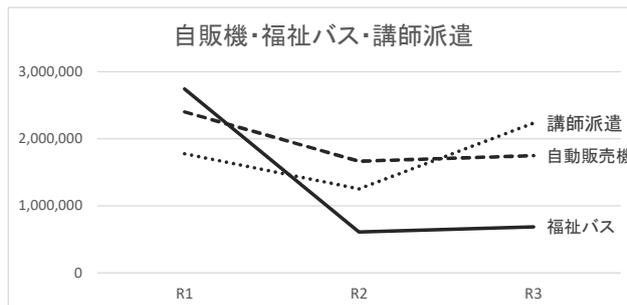
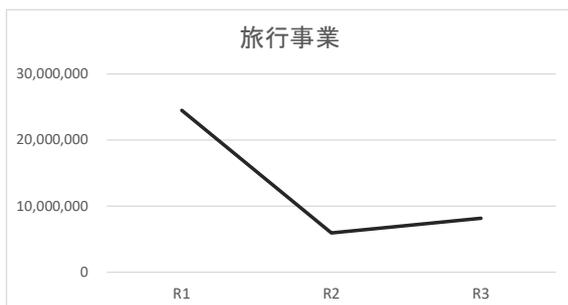
感染を恐れ外出自粛される利用者が多く、ヘルパー依頼が減少しました。

【聴言センター】

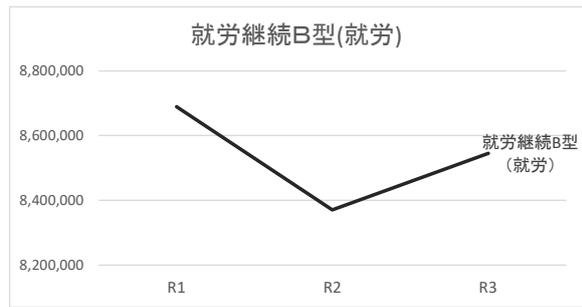
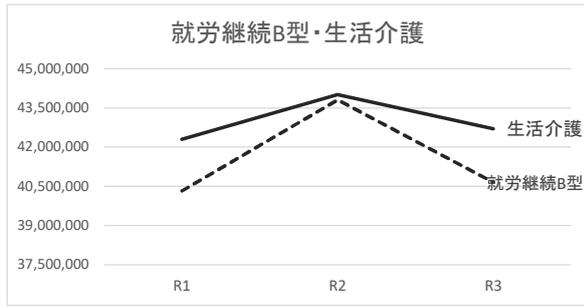
講演会、行事の中止により手話通訳の依頼が減少しました。

セクション名	事業	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R1からR3への増減
事務局	旅行事業	24,500,605	5,934,031	8,178,009	↓ -16,322,596
	自動販売機	2,399,440	1,665,023	1,747,637	↓ -651,803
	福祉バス	2,744,000	613,000	687,500	↓ -2,056,500
	講師派遣	1,777,196	1,252,985	2,233,598	↑ 456,402
第一	就労継続B型	40,323,855	43,808,800	40,650,177	↑ 326,322
	就労継続B型(就労)	8,689,166	8,370,149	8,545,444	↓ -143,722
	生活介護	42,300,525	44,013,969	42,705,899	↑ 405,374
第二	就労継続B型	32,266,835	32,857,367	31,974,392	↓ -292,443
	就労継続B型(就労)	34,231,547	38,868,137	40,201,624	↑ 5,970,077
	生活介護	101,652,420	93,284,872	98,585,747	↓ -3,066,673
ヘルパーセンター	同行援護/重度訪問介護/居宅介護	99,895,140	100,261,174	98,203,909	↓ -1,691,231
	移動	5,535,430	4,052,920	3,967,340	↓ -1,568,090
聴言センター	主催者負担(派遣)	1,080,000	577,110	805,500	↓ -274,500
計		397,396,159	375,559,537	378,486,776	↓ -18,909,383

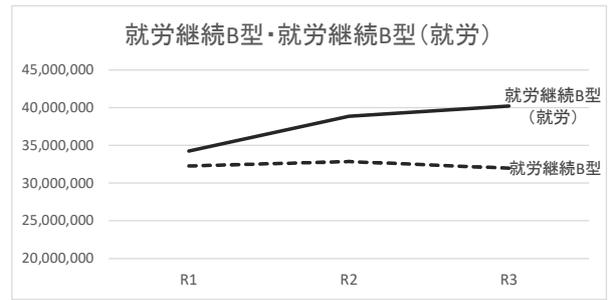
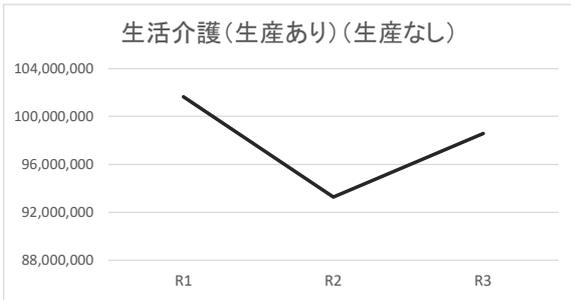
事務局



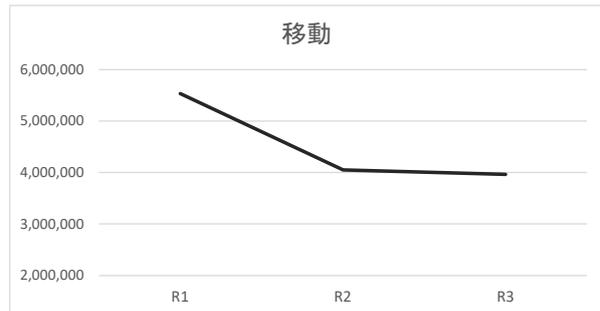
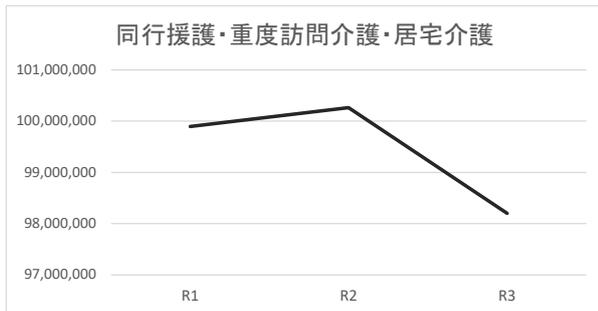
第一ワークス・第一デイサービス



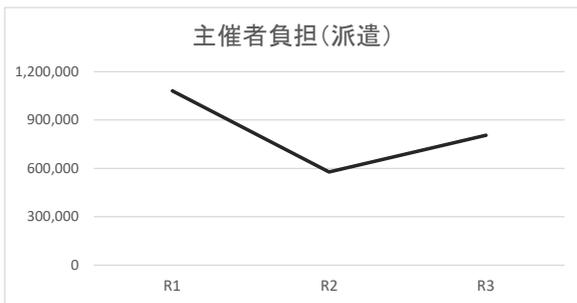
第二ワークス・第二デイサービス



ヘルパーセンター



聴言センター



基本事業として以下の17項目の事業を実施しました。

1. 法人の運営管理

理事会、評議員会、監事会、評議委員選定委員会を以下のように開催しました。

表1 (48 ページ)

2. 専門部会の運営

各区会長会、各区代表者会、視覚障害者部会、聴覚障害者部会、肢体障害者部会、内部障害者部会、青年部会や女性会、また、各区協会長・部会長による会議は、新型コロナウイルス感染症対策を取り、状況を鑑みながら一部開催しました。

表2 (49～50 ページ)

3. 就労支援施設の運営

- ・名身連第一ワークス・第一デイサービス
就労継続支援B型
- ・名身連第二ワークス・第二デイサービス
就労継続支援B型
- ・サニーライフ犬山
就労移行支援施設
定着支援事業
- ・障害者就労支援センターめいしんれん

4. 身体障害者居宅サービス事業の運営

- ・身体障害者居宅介護事業
名身連ヘルパーセンター・介護
- ・生活介護事業
生産活動有りの事業と生産活動無しの事業運営
名身連第一ワークス・第一デイサービス
名身連第二ワークス・第二デイサービス

5. 地域生活支援事業の実施

- 移動支援事業
 - ・名身連ヘルパーセンター・移動

6. 共同生活援助事業、ショートステイ事業の実施

- ・名身連グループホーム中村

7. 聴覚言語障害者情報文化センターの運営

聴覚障害者相談事業
専任手話通訳者設置事業
手話通訳者養成事業
手話通訳者派遣事業
手話奉仕員養成事業
手話奉仕員派遣事業
要約筆記者養成事業
要約筆記者派遣事業
盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業
音声機能障害者発声訓練事業
社会教育事業
文化活動事業（聴覚障害者文化活動事業、字幕映画事業）
情報提供事業（情報誌発行事業、ビデオ・カセット製作、貸出事業他）
中継サービス
障害者の IT 技術向上支援事業
独自事業

8. 相談事業の運営

- ・熱田区名身連・親愛の里共同事業体の運営
 - 一般相談支援事業
 - 特定相談
 - 支援事業・障害児相談支援事業
- ・中村区名身連・親愛の里共同事業体の運営
 - 一般相談支援事業
 - 特定相談
 - 支援事業・障害児相談支援事業
- ・障害者相談センターめいしんれん
 - 一般相談支援事業
 - 特定相談支援事業
 - 障害児相談支援事業

9. 社会参加推進事業の運営

福祉バス運行事業（おおぞら号、サンサン号）、盲女性家庭生活訓練事業、盲青年等社会生活教室開催事業を実施しました。

表 3-1～3-4（51～54 ページ）

10. 就労推進事業の運営

①ジョブコーチ事業の実施

- ・独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構第 1 号ジョブコーチとして登録しています。なお、今年度は実施できませんでした。

②雇用管理サポート事業の実施

- ・独立行政法人高齢・障害者雇用開発機構の行う雇用管理サポート事業として登録しています。なお、今年度は依頼がありませんでした。

11. 更生、援護相談事業の実施

生活相談事業、職業相談事業を実施しました。

表 4 (55 ページ)

12. 文化、教養に関する事業の実施

障害者作品展示会、講師派遣事業を実施しました。

なお、出版事業については、実施できませんでした。

13. スポーツ振興事業の実施

第 18 回名古屋市障害者スポーツ大会

陸上・フライングディスク (5 月 9 日)

~~アーチェリー (6 月 13 日)~~ ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

~~水泳 (8 月 22 日)~~ ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

卓球 (11 月 14 日)

第 21 回全国障害者スポーツ大会 (10 月 23 日～25 日 三重県)

新型コロナウイルス感染症の影響によりすべて中止

14. 大会、懇談会等の開催及び全国大会等への参加

第 66 回日身連全国大会 (6 月 28 日)

新型コロナウイルス感染症の影響によりオンライン配信

日身連評議員会

書面決議で参加

~~第 62 回政令指定都市団体連絡協議会 (10 月 2 日～3 日 川崎市)~~

新型コロナウイルス感染症の影響により中止、書面決議へ変更

日身連中部ブロック団体長会議 (2 回)

オンラインで開催

~~障害者と市民のつどい (10 月 3 日)~~

新型コロナウイルス感染症の影響により中止

~~日身連中部ブロック相談員研修会 (11 月 4 日～5 日 富山県)~~

新型コロナウイルス感染症の影響により中止

第 66 回名古屋市身体障害者福祉大会 (11 月 21 日)

新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小して開催

障害者の日記念のつどい (12 月 3 日)

主管団体として参加

15. 組織強化対策事業
賛助会員制度
ホームページ事業
機関紙発行事業
調査・研究事業
地域組織等の育成並びに調整事業
名身連ボランティア育成
旅行業の経営

16. 職員研修事業 4月24日

17. 事業の策定、企画、検討業務の推進

令和3年度(2021年度) 重点実施事項取り組み表

テーマ	重点計画事項		担当部署	令和3年度(2021年度) 事業計画	令和3年度(2021年度) 結果	成果ページ数		
利用者支援	1	(1) 支援方法を向上する	①管理システム	サービス品質マネジメント委員会	福祉サービス第三者評価を活用し、カスタマイズされた各部門の支援方法を監視するとともに、支援効果の妥当性評価の監視体制を構築する。	各部署においてカスタマイズした福祉サービス第三者評価事項について自己評価しました。そして有効性、妥当性の得られていない事項について、計画的に改善をしてきました。そのチェック体制については下記のISOの援用によるサービスシステムにおいて構築した「運用」「改善」とともにチェック体制を整備することとしました。	—	
			②マニュアルの高度化	サービス品質マネジメント委員会	昨年明確にしたサービスの提供プロセスやサービスの質について全体化を図っていく。	ISOの援用によるサービスシステムで構築した「運用」の要求事項に基づいて、各部署、インプットプロセスアウトプットを明確化したサービスプロセスマニュアルを作成しました。今後他の要求事項を構築しながらブラッシュアップしていきます。	—	
			③サービスの再検討	聴言センター	①音声認識サポーター啓発・養成講座について、遠くは他府県からも参加希望があり、大学やコンサートホール関係者からも問い合わせがあり、今後の繋がりとし、人材を養成をするための実体験場を提供することや、グループでの活動につなげてもらえるように支援を継続していき、今後独自事業として展開できるかも含め検討していく。 ②ビデオによる情報提供を行う。 ③図書室の「視聴」「談話」「グループ学習」の活用については低調であるため、その在り方について検討する。	①音声認識を事業化するにあたってのサポーター養成を進めました。当事者団体と会議など実際に聴覚障害者(難聴者)の発声状況に慣れてもらう機会を設け、実践を繰り返して行いました。外部団体とも音楽コンサートにおける字幕付与など文化活動事業においても活用の幅を広げる取り組みを進めました。 ②手話付動画として9本制作し、情報提供を進めました。聴覚障害当事者だけではなく行政機関へも取り組みを啓発していきます。 ③グループ学習スペースとしての新規登録数は2件でした。(現総登録数6件)手話講習会でのPRを継続していきます。	成果 P11~12	
				基幹・相談	継続検討する。	継続検討します。	—	
			事務局	①旅行事業 コロナの影響が前期までは継続する見込み。また冬以降の状況が不明のため、コロナが落ち着きそうな夏くらいに集中して計画を立てていく。また、緊急事態宣言等の要請がない限りコロナ対策をしたうえで対策をとり最低月1回のツアー企画を進めていく。 ②講師派遣事業 感染症対策を整え実施していく。オンデマンド研修も検討する。	①旅行事業について、まん延防止等により県外の移動自粛が求められたため、名古屋市内のツアーを企画しました。また、緊急事態宣言中はオンラインツアーを企画し、コロナが落ち着いた後に名古屋に旅行に来てもらえるようにオンラインによるユーチューブ動画を作成しました。 ②講師派遣事業について、一部動画を作成し実施しました。また、コロナ感染対策をとったうえでリアルでも実施しました。	①成果P13~14 ②成果P15~16		
利用者支援	1	(2) 利用者工賃の向上	サービス品質マネジメント委員会(新)	営業を強化、内作率及び施設外就労に取り組み利用者工賃を10%向上する。 ・はちみつについては第二w、サニーライフで実施 ・縫製については第一wで実施 ・印刷については3部門で実施 ・施設外就労は第一wで実施	【第一ワークス】 縫製は、新規に消防局の制服(ウエルフェアトレードコンペで「地域密着賞」受賞)やホースのリサイクル商品を作製。はちみつ販売やレンタサイクルも順調に推移しました。 【第二ワークス】 印刷部門は年明けからの受注がふるいませんでしたが、年度を通じては前年度実績を上回っています。 *第一の平均工賃は4,336円(26%)、第二では3,251円(14%)の伸びがあり、来年度の報酬単位はランクアップします。	成果P17~19		
			(3) 継続的改善及び研究力を向上させる	①利用者満足度の向上	満足度PT	現場レベルで実践できるよう満足度PT及びケースワークPTを中心に進める。	利用者満足度調査を実施し利用者による結果を公表しています。さらに、利用者満足度を向上するために、サービスの提供価値について検討し、各部署において実践提供価値についてまとめました。	成果P20~24
				②リスクマネジメント活動の推進	リスクマネジメント委員会	①リスクマネジメント委員会を開催する。1回/月	毎月1回リスクマネジメント委員会を開催し、真因の究明と対策をとったうえで、その結果を全職員に周知を図りました。また、災害時職員携帯カードと緊急連絡先更新し、災害ヘルメットを配布しました。	成果P25~26
				③継続的改善、研究力の向上	チャレンジPT	・発表会を新規採用者を含め4月に開催する。 ・取り組みを一部一題に制約せず多くの発表を募集する(個人、グループ)	発表数は4題でした。改善活動は平成28年から取り組んでいますが、取り組みの意義や改善ステップ、使用する手法の活用等が形骸化している面が否めません。改めて改善活動の意味や必要性について、来年度全職員に理解を促す取り組みを行います。	—

令和3年度(2021年度) 重点実施事項取り組み表

テーマ	重点計画事項	担当部署	令和3年度(2021年度) 事業計画	令和3年度(2021年度) 結果	成果ページ数	
広報及び寄附活動	2 利用者確保	①ホームページや広報誌、ちらしなどによるPR	広報PT	<ul style="list-style-type: none"> 来年度早々、55回バーチャル作品展の掲載に併せ、サテライト企画の動画を公開予定とし、編集作業を進めていく。 ホームページ改修は事業の変更部分にとどまっているため、今後さらに見やすく使いやすいものにする改修を計画する。 機関紙や施設通信、ホームページでの発信内容をさらに魅力あるものとし、発信ツールの幅も広げる（YouTubeでの動画配信やTwitterなど）。 	<ul style="list-style-type: none"> 第55回バーチャル作品展の掲載を実施し、コロナ禍においても芸術を楽しむ機会を継続して実施しました。またサテライト企画では、動画配信はできませんでしたが、昨年度動画配信により取り上げた作者のその後の変化を取材したリーフレットを作成し作品展の提供価値を広報しました。 ホームページの全体改修については、中・長期計画において検討していくことになり、部分的な改修にとどまりました。 広報においては、地域とのつながりや利用者さんの変化に焦点をあて内容を充実させ、関係者に提供価値が伝わるよう施設通信、名古屋身障を発行しました。またホームページでは、障害のある人にとって参考になる情報を聴言センターのYouTube動画やホームページ、Twitterで発信しました。 	成果P27～29
		②中間ユーザーへの働きかけ 協力機関・施設への働きかけ	利用者確保PT	回復期病院との関係では、セラピスト（PT,PT等）との関係強化を図り、リハビリ修了者を確保する。また、コロナの状況を考慮に入れて現況説明会を実施する。	回復期病院とは、利用に繋がった利用者さんのケース検討会や回復期病院やケアマネジャーを対象とした現況説明会を実施しました。障害福祉サービスばかりでなく、診療報酬も大きく変化しています。変化に立ち遅れないよう情報収集し、関係機関との関係強化に努めました。第一2施設の新規利用者は6名、第二3施設は5名でした。	—
		(3) 協力機関・施設への働きかけ	全部門		Nリハビリテーションセンター、区内回復期病院、いきいき支援センター、居宅介護支援事業所などへの名身連情報の提供を行いました。	—
	3 協力者確保	ボランティア	全部門	音訳ボランティアについて、今期は、コロナ対策を十分とったうえで申し込みが少人数であっても実施していき新規会員を目指すとともに、おとしらべの活動も焦点を当て名身連の提供価値につなげる。 また、手話ボランティアについても、コロナ対策をとったうえで講習会や手話サークルにてPRしていき、新規会員獲得につなげる。	<p>【事務局】</p> <p>音訳ボランティア養成講習会を開催しました。その結果、4名受講し全ての方が修了しました。また、その後も音訳ボランティアグループ「おとしるべ」に登録されました。また、「おとしるべに」の活動を継続、拡大するため、パソコンの寄贈をしていただける企業様を紹介し活動を支援しました。</p> <p>【第二ワークス】</p> <p>コロナ禍であったため、公募は行ないませんでした。しかし聴言センター手話講座受講生2名が「生活介護なし」で月2回「手話の体験講座」を開いて頂いた。また、その内1名は「生活介護あり」の作業補助に入って頂いています。</p> <p>【聴言センター】</p> <p>今年度より、聴覚障害分野ボランティアを募集し、手話教室や社会講座のサポート、ライブラリーの整理等を実施してもらいました。ボランティア登録者22名、活動件数22件、延べ活動人数53人でした。</p>	—
	4 ファンディング活動	賛助会員・一般寄付・遺贈	事務局	名身連のサービス提供価値を広報していき、共感や理解を得て賛助会員を増やし協力者を確保していく。そのため、賛助会員の取り組みと広報活動はセットで進めていく。	<ul style="list-style-type: none"> 税額控除申請を行うための賛助会員100名の目標に対して、賛助会員149名で目標を達成しました。そのうち新規賛助会員が24名で目標としていた30名には達成しませんでした。 賛助会員に対して、年4回の施設通信とともに、賛助会費報告レターを送付し、名身連の取り組みについてより詳細を知っていただくよう広報しました。 賛助会員確保活動として、事務局の関係機関へ個別に依頼活動を実施し法人全体の事業内容を広報しました。その結果、名身連の内部関係者以外の会員も増えました。この活動を法人全体に広げることが課題です。 一方、一般寄付、遺贈はありませんでした。 	成果P30

令和3年度(2021年度) 重点実施事項取り組み表

テーマ	重点計画事項			担当部署	令和3年度(2021年度) 事業計画	令和3年度(2021年度) 結果	成果ページ数																																					
経営活動	5	人事・組織機能の強化	①組織機能：職務分掌、予算制度、会議運営、内部監査他 ②人事・労務管理機能：採用・活動、人事配置、教育人材育成、人事考課、昇進・昇格、就労環境、労使関係等 ③外部評価技術の修得による法人内部監査機能の強化 ④ガバナンスの強化、透明性の向上、財務規律の強化、社会福祉充実計画の作成・実施 ⑤BCP	事務局 (②の教育人材育成：サービス品質マネジメント委員会(新))	①③④ 円滑な経理処理、そのデータを基にした財務管理、内部統制、マニュアル作成などを着実に進め、機能するようにする。 また、労務管理についても専門家の導入並びに法人内での役割を明確にしていく。 ②人材サイトの利用、インターシップの強化による人材確保を図る。目標管理制度については、キャリアアップの仕組みと一体として再検討する。 ⑤BCP計画に沿った必要物品購入する。また、非常用トイレについては、必要最小数を絞り込んで早期に購入予定する。 感染症に関するBCPについては、情報収集したものを参考に作成に取り組む。	①組織機能の向上について 経営指標の導入を進めました。 ②人事、労務管理の向上について キャリアパス制度・人事考課制度の検討・導入に向け令和4(2022)年度は担当者を決めて進めます。 労務管理については専門家である社会保険労務士と契約を締結し令和4(2022)年度より進めていきます。 ③内部監査機能の強化について 今年度より法定監査人から任意監査人に変更し、内部監査とともに財務についてのスーパーバイズしてもらいました。また税理士を依頼し、日々の経理処理について月1回チェックを入れてもらい、適正な経理処理を全部門で行いました。 ④ガバナンス・透明性・財務規律の強化及び社会福祉充実残高の計画 令和4(2022)年度に取り組みます。 社会福祉充実残高の計画作成は対象外となります。 ⑤BCPの取り組み作成 感染症に関するBCPも含め作成しました。	成果P31																																					
経営活動	6	財務機能の強化 収益計画・統制、資金の調達・運用、会計・経理、月次決算制度、内部統制組織等		事務局	担当者、役割を明確にし財務管理同様機能するように進める。 経営会議の内容も明確にし、最新情報で議論ができるようにしていく。	会計担当者の日常の会計処理及び決算処理スキルを上げることを目的に会計担当者ミーティングを令和3年6月より開始しました。令和3年度は10回(毎月実施)行い、それにより各会計の決算業務は各担当者で実施できるようになり取りまとめに係る残業時間が減少しました。 令和2年度 77.59H ⇒ 令和3年度 18.5H その結果、税理士から指導された内容を全部門で共通認識し実施したことで、適正な経理処理が進み部門間のコミュニケーションが高まり属人的な仕事のありようが改善されつつあります。今後は、各担当者のスキル向上を目指します。	成果P32																																					
	7	①経営管理 ②情報管理 ③プロジェクト管理		経営管理部門	・経営会議の参加について、参加メンバーも含め再検討し、継続して開催する。 ・法人本部で議論すべきことを整理し円滑に進める。 ・各種会議議事録の整備を進める。	・経営会議9回実施しました。 ・法人本部会議は定例12回、随時開催15回実施しました。 ・各種議事録を速やかに作成するとともに、関係者がいつでも確認できるよう共有フォルダーを作成しました。	—																																					
	8	大規模改修等及び車両、生産設備についての年次計画に基づいた実施		事務局	喫緊の課題である改修工事は、年度当初の理事会にて提案をしたい。そのうえで一般入札に関わる段取りを進めていく。更に、この改修工事的必要性となる資料を「建物中長期保全計画」を作成して経年的な予算立てを図る必要がある。ややもすれば見落としがちな日常の点検や定期点検を通して建物の使用に関する安全安心な保全計画を立てていく。	第一ワークス・福祉センターの防水やりかえ及び外壁塗装を行いました。また、第一ワークスにおいては1階2階のトイレの改修も併せて行いました。	—																																					
経営活動	9	(1) 安定した収益の確保 収入計画	①利用率	生活介護	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">R3(2021)年度</th> <th colspan="3">目標</th> <th colspan="3">実績</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>利用者数(定員20名)</th> <th>新規利用者</th> <th>平均利用率</th> <th>利用者数(定員20名)</th> <th>新規利用者</th> <th>平均利用率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">生活介護</td> <td>第1W</td> <td>18名</td> <td>2名</td> <td>90%</td> <td>16.5名</td> <td>1名</td> <td>82.7%</td> </tr> <tr> <td>第2W 生産活動あり</td> <td>18名</td> <td>1名</td> <td>90%</td> <td>18.3名</td> <td>3名</td> <td>91.5%</td> </tr> <tr> <td>第2W 生産活動なし</td> <td>17名</td> <td>1名</td> <td>85%</td> <td>15.1名</td> <td>2名</td> <td>75.5%</td> </tr> </tbody> </table>	R3(2021)年度		目標			実績					利用者数(定員20名)	新規利用者	平均利用率	利用者数(定員20名)	新規利用者	平均利用率	生活介護	第1W	18名	2名	90%	16.5名	1名	82.7%	第2W 生産活動あり	18名	1名	90%	18.3名	3名	91.5%	第2W 生産活動なし	17名	1名	85%	15.1名	2名	75.5%	成果P33~41
R3(2021)年度		目標			実績																																							
		利用者数(定員20名)	新規利用者	平均利用率	利用者数(定員20名)	新規利用者	平均利用率																																					
生活介護	第1W	18名	2名	90%	16.5名	1名	82.7%																																					
	第2W 生産活動あり	18名	1名	90%	18.3名	3名	91.5%																																					
	第2W 生産活動なし	17名	1名	85%	15.1名	2名	75.5%																																					
就労継続B型	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">R3(2021)年度</th> <th colspan="2">目標</th> <th colspan="2">実績</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>利用者数(定員)</th> <th>平均利用率</th> <th>利用者数</th> <th>平均利用率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">B型</td> <td>第1W 就労継続B型</td> <td>23名(24名)</td> <td>95%</td> <td>22.6名</td> <td>94.3%</td> </tr> <tr> <td>第2W 就労継続B型</td> <td>19名(20名)</td> <td>95%</td> <td>17.7名</td> <td>88.5%</td> </tr> </tbody> </table>	R3(2021)年度		目標		実績				利用者数(定員)	平均利用率	利用者数	平均利用率	B型	第1W 就労継続B型	23名(24名)	95%	22.6名	94.3%	第2W 就労継続B型	19名(20名)	95%	17.7名	88.5%																				
R3(2021)年度		目標		実績																																								
		利用者数(定員)	平均利用率	利用者数	平均利用率																																							
B型	第1W 就労継続B型	23名(24名)	95%	22.6名	94.3%																																							
	第2W 就労継続B型	19名(20名)	95%	17.7名	88.5%																																							

令和3年度(2021年度) 重点実施事項取り組み表

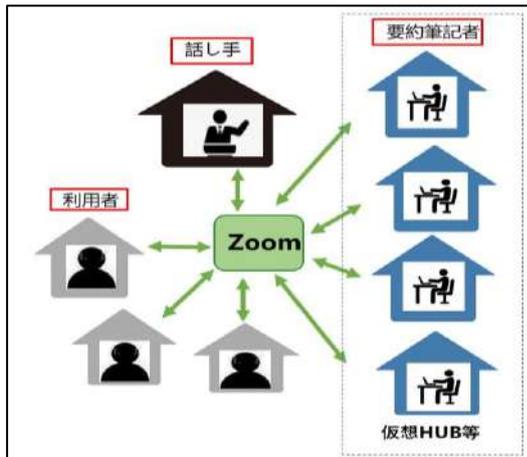
テーマ	重点計画事項		担当部署	令和3年度(2021年度) 事業計画	令和3年度(2021年度) 結果	成果ページ数															
経営活動	9 収入計画	①利用率	(1) 安定した収益の確保	就労センター	コロナ禍で未達成であった令和2年度の目標値をもとに、新規登録者115名。就職件数60名。相談件数4880件は最低ラインとする。愛知県や名古屋市の企業支援相談窓口となる機関の協力を得て、就労の窓口を広げていく。また職員一人一人の支援技術を高めるとともに、就労支援センターがチームとして行動しサポート体制を強化する。	新規登録者87名 就職件数71名 相談件数4,645件	成果 P42														
				ヘルパーセンター	<ul style="list-style-type: none"> 新規利用者35名、利用時間月2900時間を目標とする。 新規利用者は厳密な計画に沿った支給決定となり、支給時間は減る傾向にある。今後もますます短時間活動が増加してゆくことが見込まれるが、積極的な引き受けを進める(短時間派遣は単価が高く、引き受ける事業所が少ない分、相対的に問合せが増える)。生活に必要な活動なので、コロナ禍のような非常時のリスクマネジメントにもなる。 コロナによる外出自粛の影響がおさまったとき、事業所閉鎖の影響を受けた利用者やヘルパーの流入が考えられる。それに備えて研修回数を増やすなど、事業規模を拡大する下地を作る。 ヘルパーのキャリアパスで選択肢を増やすなど、特定処遇改善加算の取得に向けて条件整備を進める。有償ボランティアから雇用契約への移行を進める。 	新規利用者24名、利用時間月2,758.5時間でした。	成果 P43														
				サニーライフめいしんれん	利用率18名/定員20名、利用期間1年/2年を目指す。 ・主な利用者紹介機関・施設であるハローワーク、生活・就業生活支援センター、職業訓練校(委託訓練)、A精神科クリニックとの連携も整ったため、犬山での事業経営は可能と判断できる。 ・利用期間は制度的には2年であるが、短期間で就職することにより基本単価が上がり収益向上する。1年事業を実施した経験から1年の利用期間で可能と判断。	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">R3(2021)年度</th> <th colspan="2">目標</th> <th colspan="2">実績</th> </tr> <tr> <th>利用者数(定員)</th> <th>平均利用率</th> <th>利用者数</th> <th>平均利用率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サニーライフ就労移行</td> <td>18名(20名)</td> <td>90%</td> <td>16.6名</td> <td>82.5%</td> </tr> </tbody> </table>	R3(2021)年度	目標		実績		利用者数(定員)	平均利用率	利用者数	平均利用率	サニーライフ就労移行	18名(20名)	90%	16.6名	82.5%	成果 P44~45
				R3(2021)年度	目標			実績													
	利用者数(定員)	平均利用率	利用者数		平均利用率																
サニーライフ就労移行	18名(20名)	90%	16.6名	82.5%																	
グループホーム あらいセンター	共同生活援助、利用者数9名/定員10名、利用率90%。 ショートステイ=早期実施を目指す(コロナの影響から)	共同生活援助=9.2名、利用率92%。 ショートステイ=令和3年12月スタート29名、4%に終わった。	—																		
	②収入目標	全体	障害福祉サービス事業収益545,980,000円を目指す。	515,294,858円となりました。 令和3(2021)年度もコロナの影響を受けている事業があります。 旅行センター：コロナの影響が少ない令和1(2019)年度収入の1/3までしか戻っていません。 売店：コロナの影響が少ない令和1(2019)年度収入の7割までしか戻っていません。 福祉バス：コロナの影響が少ない令和1(2019)年度の利用料収入の3割までしか戻っていません。 ヘルパーセンター：コロナの影響により利用者が外出制限されましたが、処遇改善加算の区分を上げたことで大きな収入減少とはなっていません。(処遇改善加算額：令和2(2020)年22,705,755円→令和3(2021)年度28,172,460円)	—																
	10 団体活動支援	事務局	75周年に向けて計画的にデータ収集を行う。	名古屋身障、日身連の機関紙をもとデータとして、年表作成を行いました。今後は当事者インタビューのまとめを行います。	成果 P46~47																

各 部 署 成 果

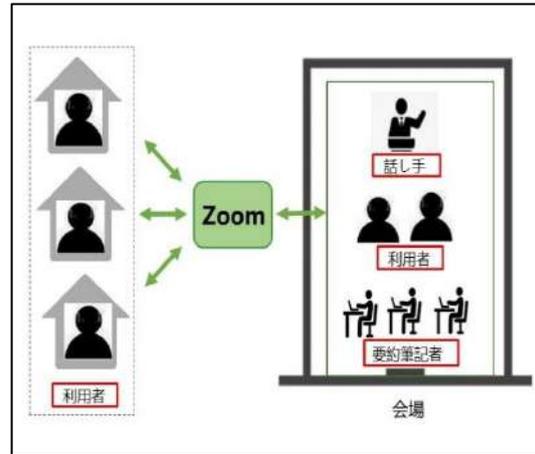
令和3年度聴覚言語障害者情報文化センター成果報告

派遣事業

●派遣事業については、手話通訳者派遣と要約筆記者派遣(手書き要約筆記とパソコン要約筆記)、盲ろう者向け通訳・介助員派遣があります。今年度も新型コロナウイルス感染拡大状況の影響が派遣件数にはありませんでした。その中でも、今年度は特に遠隔要約筆記派遣を制度として機能させるための取り組みを行いました。2021年度は遠隔要約派遣は50件対応し、全体の33%でした。新型コロナウイルス感染拡大状況下においても安心して利用できる制度となりました。



利用する人、要約筆記者全てが在宅で対応する



利用者は在宅 ハイブリッド形式(ひとつの例として)

養成事業

●養成事業については、各講習会開催にあたり感染予防対策を万全として、各受講定員数を減らして開講をしました。定員数を減らした分については、委託元である名古屋市と交渉して、開講コースを増加(2コースを3コースへ)しました。また、新たな取り組みとして「初めてのオンライン手話」コースを新設し、講師も受講生もオンライン上で学ぶ機会を設け、コロナ感染状況に左右されない事業展開を開始しました。

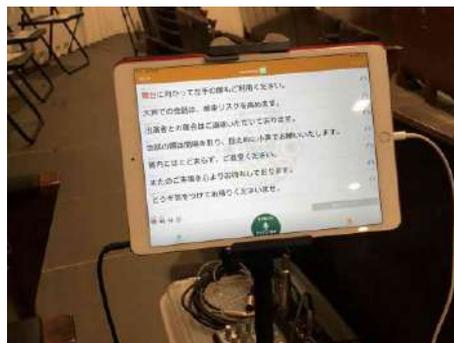
社会参加促進事業(情報提供事業)

①音声認識アプリ(UDトーク)を使用した字幕対応

芸術関連(歌や演劇など)について、手話通訳や要約筆記の対象とならないケースがあるため情報保障をどうするのか検討を重ねた結果として、ICT(音声認識)の活用を進めています。



宗次ホールでのコンサート字幕の様子



タブレット端末での音声認識対応の様子

②手話付き動画の作成

手話言語の聴覚障害者で、特に文面の理解が困難な人に対して、情報が届かないことが多いため新たな情報をいかに早く、分かりやすく伝えるために動画制作を進めました。

今年度の製作本数は9本でした。



遠隔手話通訳サービスの利用方法



コロナワクチン障害者優先接種予約サポート体制について

令和3年度事務局 旅行成果報告

●令和3年度の実績

前年度に引き続きコロナ禍の影響があったものの、積極的なツアー企画を行った。その結果 17 件の企画作成、その内 11 件を催行。緊急事態宣言が発出された場合県外企画は催行中止となる為、県内ツアーも取り入れた。中でも新しい試みとしてオンラインツアーを作成。熱田神宮を取り上げ、バリアフリー情報や見落としがちな魅力について動画で紹介した。再生回数が千回を超えており、今後県外の方の呼び込みに繋げたい。



オンラインツアー（熱田神宮）

●今後の課題

福祉バスツアーはバス予約の上限が月 2 回の為、企画ツアー増加に向けてコラボ旅行やバスを使わないツアーも企画する。個人旅行は、ニーズに合わせたリッチなツアーも提案し、要望に対応していく。

●企画ツアー実績 11 件	
4/4	金閣寺・南禅寺
4/24	静岡大井川鉄道
6/27	さくらんぼ狩り
7/11	上高地
10/3	ぶどう狩り
10/30	近鉄特急ひのとり海遊館
11/7	みかん狩り
11/18	熱田神宮(オンライン)
11/27	名古屋港クルーズ船
12/19~20	出雲大社



定期企画ツアー（海遊館）

3/13	平安神宮初詣
3/26	マリナーライダー
●中止 6件(緊急事態宣言発出等)	
5/16	浜松フラワーパーク
6/6	上高地
8/28	伊吹山スカイライン
9/26~27	出雲大社
1/23	平安神宮初詣
2/19	奈良梅まつり



定期企画ツアー（みかん狩り）

●その他実績

個人旅行 企画・手配	29件
JR 旅券 手配	24件
お弁当 手配	2件
JTB ギフト券 手配	1件
おせち料理 手配	12件



1泊ツアー（出雲大社）

令和3年度事務局 講師派遣成果報告

●令和3年度の実績

講師派遣事業をとおして、大学での講義や実習生を受け入れたことでインターンシップや会社説明会への参加に繋がった学生が4名いました。また、障害理解の研修を行ったことで名身連の活動に共感していただき、賛助会員になっていただけた団体1団体や個人の方がいました。他にも、視覚障害者の方への対応研修をとおしてコンサートの招待もありました。メディアから取材を受け、テレビ放映等もされました。

名古屋市障害支援区分認定審査会 37回/年

名古屋市関係会議委員 28回/年

障害理解等研修・講義 72回/年 ※うち1回は、動画作成を行い受講者に動画配信しました。

実習生受入 90日/年

関わった実職員数 20名/227回

利用者で当事者として参加した方 7名/227回

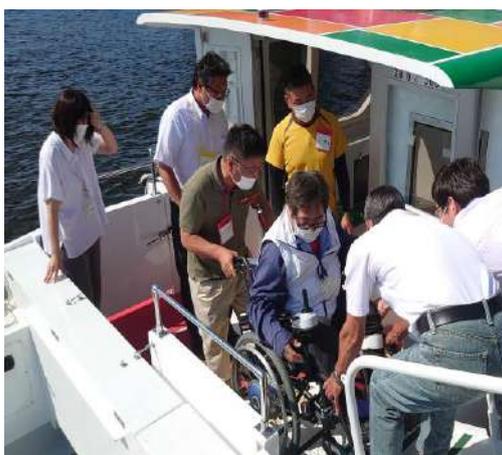
●今後の課題

講師の養成とキャリアパスとの連携

プログラムの整備

日付	行き先	内容
6月18日	でんきの科学館	職員研修(聴覚障害・手話)
6月28日	東生涯学習センター	バリアフリー研修
6月29日	港ポートビル	バリアフリー研修
6月29日~8月31日 (毎週全10回)	一宮市社会福祉協議会本部	点訳講習会
7月(前期10回) 10月後期(10回)	オンライン(星城大学)	手話講座
7月14日	日本福祉大学(半田キャンパス)	相談援助実習指導 I
7月21日	市役所	福祉コンシェルジュ研修
7月19日	南山中学校	福祉体験(手話)
6月24日	愛知県障害課	相談員現任研修
7月19日	愛知県障害課	相談員現任研修
8月16日	愛知県立大学	実習受け入れにあたって
8月25日	山本屋	視覚障害のあるお客様の接客研修 <u>中京テレビより取材、9/2 放映</u>
8月25日	愛知県障害課	相談員現任研修
8月27日~28日	日本福祉大学(半田キャンパス)	就労支援サービス
8月30日,31日,10月 18日,11月18日,19日	愛知県社会福祉協議会	相談員初任者研修

9月～1月(全15回)	愛知淑徳大学	福祉サービスの組織と経営
9月7日	岩塚小学校	聴覚障害について
9月7日～9月21日 (毎週全3回)	大口町健康文化センター	点訳ボランティア養成講座
9月14日	日比津小学校	講師
10月8日	豊田通商会議室	障害者の理解および体験実習
11月26日	東京大志学園名古屋校	視覚障害者のことを知る講義 <u>中京テレビより取材、放映</u> <u>3/18 中京テレビ WEB に掲載</u>
11月29日	(株)共立名古屋市公会堂	バリアフリー研修 <u>NHK 放送大学より取材</u> <u>4/8 BS で放映</u>
1月11日	熱田文化小劇場	視覚障害者対応研修・車イス研修
12月7日	南光中学校	福祉講演会
2月～3月	オンライン(名古屋市)	指定管理研修
2月(全15回)	愛知淑徳大学	障害福祉



6月29日バリアフリー研修 港ポートビル



11月29日バリアフリー研修 名古屋市公会堂



1月11日視覚障害者・車イス対応研修
熱田小文化劇場



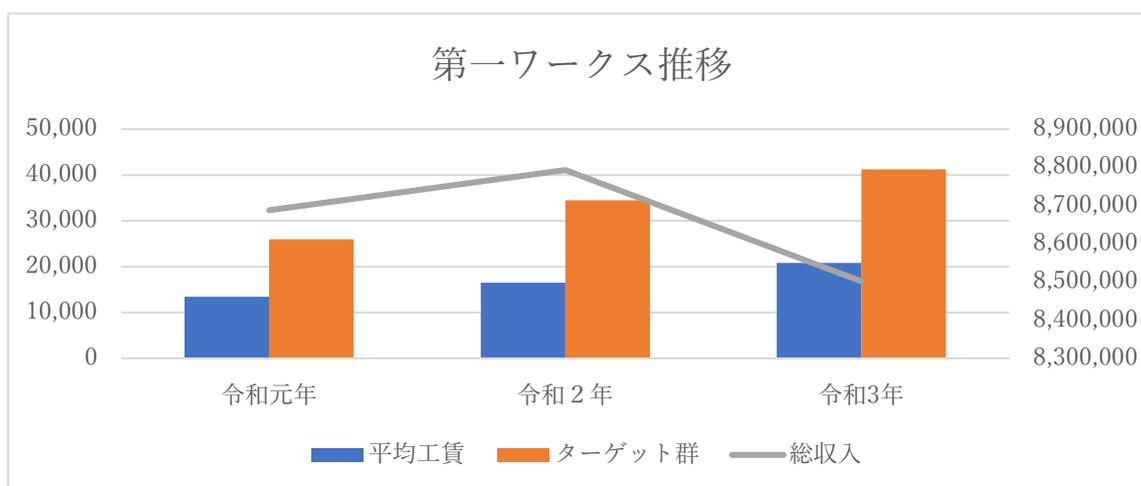
8月25日視覚障害のあるお客様の対応研修
山本屋(メディア取材あり)

令和3年度成果報告 工賃向上 PT

■第一ワークス収入、工賃、単位等

第一・第二の報酬単位は当年度の実績を反映したものであり、実際には次年度の単位となる。

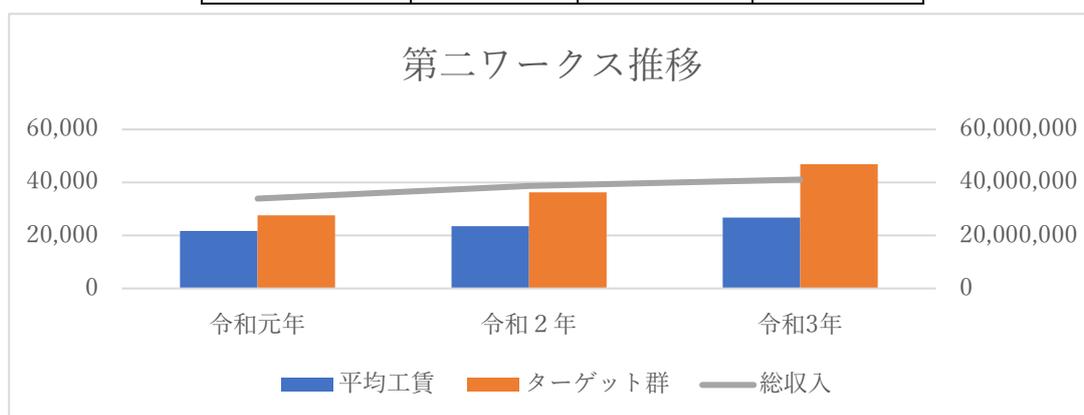
第一 W	令和元年	令和2年	令和3年
平均工賃	13,457	16,490	20,826
報酬単位	492	508	518
ターゲット群	25,983	34,466	41,207
総収入	8,687,741	8,792,897	8,501,704



第一ワークスは、平均工賃、報酬単位、ターゲット群共に順調に推移してきた。令和3年度総収入は減っているが、他項目への影響がないのは、自主製品の布地は在庫で対応できていることや、業者からの発注品は布地提供で進めているためである。今後、ウィズコロナで一般販売が可能となるために、新商品開発とともに布地を購入していく。令和3年度より施設外就労による収入も特筆できる。

■第二ワークス収入、工賃、単位等

第二 W	令和元年	令和2年	令和3年
平均工賃	21,708	23,547	26,798
報酬単位	518	518	537
ターゲット群	27,605	36,250	46,811
総収入	33,895,485	38,679,954	41,081,738



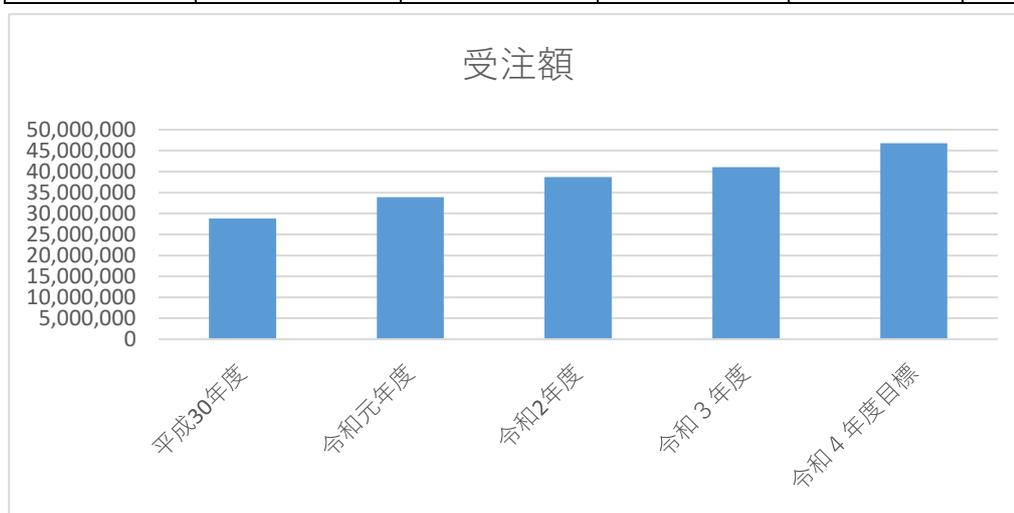
【第二ワークスの状況】

令和元年初頭に新規の印刷機を導入し生産性の向上を計った。令和2年度からは、備品購入資金を年100万円、減価償却費として令和2年度200万円、令和3年度から毎年100万円を本部に返却している。令和2年度から令和3年度に掛けては、平均工賃、報酬単位、ターゲット群共に順調な伸びを示した。

但し、特に令和4年1月から、行政関連の情報のデータベース化が顕著に進み、今後の不透明性が考えられる。

■第二 W 印刷関連機器導入（令和元年導入）に伴う受注増目標 購入費の1.9倍（46,802,549円を目標）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度目標
受注額	28,803,549	33,895,485	38,679,954	41,081,738	46,802,549



令和2年度までは順調な伸びを示した。今後、更に実績を伸ばすためには、新規の受注等を探っていく必要がある。

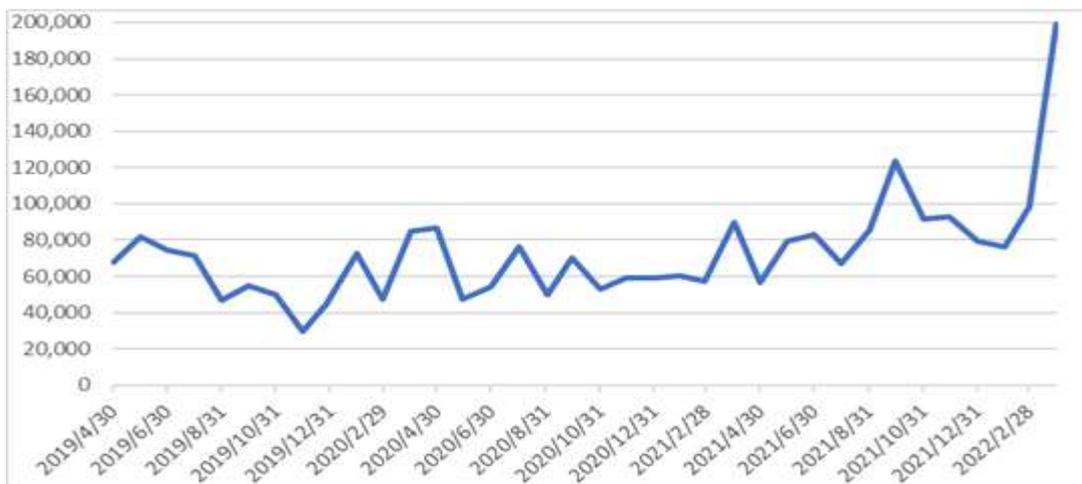
■名古屋市役所関連からの優先調達割合（20%以上を目標）

年度	目標金額	実績額	内印刷	印刷割合	調達先B型等※	内名身連	名身連割合	R1実績比
R1	438,000,000	438,730,418	138,616,142	31.60%	130,287,785	21,187,763	16.30%	
R2	461,000,000	456,331,889	105,533,520	23.10%	102,657,884	24,260,848	23.60%	18.60%
R3	461,000,000	-	-	-	-	19,318,495	-	

※調達先：A型、B型、生活介護、就労支援、地域活動支援、小規模作業所

行政からの印刷依頼を伸ばすために、市の優先調達法の印刷に占める割合の2割を目標としている。令和2年度は印刷の実績が低かったため、名身連として23.6%を占めていた。ただし、例年の印刷実績に換算すると18.6%程である。

■R1 年度～R3 年度 電線マン実績グラフ



【まとめ＝今後に向けて】

●新規営業先の確保

これまで第一ワークスが、消防局の制服やホースのリサイクルで係わってきた消防局との関係を強化する。制服リサイクルのボディバックは試行のため6着作成したが、10分程で完売、予約が入る好評ぶりだったとのこと。材料が豊富ではないが、他のリサイクル材料もある様子なので積極的に携わっていく。

また、消防局に対しては、第二ワークスの印刷も見積もり（参考）を出している。生活介護（あり）では消防自動車、消防ヘリ、救急車など200個のアイロンビーズを納品した。今後の関係強化が期待される。

他方、新規開拓のみでなく、上グラフ「R1 年度～R3 年度 電線マン実績グラフ」にあるように、既存の作業でも令和3年8月から急激に実績を上げている。これは、職員により作業効率化（皮むき用の道具を扱う人間を増、カッターの扱いの習熟度のアップ）を計った結果である。新規事業獲得と併せて取り組んでいく内容である。

利用者満足度—提供価値の向上

基本的支援モデル

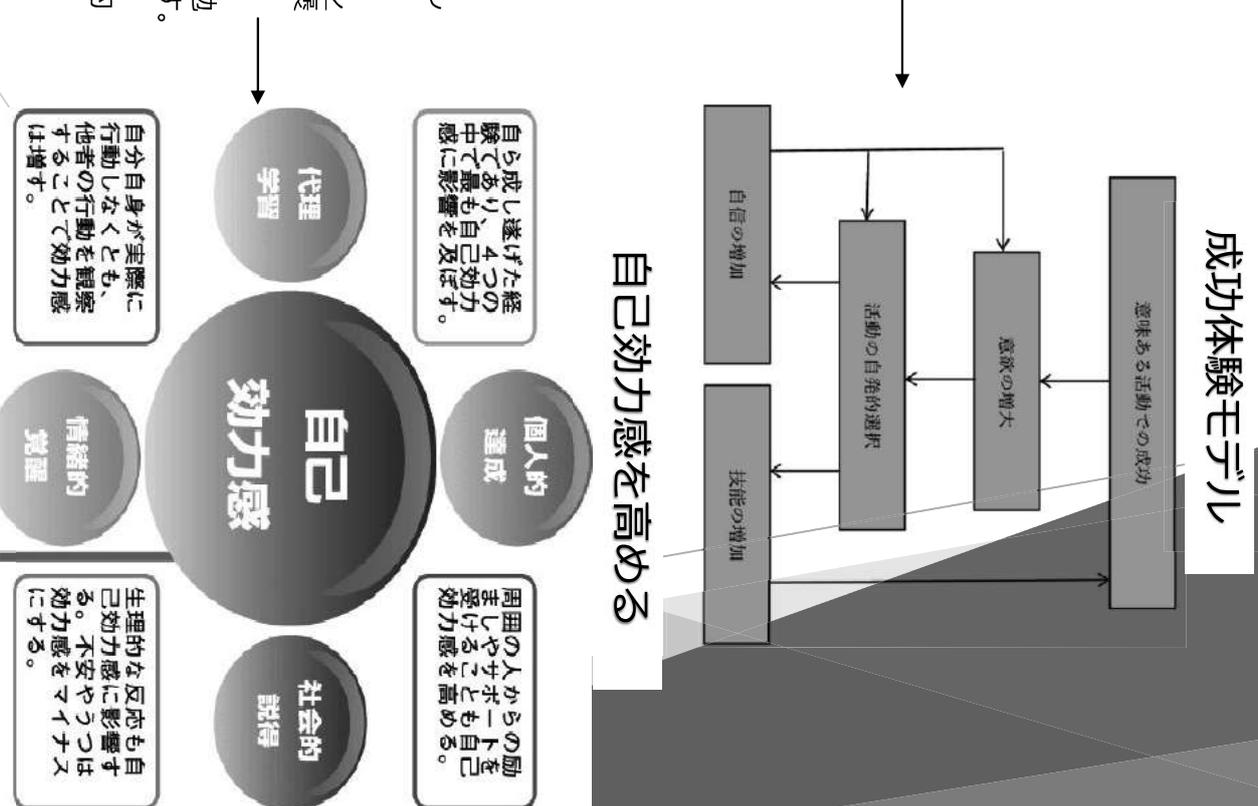
●成功体験モデル

成功モデルは達成感や満足感を得ること目標に近づき取り組みモデルです。このような良環境をあらゆるプログラムに盛り込んでいきます。多くの成功体験を積んでいいただく支援を行っていきます。

●自己肯定感を高める

提唱者のバンデューラによる4つの自己効力感を決める先行要因

- 1.達成経験：過去目標を達成した経験のことです。これは過去自分が何を達成したか、自分自身でどんな体験をしたか。何をどれぐらい体験したか、その経験値によって決められるというものです。
- 2.社会的説得：自分にスキルや能力があることを、言葉で承認や説得されたことです。シミュレーションに表現すると「ほめられる」ことです。自分の行動や達成を他者から承認されたり、褒められたりする経験です。
- 3.代理体験：他の誰かの目標達成を観察することによって起きる経験です。スポーツでも勉強でも、ビジネスでも、成功した他者を観察し、疑似的な成功体験によって起きるものです。
- 4.生理的感情的状態：やる気やモチベーションが生じる生理的感情的状態のことで、身体的管理が大切であると言えます。



学習モデルによる支援方法

～新たな力、役割の獲得～

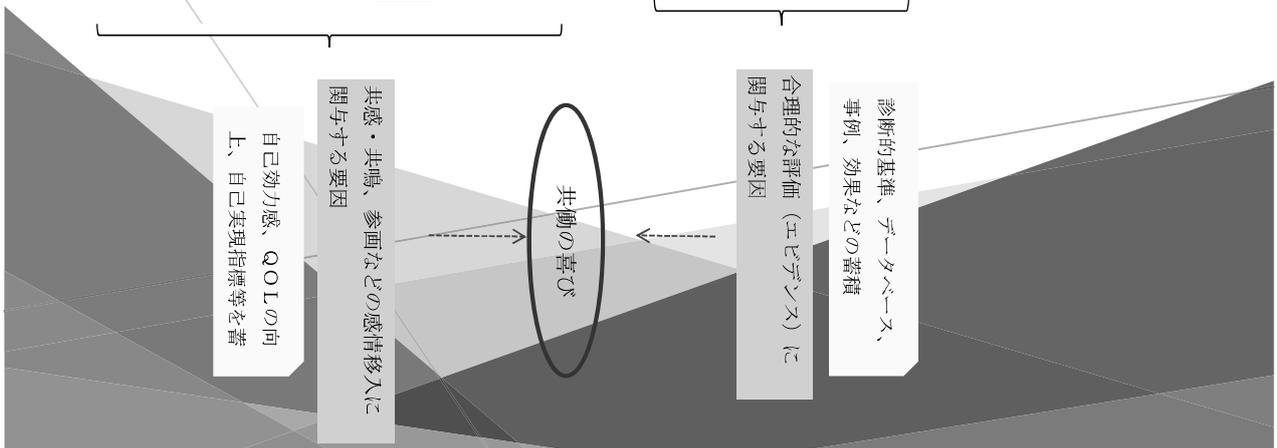
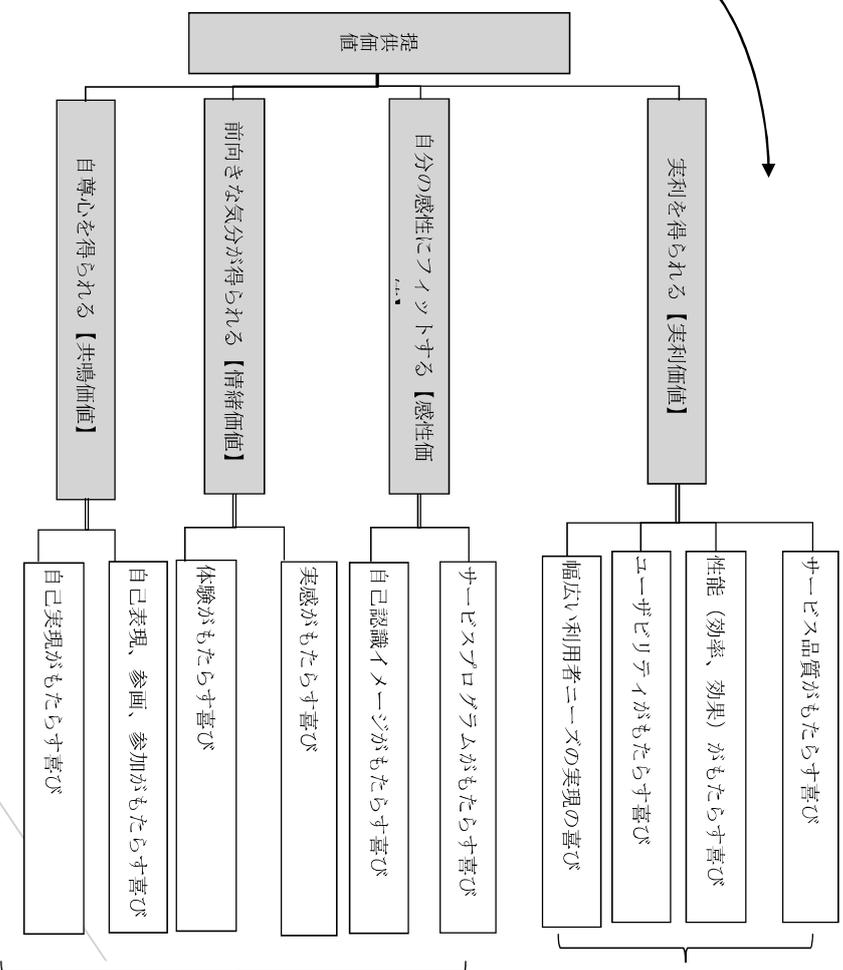
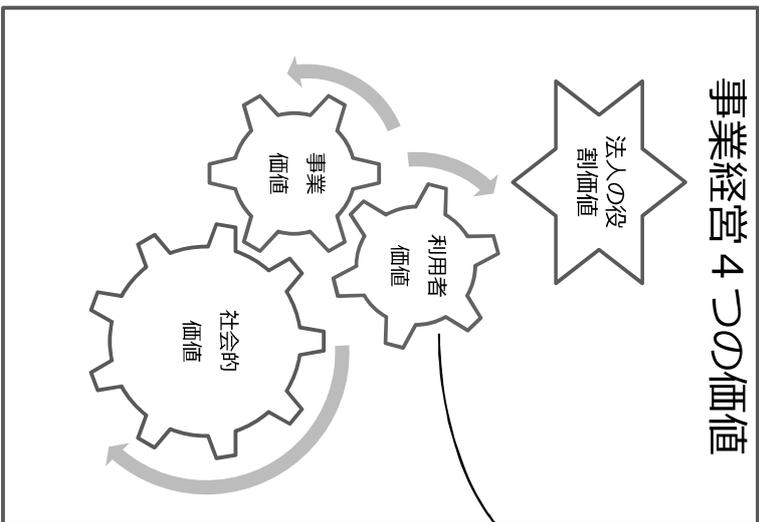
一社会生活カプログラム取り組み

- ① **オリエンテーション**
「社会生活カプログラムとは」について改めて学習。参加レベルの共有。
- ② **テーマ選定**
興味関心のあるものを皆で決める。今回は「情報」
- ③ **学習前アセスメント**
アセスメントシートを使って自己評価をする。
- ④ **学習**
毎回決められた課題について、ツールを使用しながら（インターネット）学習していく。
例：学習目標1では「情報とは何か」を知る。
次回までに課題を行っていたく。
- ⑤ **実践までの計画を作成**
「バスレクリエーション」行先の情報を得る。
情報から実際にやりたいこと、昼食、予算等を計画する。
- ⑥ **実行**
自身の組んだスケジュールを基に、本人主体で行動。
- ⑦ **振り返りと課題**
・今回出た課題は次回へ活かせるように。
- ⑧ **今までの学習を次のステップへ**
「情報を活用して豊かな生活をおくる」取り組み
- ⑨ **個々に目標設定**→学習→課題→グループワーク→実行へ向けた取り組み(現在)
目標「手話を学び、聴覚の方とのコミュニケーションをとりたい」
についての取り組み

プログラム内では、以下の方法を活用

- 使用したツール
・自己評価表、課題、ワークシート、電子機器(スマホやタブレット)、グループワーク
- 該当する学習法
 - ☆ **問題法(帰納的)・・・「情報とは何か」**
解決すべき問題について→問題に対する情報を集める
→集めた情報の整理→結論
 - ☆ **主体的学習・・・自主学習、協力学習、解決学習**
 - ☆ **プロジェクト法・・・「バスレクリエーション」**
目的設定→計画→実行→評価
 - **該当する法則**
 - ☆ **準備の法則、レディネス**
事前説明により学習にはいりやすくする。また、心身共に学習の準備ができている。
 - ☆ **効果の法則**
新しい知識や技術の習得により満足感を得る→次の学習に意欲的になった。
 - ☆ **動機づけ**
 - ・本人の興味関心に結びつける。
 - ・学習結果を都度知らせる。
 - ・成功感に訴える(社会的説得)

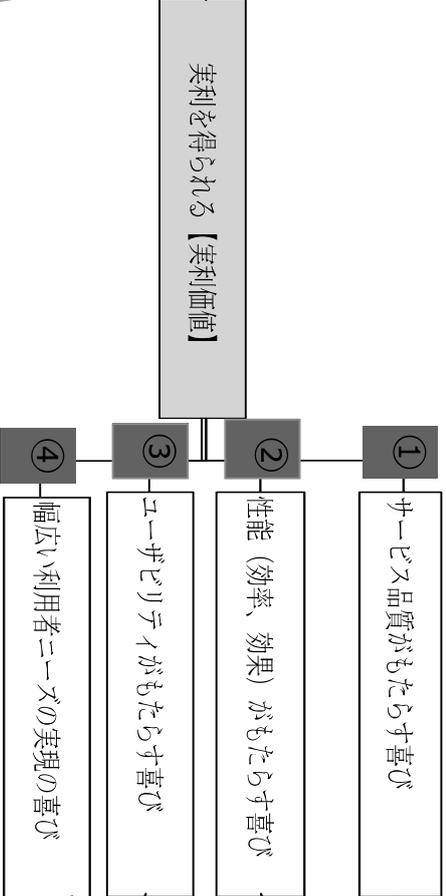
名身連が届けたいサービスの提供価値



生活介護の一例 提供価値

～実利価値～

安全に車イスの自走ができる



① 本人、叔母、特定相談、医療と連携をとり支援方針について情報共有。

② 車椅子自走について都度フィードバックを行う。(自己肯定感を高める、達成体験、社会的説得を利用して支援) 支援の経過についてはタレにて情報共有と記録をすることで本人に合った支援を。

③ 本人に合った車椅子を一緒に探した。
・車椅子の安全な自走ができるようになり、生活範囲の拡大、自立度が高くなった。

④ 様々な力をみにつけることで、人に頼らず出来ることを増やしたい「車椅子の自走」についての実現に向けた取り組み。
マンツーマンによる密な支援。車椅子の操作方法(実技・周囲への配慮等を実践にて行う)

支援プロセス

・本人、祖母、特定相談、医療と連携をとり、本人にあった車椅子の検討。

・車椅子が納品された際には、車椅子の操作や使用方法を業者の方から説明を受けた。

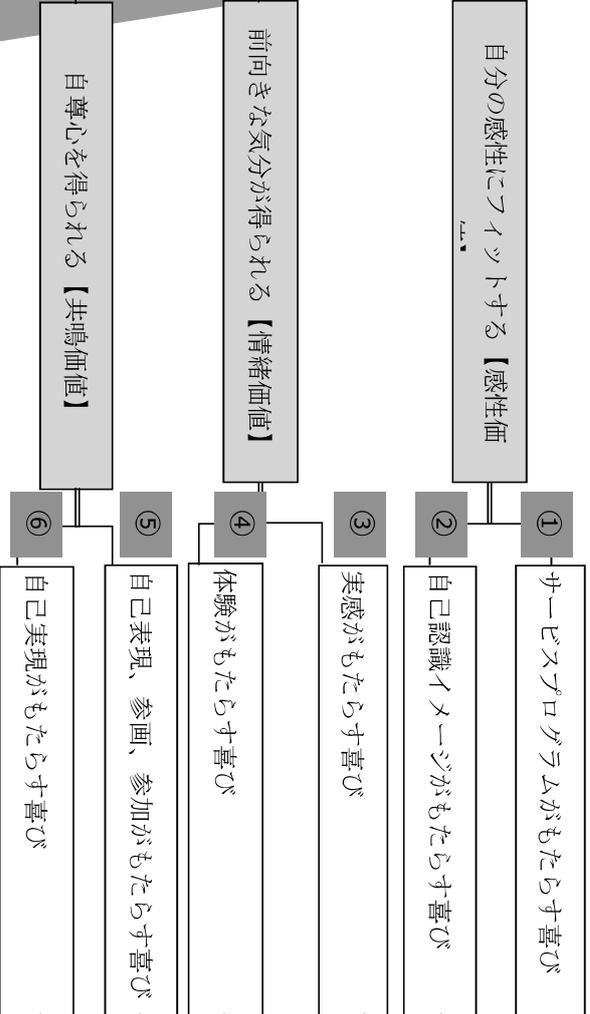
・安全に車椅子の自走が出来るまで、職員が必ず付いて支援を行った。(リアルタイムでバック)

・出来たこと、課題についてを本人にフィードバックすることで、自己認識をしていただき、自身を持てる支援を行う。
また、自己効力感を高めていただけけるよう社会的説得：自分に入力や能力があることを、言葉で承認や説得をするという支援を行う。
→この方は褒められること、出来ていることが自己認識できるが喜びや意欲の向上に大きな影響を与えるとということが支援過程の中で分かった。

提供価値

～感性価値、情緒価値、共鳴価値～

安全に車イスの自走ができる



② 車椅子自走が自立して行えるようになるまで、職員が付いて都度
フイーンドバツクを行った。
フイーンドバツクを必ず行うことで、力をつける必要のあるところや、出来
ているところも自己認識することができた。
➡結果
本人の自信へとつながり、出来ている自分をイメージすることが出来た。
自立して生活する意識が高まった。

③自由になれることの喜びを実感。
・今まで職員に声をかけなくてはいけなかったので気を使うことがあった
が、それがなくなり気持ち軽くなった。

④体を動かす機会が増えた。また、行動が多様になった。
・職員への報・連・相を積極的に移動して出来るようになった。
・困っている人の所へ自発的に移動して手助けができることが喜び。

⑤社会とのつながりを感じる
・自由に移動することが可能になり、係る利用者の幅が広がった。
友達とLINEを交換してやりとりするようになり、様々な情報を
得ることができた。
・困っている人の手助けをすることで、感謝される機会が増え自
己有用感が向上した。

⑥自立度が上がったことによる自己実現。
・行きたい時に行きたい場所へいけるようになった。(トイレ、
作業の道具、他利用との交流、読みたい本を選ぶ、など)
・他者に依頼することが大幅になくなり、気兼ねなく自身のペー
スで生活できるようになった。

令和3年度 リスクマネジメント成果報告

リスクマネジメント委員会

法人ではリスクマネジメント委員会を設置し、月1回の頻度で各事業所管理者メンバーによるヒヤリハット検討会を実施してきました。令和3年度はインシデントが30件、アクシデントが10件のヒヤリハット案件について報告がありました。

BCP

BCPにおいては大地震などを対象としたものについての整備はできていましたが、コロナ禍が続くなかで新たに感染症に対するBCPの策定を新たに進めてきました。

【BCPとは】

BCP（ビー・シー・ピー）とは Business Continuity Plan の略称で、業務継続計画などと訳されます。

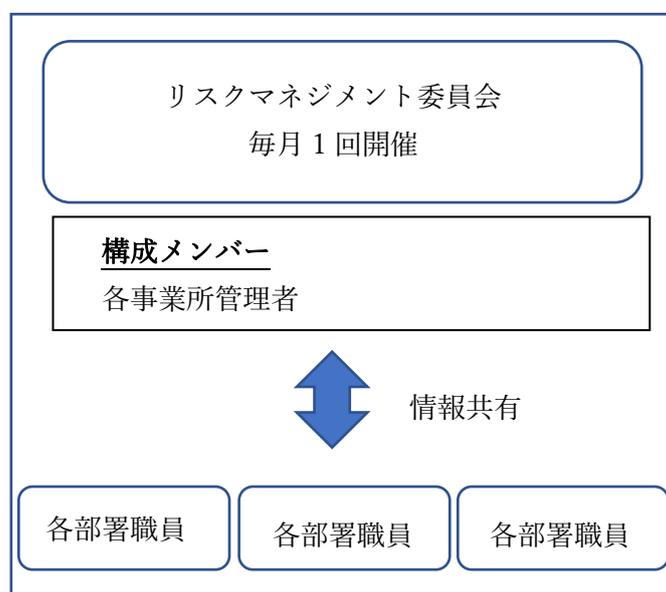
新型コロナウイルス等感染症や大地震などの災害が発生すると、通常通りに業務を実施することが困難になります。まず、業務を中断させないように準備するとともに、中断した場合でも優先業務を実施するため、あらかじめ検討した方策を計画書としてまとめておくことが重要。

防災関連

防災関係では、災害時の行動指針の見直し、災害時ヘルメットの購入や感染症対策の備蓄（マスクやアルコール消毒液など）の整備をしました。また避難訓練については各部署がバラバラで実施することによる情報不足を解消するために、できるだけ同じ日に訓練を実施することや事前に各部署でどのような内容で行うかの話し合いをWEBで行いました。

その他

令和3年度障害福祉サービス等報酬改定において、虐待防止に関する行動指針や身体拘束適正化に関する委員会などの設置についての義務付けが始まるため、行政からの指示を仰ぎながら法人内で体制を整えていきます。



項目	目的	頻度・時期	どうする	備考
職員携帯カード	災害時の行動指針 職員の防災意識向上	年に1回	見直しをして配布する。	参集可能場所アンケート実施 携帯カードの配布
緊急連絡簿	災害時の安否確認、参集指示	年に1回	見直しをして配布する。ICT化？	データの共有化
BCP(事業継続活動)	災害後の事業継続についての指針	防災訓練の振り返り時	確認、見直しをする	BCP チェックリスト
備蓄管理	災害発生時、ライフラインが止まってしまった場合に備える。	防災訓練時	確認、見直しをする	各セクションで担当を決め、訓練時に確認
福祉避難所	災害発生時、避難所として開放	年に1回	確認、見直しをする	防災備蓄品の整備
防災訓練	災害発生時に適切な行動を取る。	年に2回	メンバーによる定例会(訓練前・後)伝言ダイヤルの実施	実施前と後で担当者による話し合い。災害時伝言ダイヤルの実施。

第56回名古屋市障害者作品展

障害者が制作した作品を一堂に展示し、障害者自身の能力開発、創作意欲の高揚、技術の練磨を促進し、広く一般社会に認識と啓蒙を図ることを目的として開催しました。第56回を迎えた今回もコロナ禍の影響が続き、感染対策を取りながらの開催となりましたが、418点もの出品があり、急きょギャラリーを一室増やしての展示となりました。年々規模が大きくなり、内容もさらに充実した展示会でした。名古屋市長賞は絵画の部で澤幡誠さんが受賞しました。サテライト企画であるバーチャル作品展への参加希望も増え、407点が公開されています。加えて今年度はギャラリートークを開催するとともに、今回初の試みとして、制作の現場での作者や支援者を直接取材し、リーフレットを制作しました。

1. 展示期間 令和4年2月8日（火）～13日（日）（6日間）
 2. 会場 名古屋市博物館 3Fギャラリー 第1・2・3・4・8室
 住所 名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1

3. 各部出品数	第1部 書道	43点
	第2部 絵画	208点
	第3部 写真	34点
	第4部 手芸	52点
	第5部 工芸	81点
	合計	418点

4. 最高年齢出品者 87歳（肢体）

5. 最小年齢出品者 4歳（聴覚）

6. 障害別出品者数 単位：人

	肢体	視覚	聴覚	内部	知的	精神	重複	その他・不明	計
書道	13	2	5	0	10	6	6	1	43
絵画	24	11	13	0	102	30	19	9	208
写真	16	0	2	0	2	12	2	0	34
手芸	19	4	5	1	8	4	8	3	52
工芸	15	4	16	6	8	6	15	11	81
計	87	21	41	7	130	58	50	24	418

7. 期間中の入場者数	2月 8日（火）	107人
	2月 9日（水）	89人
	2月10日（木）	87人
	2月11日（金）	173人
	2月12日（土）	177人
	2月13日（日）	209人
	合計	793人



市長賞受賞作品



授賞式の様子

名古屋市障害者作品展示会サテライト企画

○バーチャル作品展

「バーチャル作品展」は、平成30年度にスタートした取り組みです。今回も作品展に出品された方のうち、公開に同意いただいた方の作品を、展示した状態でパノラマ撮影して公開しました。マウスなどで操作すると、まるで会場を歩くように作品を見て回ることができ、会場の雰囲気もそのまま味わうことができます。さらに作品を1点ずつ撮影し、目録から見にいけるギャラリー機能も設けてあります。これにより、好みの作品を高画質でじっくり鑑賞することができます。

インターネット環境さえあれば、誰でも、いつでも、どこからでも見ることのできるバリアフリーの展示会は、幸いにも多くの方のご理解とご協力を得て、97%というたくさんの公開同意をいただきました。コロナ禍にあつて会場を訪れることができなかつた人も多く、いつにも増してバーチャル作品展に高い期待が寄せられています。文化芸術活動を通じて障害のある人の社会参加を推進し、たくさんの方に関心をもっていただけるよう、今後も取り組みを続けます。

○障害のある人の創作活動を盛んにする取り組み

～リーフレット制作とギャラリートーク開催～

今年度のもうひとつのサテライト企画として、昨年制作した作品解説の動画に登場した作品について、追跡企画としてリーフレット制作をしました。今回は、できるだけ現場に伺い、作者ご本人や支援している人を直接取材し、文章と写真で記事を作成したものです。昨年に引き続き、福祉のアートの豊かな世界をご紹介することができました。

また、全国的に著名な障害者のアート活動の専門家であり、美術家である中津川浩章さんをお招きして、ギャラリートークを開催しました。熱心な支援者の方たちが参加し、作品展の新たな展望が開けそうな有意義なイベントとなりました。

障害のある人の創作活動を支える人たちが、学んだりつながったりする場になるよう、これからは様々な企画に取り組み、名古屋でのアート活動を盛り上げます。



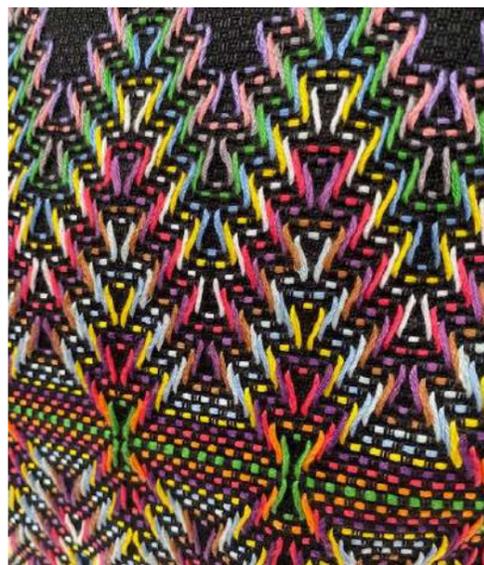
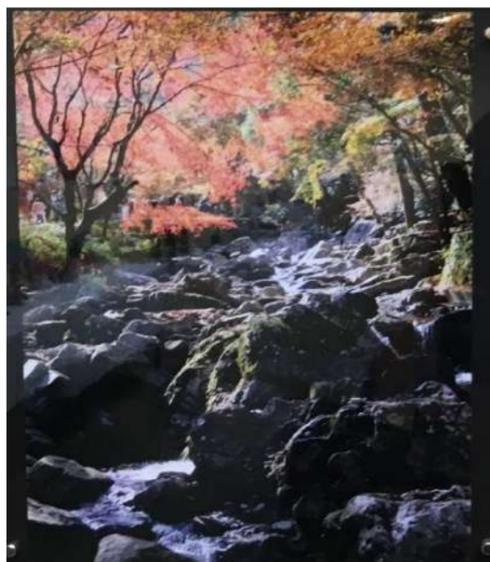
リーフレット表紙



ギャラリートークのようす

第56回名古屋市障害者作品展示会

令和4年2月8日(火)~13日(日) 名古屋市博物館



令和 3 年度事務局 賛助会員成果報告

●令和 3 年度の実績

新規賛助会員 30 名を目指したが、24 名となった。目標達成率 80%。税額控除対象法人への申請のため、5 年連続 100 名以上の賛助会員を達成。令和 3 年度賛助会員数 149 名。

●今後の課題

今後は外部の加入者の増加を目指し営業広報活動を実施する。



年度	2017	2018	2019	2020	2021
新規	157	17	36	45	24
継続	0	95	83	94	125

年度	2017	2018	2019	2020	2021
関係者	143	110	113	119	121
外部	14	2	6	20	28
合計	157	112	119	139	149



年度	2017	2018	2019	2020	2021
会費	632,000	531,000	597,000	752,920	849,000

2020 年は GH 建設に伴い大口振込が多数あった

2021(令和3)年度 人事・組織 成果報告

●人材確保について

採用計画に基づき採用を行い、人材確保を行いました。多くの業界で人材不足が深刻な課題となっており、とりわけ福祉業界においてはさらに顕著であるなか、当法人においては多数の応募者及びインターンシップ参加者から求める人材像に近い職員を採用することができ、職員配置を充足することができました。

●令和3年(2021)年度 採用活動報告

○新卒採用

応募数	一次 4名	二次 2名	計 6名
採用数	内定 3名	内定承諾 1名	採用 1名

○中途採用

応募数	22名		
採用数	内定 4名	内定承諾 2名	採用 2名

○マイナビインターンシップ

参加数	11名
内新卒採用応募者	2名
新卒採用者	1名

※特記事項

- ・ 2022年卒向け採用活動は2020年度冬のマイナビインターンシップから、2021年度秋のマイナビ転職中途採用活動まで実施。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策のため、会社説明会を実地とオンラインの同時開催とした。
- ・ 2023年卒学生向けのマイナビ掲載内容を2021年に更新した。マイナビへ取材を発注し、原稿の作成と写真の撮影を福祉センターで実施。2022年卒新卒応募学生6名に対して、2023年卒応募学生は6月時点で11名と増加している。
- ・ 2023年卒新卒学生採用活動から、大学インターンシップ募集を開始。2021年度実施は3名。内2名が新卒採用へ応募。グループホームでのアルバイトにもつながった。

2021(令和3)年度 財務 成果報告

●会計・経理機能について

会計担当者の日常の会計処理及び決算処理スキルを上げることを目的に会計担当者ミーティングを令和3年6月より開始しました。令和3年度は10回(毎月実施)行い、それにより各会計の決算業務は各担当者で実施できるようになり取りまとめに係る残業時間が減少しました。

令和2年度 77.59H ⇒ 令和3年度 18.5H

令和3(2021)年度第一ワークス・第一デイサービス成果報告

生活介護

●生活介護は定員20名に対して、平均30名ほどの登録です。新規利用者は2名でした。極めて重度の利用者も受け入れており、医療的配慮が大きくなっています。令和3年度の退所者は3名、更に新型コロナウイルスの影響で利用控えが目立ちました。そのような状況下ですが、生活介護の利用者1名が、B型利用を開始することができました。現在はほぼ半々の割合での利用で、徐々にB型に移行しつつあります。

●大きな成果として、生活介護の利用者が日常の活動内で制作した作品を、販売のルートにのせることができました。その結果、利用者は作品づくりに意欲がもてるようになり、また販売活動を通じて一般の方々の理解を得ることができました。金山総合駅で開催されたマルシェにも出店し、絵画やアクセサリが地域の方々に大変好評でした。



ご自分の絵画を見つめる利用者様



店頭に並ぶ利用者様自作の「アクセサリ」

●利用者が安全に安心して日常生活を送るためには、障害特性に応じた理解と支援力が要となります。発達障害・強度行動障害の方への支援方法を学ぶため、名古屋市発達障害者支援センター「りんくす名古屋」から講師を招き、内部研修を開催しました。また、オンラインで強度行動障害者への支援についても学びを深めました。救命救急については、消防署の方を招聘して実施しました。

就労継続支援B型

●例年同様、B型は利用率が常に100%近くで推移した。活発であり、整然とした働き方ができています。そのような環境下で、令和3年3月に閉じた「就労移行支援事業」に在籍していた4名は、一時的にB型に身を置いて就職活動に入り、うち2名が一般就労に移行しました。また、1名はB型に移行して同じ事業所のA型に進むことになっています。

●4月から施設外就労を通じた社会性のスキルアップと工賃向上を目指してきました。ビジネスホテルのベッドメイキングは、障害特性から労働時間を延ばしづらいところが課題であるものの、火曜日と金曜日

の活動に加え、水曜日の午前中を増やして実施しています。また9月から、シェアサイクルのメンテナンスやポート清掃を開始しました(シェアサイクルは、地域の各所に設置されたポートから自転車をレンタルできるシステム)。週一回3時間の仕事ですが、熱田地域での活動のため、名身連をアピールする機会になっています。施設外就労は工賃向上のための取り組みですが、一人ひとりの障害の状況に応じて労働時間や作業内容の理解度、進捗状況の把握を進め、支援面を手厚くする意図もあります。

●養蜂が定着して、「あつたハニー」がメディアや情報誌、新聞等で取り上げられることが増えてきました。事業や商品についての問い合わせが全国から入っています。養蜂の技術と専門性を向上させる取り組みをしています。

●以上のように様々な仕事を通じて、名身連のB型は地域社会に受け入れられ、名鉄百貨店での作品展示を依頼されるなど、外部での活動がますます増えることになりました。工賃も20,000円にまで向上しました。



自転車の清掃をする利用者様



あつたハニーの瓶詰



ビジネスホテル清掃のようす



作品を名鉄百貨店に展示

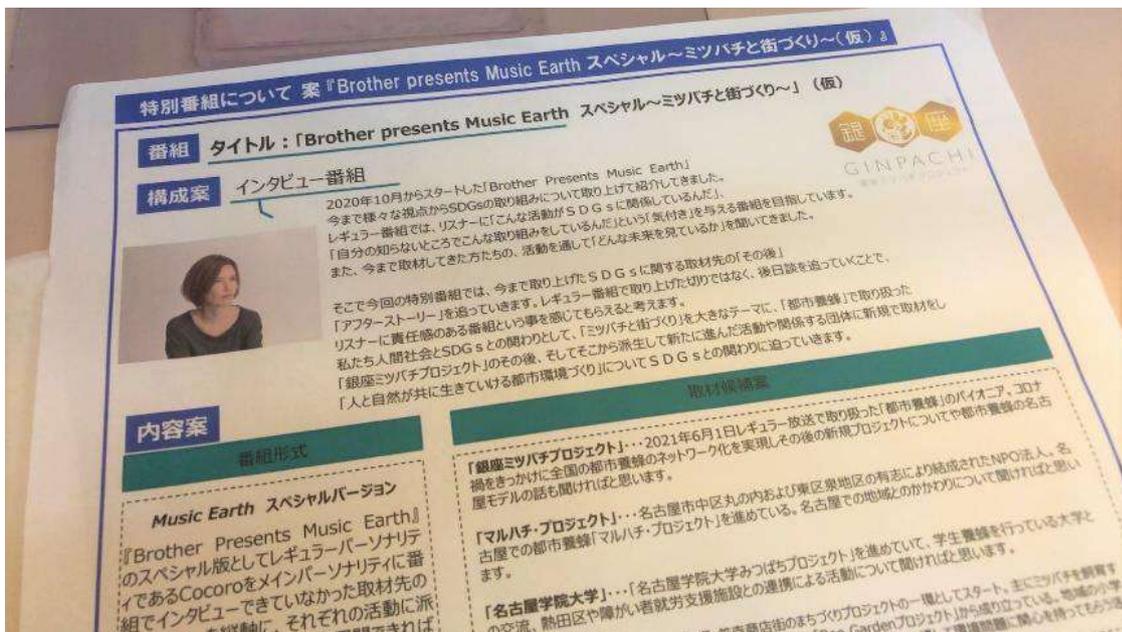
第一ワークス・第一デイサービス メディアに取り上げられたもの

●養蜂関連

社会福祉に従事する職員のための福利厚生センターが発行する冊子に取り上げていただきました。(令和4(2022)年春号)



FM AICHI の番組「Brother presents Music Earth ”地球の未来のためにできること”」の特集「名古屋の都市養蜂」に取り上げていただきました。(令和4(2022)年3月20日)



中京テレビ「まちイチ」で取り上げられました。(令和4(2021)年11月1日放送)

テーマは「大人の社会勉強」

nice to people
まちイチ

バックナンバー
トップ

毎週月曜日
午前9時55分から

今回のまちイチ
「若者のSDGs」
11月1日放送

SDGsとは「持続可能な開発目標」の略称。2015年の国連サミットで採択された国際社会共通の目標で、人類の課題解決に向けてあらゆる人々が行動することを求められています。今回のまちイチは、高校生や大学生、若者が取り組む「SDGs」に注目しました！

●シェアサイクル事業(施設外就労)が中日新聞に取り上げられました。(令和4(2021)年9月)

(第3種郵便物認可)

名古屋市中心部でシェアサイクル事業を展開する「neuet(ニュート)東京」が9月から、自転車置き場の掃やメンテナンスなどの業務を市身体障害者福祉連合会(名身連、熱田区)に委託した。障害者が施設の中だけでなく、屋外に出て積極的に働く機会になると期待される。(大野雄一郎)

名古屋 シェアサイクル事業で

清掃、管理障害者が協力

ニュートは昨年七月から、名古屋栄周辺で「チャリチャリ」を展開している。専用のアプリや栄周辺で「チャリチャリ」を使い、一分六円で気軽に使えると銘打ったシェアサイクル事業の仕組み。対応エリアも広げて運営のニュート・家本社長の思い実現

椎葉所長もに自転車の空気入れを手渡して業務を依頼する家本社長＝熱田区横田2の名身連で

お、現在では金山や熱田地区でも利用できる。駐輪場の「ポート」は八十七カ所、自転車も約四百台が稼働している。

今回の契約では、これまで「ニュート」の社員が行ってきたポートの清掃や自転車の空気入れなどの保守点検の業務の一部を名身連に委託。就労支援施設「名身連第一ワークス」の利用者に、熱田区内の約二十カ所のポートを定期的に巡回してもらい、人件費はニュートが名身連に支払う。

福祉分野との協力は、ニュートの家本賢太郎社長の強い思いもあって実現した。家本社長は十四歳のとき、脳腫瘍の摘出後に車いす生活となり、二十歳になる直前まで身体障害者手帳を持っていた。そんな背景から、障害者と「一緒に働ける場面はないか」と思案していたという。

今回、仕事を引き受ける同施設の椎葉林蔵所長も「利用者の社会参加につながる良い機会になる」と歓迎。「さなる労働意欲の向上につながる」と話している。

●消防服リメイクシリーズ『ボディバック』

2022 ウェルジョブなごや主催の「ウェルフェアトレードコンペ」にて『地域密着賞』を受賞いたしました。

福祉事業所の個性的な商品を表彰するこのコンペは「障害者が作る商品が欲しい!」という企業の声に応じて開催しました! 審査員は福祉商品に興味のある企業・団体ばかり。受賞すればもちろん、エントリーするだけでも、売上アップ・販路拡大の大きなチャンスに繋がります。



名古屋市消防局さんのご協力のもと、使われなくなった消防服を便利なボディバックにリメイクしました。財布やスマホなどちょっとしたものを入れるのに便利です。
すべて利用者様の企画・デザインと縫製です。

令和3(2021)年度第二ワークス・デイサービス成果報告

生活介護(生産活動なし)

- 生活介護(生産活動なし)は定員20名、登録者は41名となっています。新規利用者2名でしたが、(生活介護あり)にステップアップした方(2名)を含め4名の方が退所されました。重度の障害の方も多く、コロナ感染を警戒され利用を控えた方もおられました。
- 成果としては、令和元年度から取り組んできた「強度行動障害者」に対する支援が定着しつつあります。令和2年12月には支援体制も整い加算の申請をしています。現在、5名の方に、それぞれの障害特性に合った支援をしています。

支援内容としては、役割を設け、一日の活動をスケジュールにし、利用者さんが理解できるようにしています。

右の写真は「ボール遊び」の場面ですが、集団行動が苦手な方の自己表現の一つとして取り組んで頂いています。

支援の効果として、家族の方との情報交換が盛んとなり、障害に対する共通認識ができたことも大きなものとなっています。



【ボール遊びの様子】

生活介護(生産活動あり)

- 生活介護(生産活動あり)は定員20名、登録者は25名となっています。新規利用者3名、退所者は1名でした。比較的コロナの影響はなく、90%以上の利用率となりました。

- 成果としては、中村区社会福祉協議会との共同で区内の小中学校への福祉教育に利用者さんが参加できたことです。職員が利用者さんに声を掛け、3名の方が手を挙げて頂きました。依頼内容は、自分の障害についての話を中心に生活の様子を伝えることです。

この講話のために、3名の方は職員と共に何度もグループワークを実施し準備をしました。一人の方は、話す内容を記憶し、メモなしで話せたようです。



【体育館で行った講話の様子】



【生徒さんとボッチャを楽しむ】

次ページの写真は、パラリンピックで広まった障害者スポーツの「ボッチャ」を生徒さんと名身連の利用者さんで行っている風景です。

利用者さんにとっては、学校在学中や名身連でお馴染みのスポーツです。生徒さんは、名身連の利用者さんにはかなわなかったようです。ある利用者さんは、生徒さんから「プロ」と声を掛けられたとのこと。和やかな雰囲気の中でも、盛り上がった時間だったようです。

令和3年度は、区内3校に7回実施しました。

(1人の利用者さんの感想)

体調を崩すことなく参加することが出来た。講話を聴いてくれた子供たちの中に電動と手動の車いすの違いを話して理解してくれたとわかり嬉しかった。マイクを使って話すことは大変だったが、対応することが出来て自信につながった。

就労継続支援 B 型

●就労継続支援 B 型は定員20名、登録者は27名となっています。新規利用者3名、退所者は2名でした。退所者の内1名は就労継続支援 A 型の利用に繋がりました。

●就労継続支援 B 型の主な作業は右の写真にあるように印刷です。他に銅線剥離作業や DM(ダイレクトメール)作業などを行っています。しかし、いずれの作業も、利用者さんの作業効率が向上しており、新しい作業を探索する必要があります。



【印刷風景】

第二ワークス・第二デイサービス 活動風景

●就労継続支援 B 型



印刷風景

●生活介護 生産活動あり



区内学校での講話の様子



ボッチャを生徒と競技

●生活介護 生産活動なし



ボール遊び

集団行動が苦手な方の自己表現の一つ

令和3(2021)年度就労支援センター成果報告

●名古屋市から委託を受け、障害者就業・生活支援センターと同じ機能を持つ事業として4年が経ちましたが、令和3年度もコロナ禍の影響がありました。利用者には、在宅勤務の時間が増えることにより、移動の必要がなくなり、一人の作業で集中できるというメリットがありました。長時間家にいることで孤独感を感じ、体調を崩されたというデメリットもありました。センターとしては、職場への訪問を控えることで十分な定着支援ができなくなりました。就職活動においても、リモートで面接や説明会に参加する機会が増えました。そのような働き方や就職活動の環境の変化に順応しながら、障害者の就労面と生活面の支援をした結果、就職件数と1年後の職場定着率は、目標数値を超えました。

就職件数 目標値60件 → 実績71件

1年後の職場定着率 目標値80% → 実績81%

●支援員による標準化した支援をするためにインテークからフォローアップまでの流れについて支援プロセス、障害種別ごとに見るべきポイントの見える化、体系化を行いました。



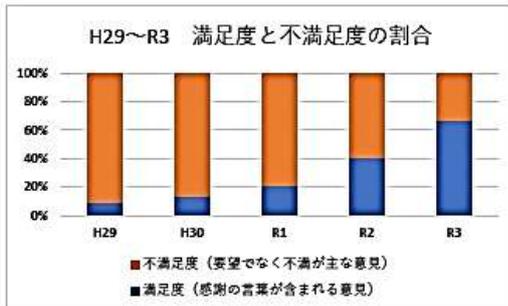
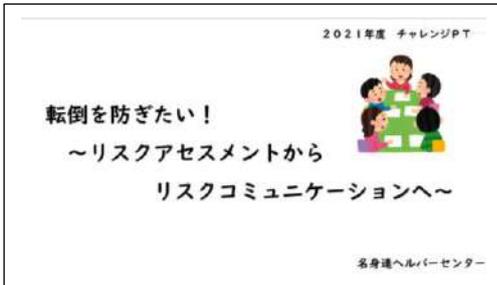
・初回相談日を固定せず、1週間以内の支援開始が可能なので、早期に信頼関係を構築できるようになりました。

・技術を標準化するために、新たなアセスメントツール(MSFAS)を取り入れました。また、支援員の見立てと本人の自己理解に差異がないよう職業適性を確認する時間を多くとるようにしました。アセスメントの内容が充実し、ミスマッチングが減った結果、就職件数実績が伸び、定着率が向上しました。

・職場定着支援については、訪問回数を増やすことにより、課題発生の予防をしました。また、就業時間中に相談する時間を取ることが難しい方に対しては、メールでの受け付け対応をするなど、時間外でも相談できる体制を整備し、安心して働き続けられる仕組みをつくりました。

●就労面では、B型からステップアップのために就労センターへの登録を行い、生活面では基幹相談支援センターや特定相談、聴言センターなど、専門部署との連携を図ることにより、多面的な支援が実現できました。

令和3年(2021)度ヘルパーセンター成果報告



●利用者の安全・安心を重視し、リスクマネジメントの仕組み化とブラッシュアップを行いました。具体的実践として、チャレンジ活動で利用者に対して転倒リスク調査を実施し、高リスクのケースで利用者及び関係者とのリスクコミュニケーション会議を開催しました。リスク情報の共有により、支援の安全性を高めることができ、利用者との信頼関係を深めることにつながりました。

●利用者のプライバシー保護等、権利擁護への配慮を徹底するため、ヘルパーに権利擁護の基本や福祉職としての倫理観についての教育を実施しました。具体的実践として、事前に倫理観の自己チェックシートを記入してもらい、これに沿って管理者が個別面談方式でお話ししました。また、ヘルパーセンターオリジナルのカギつき書類入れを制作してお渡しすることで、個人情報保護の意識づけを行いました。

●利用者からの相談や意見に迅速かつ誠実に対応し、関係機関との連携や社会資源の活用を意識して、利用者の地域生活を包括的に支える取り組みを実施しました。具体的には、高齢化により視覚障害に難聴を併発した方や、認知機能の低下により困りごとが増えた方への支援に積極的に取り組み、地域生活の継続や円滑な移行が実現しています。

●継続的な改善活動の取り組みの一環として、第三者評価の項目に沿った自己チェックで課題となった苦情内容の公表を実施しました。具体的には、満足度調査にいただいた全てのご意見を掲載し、回答し、ホームページで公開しました。満足度調査の結果はこの5年で大きく改善し、令和3年度は初めて満足の声の不満足のご意見を上回りました。

●ヘルパーの教育体制(現任ヘルパー研修、同行援護研修会、登録希望者実習)を充実させることを目的に、サービス提供責任者がより専門的な指導ができるよう、京都ライトハウスで開催される資質向上研修に参加する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で研修が中止になったため、受講できませんでした。同行援護研修会は一般、応用各1回ずつ実施しました。

令和3(2021)年度サニーライフめいしんれん成果報告

●愛知県障害福祉分野の ICT 導入モデル事業に申請し、決定通知を受けて ICT 導入に向けた取り組みを実施しました。計画した事業は、①支援計画作成等に関して②プログラムに関して③情報共有に関して④支援記録に関しての業務改善および質の向上、の4点です。補助金 676,000 円を受け、タブレット16台、ワイヤレスキーボード16台、タブレット用マイク2台を購入しました。以下は詳細な実施内容です。

○実施期間

令和3年12月～3月

○改善項目

①業務時間

実施前に比べてプログラム関連(個別支援プログラム等)、職員ミーティング、個別支援、記録、書類の回覧、連絡で時間の削減が見られました。特に書類回覧は 32H→4H まで削減できました。

②紙料

導入前と比べて約 400 枚の削減を達成しました。

③利用者満足

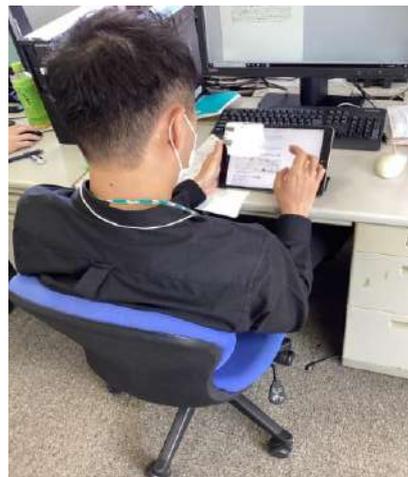
タブレットの使用満足度は「大変満足」が 43%、「どちらかと言えば満足」が 50%、「どちらかと言えば不満足」が 7%でした。9 割近くの職員がタブレットを使用することで、満足感を感じたという結果になりました。また、訓練に活かせそうと答えた利用者は 100%でした。

④職員満足

満足度は 5 名中 1 名が大変満足、4 名がどちらかといえば満足。活用効果については全員が「まあまあ効果があった」と回答しています。回覧書類、プログラム関係、個別支援等に幅広く活用することができました。



軽作業の取り組み方を動画にして教示



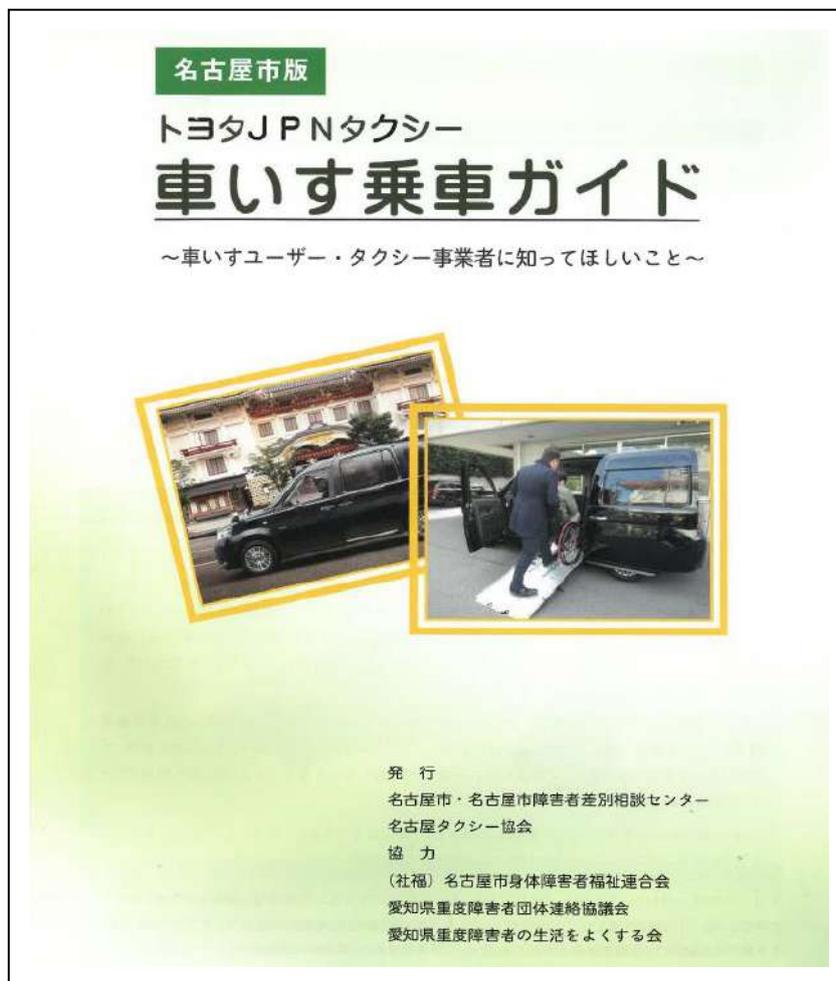
情報収集(画像は求職先情報検索)

●令和3年11月より、新たに就労定着支援事業を開始しました。就労定着支援事業は、平成30年4月より施行された福祉サービスで、障害者との相談を通じて日常生活面及び社会生活面の課題を把握するとともに、企業や関係機関等との 連絡調整やそれに伴う課題解決に向けて必要となる支援を実施する事業です。対象者は一般就労後6月を経過した人で、企業訪問または利用者宅訪問により、月1回以上の対面支援を行うものです。令和3年度は、以下の写真のようなプログラムにより、支援を充実させました。

2021(令和3)年度 団体活動 成果報告

●団体活動

行政、民間事業者に対して、障害当事者からの意見や要望を伝えました。名古屋市・タクシー協会に協力しトヨタ JPN タクシー車いす乗車ガイドの作成を行いました。



R3 年度実績

6月25日	各団体実態調査	各団体参加
9月2日	名身連福祉大会への要望事項集約	
7月	名古屋市障害者スポーツセンターのあり方アンケート	各団体意見提出
10月	障害者と市民のつどい ※コロナにより中止	
10月	瑞穂公園整備アンケート	各団体意見提出

9月22日 1月13日	瑞穂公園整備説明会 ※1月13日はオンライン開催	各団体参加
10月2、3日	政令指定都市身体障害者福祉団体連絡協議会 ※コロナにより中止、書面開催	各団体意見提出
11月4、5日	日身連中部ブロック身体障害者相談員研修会 ※コロナにより中止、書面開催	各団体意見提出
11月21日	名身連福祉大会	各団体要望提出
10月 12月	名古屋市作成障害特性動画アンケート 完成テスト動画についてのアンケート	各団体意見提出
12月1日	福祉都市環境整備指針改定への意見聴取会	各団体参加
12月5日	障害者週間記念のつどい 講演：相模原障害者無差別殺傷事件 被害者家族尾野氏、映画上映「あん」	主幹団体として参加
2月3日	アジア競技大会等における競技会場(レインボーホール)のバリアフリー調査	各団体参加、意見提出
3月9日	愛知県スタートアップ支援拠点意見聴取会	各団体参加、意見提出

各 部 署 資 料

本部

理事会・評議員会・評議員選定委員会

表 1

事項	期間	場所	摘要
第 142 回 理事会	令和 3 年 6 月 9 日	名身連 福祉センター	① 令和 2(2020)年度 事業報告(案) ② 令和 2(2020)年度 計算書類及び計算書類に関する附属明細書及び財産目録(案) ③ 次期理事・監事選任候補の推薦について(案) ④ 次期評議員選任候補者の推薦について(案) ⑤ 定時評議員会の日程等について(案) ⑥ 評議員選任・解任委員会の日程について(案) ⑦ 文書保存規程について(案)
第 113 回 評議員会	令和 3 年 6 月 30 日	名身連 福祉センター	① 令和 2(2020)年度 事業報告(案) ② 令和 2(2020)年度 計算書類及び計算書類に関する附属明細書及び財産目録(案) ③ 次期理事・監事選任候補の推薦について(案) ④ 次期評議員選任候補者の推薦について(案) ⑤ 評議員選任・解任委員会の日程について(案) ⑥ 文書保存規程について(案)
第 4 回 評議員選任 解任委員会	令和 3 年 6 月 30 日	名身連 福祉センター	① 評議員の選任について(案)
第 143 回 理事会	令和 3 年 6 月 30 日	名身連 福祉センター	① 新理事長の選任について(案) ② 不動産委員、人事委員について(案) ③ 評議員選任・解任委員の候補について(案) ④ 名身連大規模修繕について(案)
第 1 回会 不動産委員 会	令和 3 年 8 月 16 日	名身連 本部会館	① 設計管理契約について ② スケジュール確認 ③ 公募方法について ④ 予定価格の決定
第 2 回会 不動産委員 会	令和 3 年 9 月 6 日	書面決議	① 入札業者について
第 3 回会 不動産委員 会	令和 3 年 10 月 1 日	名身連 本部会館	① 入札
第 144 回 理事会	令和 4 年 1 月 12 日	名身連 福祉センター	② 令和 3(2021)年度資金収支補正予算書について(案) ③ 就業規則の変更について(案)
第 145 回 理事会	令和 4 年 3 月 16 日	名身連 福祉センター	① 令和 4(2022)年度事業計画(案) ② 令和 4(2022)年度資金収支予算書(案) ③ 規程・規則の変更について(案) ④ 臨時評議員会の日程等について
第 114 回 評議員会	令和 4 年 3 月 29 日	名身連 福祉センター	① 令和 4(2022)年度事業計画(案) ② 令和 4(2022)年度資金収支予算書(案)

令和3年度(2021) 会務報告

期 日	事 項	場 所
R 3. 5. 9	第18回名古屋市障害者スポーツ大会 陸上競技・フライングディスク競技の部	パロマ瑞穂北陸上競技場・ レクリエーション広場
R 3. 6. 9	第142回 理事会	名身連福祉センター
R 3. 6. 6	第57回名肢体登山大会 (ｺｯﾁの為中止)	長野県白樺湖
R 3. 6. 13	第18回名古屋市障害者スポーツ大会 7-フェリー の部 (ｺｯﾁの為中止)	猪高緑地公園7-フェリー場
R 3. 6. 25	協会長・部会長会議	名身連福祉センター
R 3. 6. 28	第66回日本身体障害者福祉大会(オンライン配信)	日身連
R 3. 6. 30	第113回 評議員会	名身連福祉センター
	第4回 評議員選任・解任委員会	
	第143回 評議員会	
R 3. 8. 22	第18回名古屋市障害者スポーツ大会 水泳の部 (ｺｯﾁの為中止)	障害者ｽﾎﾟｰﾂセンター
R 3. 9. 5	第18回名古屋市障害者スポーツ大会 ボッチャの部 (ｺｯﾁの為中止)	障害者ｽﾎﾟｰﾂセンター
R 3. 10. 2~3	第62回 政令指定都市身体障害者福祉団体連絡協議会 (ｺｯﾁの為中止、書面決議開催)	川崎市 KSPホテル
R 3. 10. 3	障害者と市民のつどい・シティハンディマラソン (ｺｯﾁの為中止)	栄オアシス21
R 3. 10. 10	第47回名視協文化祭	名身連福祉センター
R 3. 11. 4~5	日身連 中部ブロック身障相談員研修会 (ｺｯﾁの為中止)	富山県
R 3. 10. 23~25	第21回 全国障害者スポーツ大会 三重県とこわか大会 (ｺｯﾁの為中止)	三重県
R 3. 11. 7	第18回 名古屋市障害者スポーツ大会 ボウリングの部	スポーツ名古屋
R 3. 11. 14	第18回 名古屋市障害者スポーツ大会 卓球の部	障害者ｽﾎﾟｰﾂセンター
R 3. 11. 18	第18回 名古屋市障害者スポーツ大会 バレーボールの部	名東ｽﾎﾟｰﾂセンター
R 3. 11. 21	第66回 名古屋市身体障害者福祉大会 (ｺｯﾁの為縮小開催)	名身連福祉センター
R 3. 11. 28	名聴言協第18回なごや手話フェスティバル (ｺｯﾁの為中止)	名古屋市北文化小劇場
R 3. 12. 3	障害者週間記念のつどい	名古屋市公会堂
R 3. 1. 12	第144回 理事会	名身連福祉センター
R 4. 2. 8~13	第56回 名古屋市障害者作品展示会	名古屋市博物館
R 4. 2. 13	第56回 名古屋市障害者作品展示会 授賞式	

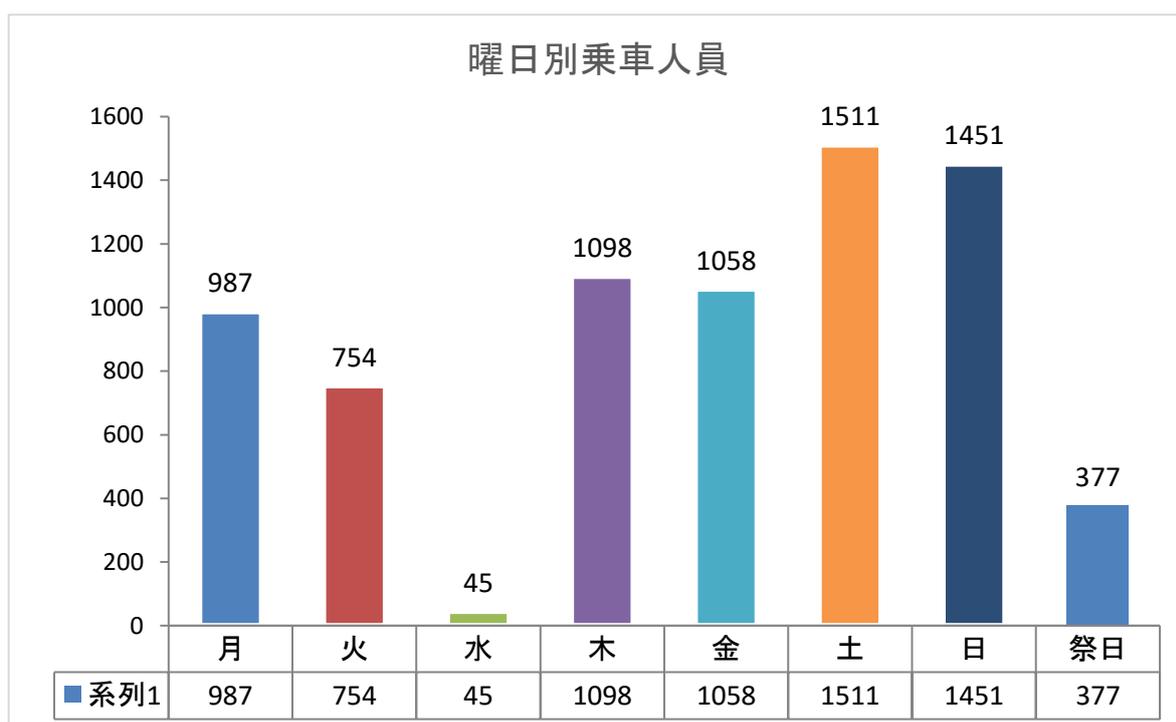
	(ｺｰﾈの為縮小開催)	
未定	令和3年度 福祉の店 (ｺｰﾈの為中止)	未定
R 4. 2. 25	政令指定都市団体長会議 (書面開催)	川崎市
R 4. 3. 16	第 145 回 理事会	名身連福祉センター
R 4. 3. 29	第 114 回 評議員会	名身連福祉センター

令和3（2021）年度 福祉バス乗車実績報告

表3-1

月	団 体 種 別				運行 日数	利用 団体 数	日帰り	一泊 二日	利 用 人 員				利 用 目 的		
	身体	知的	精神	その他					障害 者	(車い す)	介助 者	合計	研修・ 見学	スポー ツ・レク	その他
4月	4	0	0	0	4	3	4	0	36	5	36	72	2	2	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	2	0	0	0	2	2	2	0	19	2	17	36	2	0	0
7月	2	0	0	0	2	2	2	0	16	3	12	28	2	0	0
8月	1	2	0	0	3	3	3	0	30	2	15	45	2	1	0
9月	3	1	0	0	4	4	4	0	36	4	36	72	3	1	0
10月	8	0	1	0	9	7	9	0	93	15	60	153	6	3	0
11月	8	0	3	1	12	10	12	0	124	3	82	206	9	3	0
12月	3	0	2	1	6	4	5	1	72	5	34	106	4	2	0
1月	2	0	0	1	3	3	3	0	26	0	10	36	2	1	0
2月	1	0	1	0	2	2	2	0	22	0	10	32	0	2	0
3月	5	0	0	1	6	5	5	1	57	3	63	120	5	1	0
合計	39	3	7	4	53	45	51	2	531	42	375	906	37	16	0

月	乗車人数	運行日数	1日平均
4	722	25	29
5	512	23	22
6	561	25	22
7	713	25	29
8	683	26	26
9	610	23	27
10	759	27	28
11	675	24	28
12	622	24	26
1	599	23	26
2	505	22	23
3	503	25	20
令和3年度	7,464	292	26



盲女性家庭生活訓練講座事業

表3-3

- 1 期 間 自 令和 3年 4月 1日
至 令和 4年 3月31日
- 2 人 数 1講座10名～50名 延べ 213名
- 3 課 目 3課目 (11講座 12回)
- 4 会 場 名身連福祉センター、ウィルあいち 他
- 5 主 管 名古屋市視覚障害者協会
- 6 代 表 者 田中 伸明
- 7 講 師 8名
※ ボランティア 31名

盲女性家庭生活訓練講座 実施プログラム

実 施 日	講 座 名	内 容	講 師	会 場	受講者数
一 般 生 活					
5/9	身だしなみ講座	おしゃれなスカーフの巻き方	島田邦子	名身連	20名
6/13	生活講座	お金の学習塾	金森勇司	名身連	17名
8/8	コミュニケーション講座	上手なききかた	今井陽子	名身連	12名
10/21	社会研修	バスを利用して食べ物作り体験と社会見学	/	福祉バス	16名
10/29	社会研修	バスを利用して食べ物作り体験と社会見学	/	福祉バス	17名
2/20	料理講座	新型コロナウイルス感染症対策の為に中止	/	/	0名
3/19	料理講座	オンライン料理座談会	/	オンライン	13名
一 般 教 養					
7/18	IT講座	iPhone講座	大澤麻衣子	名身連	12名
9/5	教養講座	国際女性映画祭の映画鑑賞	/	ウィルあいち	22名
10/10	教養講座	ヘルマンハープとコントラバスの音楽をきく会	小川真騎子	名身連	50名
残 存 機 能 回 復 訓 練					
11/14	音楽講座	楽器体験	三谷真司	名身連	9名
12/4	創作講座	クリスマスフラワーアレンジメント	八木道枝	名身連	18名
1/9	体操講座	椅子に座って行うストレッチ	石原敦美	名身連	7名

盲青年等社会生活教室事業

表3-4

- 1 期 間 自 令和3年4月1日
至 令和4年3月31日
- 2 人 数 1講座 4名～60名 参加人数 のべ613名
- 3 課 目 3課目 (11講座 47回)
- 4 会 場 名身連福祉センター・名古屋盲学校 他
- 5 主 管 名古屋市視覚障害者協会
- 6 代 表 者 田中 伸明
- 7 講 師 13名
- ※ ボランティア 延べ40名

盲青年等社会生活教室 実施プログラム

実 施 日	課 目	会 場	受講者数
社 会 教 養			
5/30	新型コロナワクチン接種についての説明会	名身連	24名
8/29	視覚障害者の生活を考える会	名身連	31名
9/12	自然に親しむ集い	花ひろば、正法寺、えびせんの里	18名
9/19	自然に親しむ集い	花ひろば、正法寺、えびせんの里	18名
10/10	文化祭	名身連	50名
1/10	白寿会初詣ツアー	豊国神社、津島神社、祖父江善光寺、東海別院	18名
1/15	バリアフリー映画上映会	名古屋市総合福祉会館	54名
2/11	視覚障害者の生活を考える会	名身連・オンライン	26名
一 般 教 養			
1/10	視覚障害者でも遊べるPCゲーム紹介	オンライン (Zoom)	14名
11月・12月	話題のZoomをiPhoneで使ってみよう (全4回)	名身連	14名
通年	将棋教室(7月3月を除く毎月1回全10回)	オンライン	87名
ス ポ ー ツ 教 室			
通年	フロアバレーボール教室 (毎月2回 全24回)	名古屋盲学校	259名

身体障害者相談員実績

表4

相談別相談件数

		令和3(2021)年度												合計
		1期			2期			3期			4期			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
身体障害者手帳		0	0	2	1	0	0	1	1	2	3	1	2	13
自立支援医療(更生医療)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補装具費の支給		3	2	2	2	3	2	2	1	2	1	3	2	25
施設入所		0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	1	0	5
生活問題		11	9	7	8	6	6	6	6	8	5	6	5	83
職業問題		2	4	3	2	1	4	1	3	4	4	1	2	31
その他		11	17	11	5	6	4	0	3	3	2	5	5	72
合計		27	32	26	18	17	16	10	15	20	15	17	16	229
福祉関係 連絡	福祉事務所	2			1			2			1			6
	更生相談所	0			0			0			0			0
	職業安定所	0			0			0			0			0
	民生委員	0			0			0			0			0
	その他	1			1			0			6			8
合計		3			2			2			7			14

令和3年度ヒヤリハット、アクシデント事故等行為別分類統計

表5

場面	想定されるリスク	インシデント件数	アクシデント件数	割合 (%)
入浴介助	転倒・転落・熱傷			
食事介助	誤嚥・アレルギー			
口腔ケア	誤嚥			
服薬介助	誤与薬			
排泄介助	転倒・転落			
移乗介助	転倒・転落			
外出	転倒・転落			
歩行介助	転倒・転落・接触	1		3%
作業	切断・打撲・接触	1		3%
利用者管理	転倒・打撲等	4	1	13%
利用者管理	離施設		1	3%
感染予防	感染症			
送迎	転倒・転落			
同行援護・移動支援	転倒・転落		3	8%
派遣モレ		4		10%
メール・FAX 誤送信		5	1	15%
その他	受付漏れ	1	1	5%
	服薬管理	1		3%
	車両事故	1		3%
	作業	6	1	18%
	利用料金額ミス	1		3%
	書類見落とし	1		3%
	現金入れ忘れ	1		3%
	鍵戻し忘れ	1		3%
	ウィルスメール		1	3%

30件

10件

令和3（2021）年度チャレンジPT取り組み 事業報告

部署名	取り組みテーマ
事務局	事務局事業の発展を目指して
ヘルパーセンター	リスクコミュニケーションによりケース共有を進め、利用者の安全を増進しよう
聴言センター	盲ろう派遣事業の円滑化に向けて ～盲ろう者が長期にわたり円滑に派遣利用するために～
サニーライフ犬山	障害福祉分野のICT導入モデル事業

ホームページセッション順位（期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日）

順位	ページタイトル	ページビュー数 216,129 (R2年度:207,800)	ページ別訪問数 154,160 (R2年度:145,648)	平均ページ滞在時間 59秒 (R2年度:60秒)
1	名古屋市身体障害者福祉連合会	31,192(14.43%)	19,761(12.82%)	0:00:52
2	お知らせ 名古屋市身体障害者福祉連合会	17,616(8.15%)	10,293(6.68%)	0:00:22
3	学びたい(健聴者向け) 名古屋市身体障害者福祉連合会	10,524(4.87%)	6,970(4.52%)	0:01:41
4	ギャラリー 名古屋市身体障害者福祉連合会	10,435(4.83%)	6,933(4.50%)	0:00:25
5	聴覚言語障害者情報文化センター 名古屋市身体障害者福祉連合会	8,766(4.05%)	5,955(3.86%)	0:00:58
6	法人概要・法人について 名古屋市身体障害者福祉連合会	4,849(2.24%)	3,109(2.02%)	0:00:28
7	施設紹介 名古屋市身体障害者福祉連合会	4,576(2.12%)	3,001(1.95%)	0:00:17
8	【名古屋市】住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金のお知らせ 名古屋市身体障害者福祉連合会	4,144(1.92%)	3,629(2.35%)	0:03:05
9	職員募集について 名古屋市身体障害者福祉連合会	3,963(1.83%)	2,938(1.91%)	0:01:20
10	障害者就労支援センターめいしんれん 名古屋市身体障害者福祉連合会	3,937(1.82%)	2,829(1.84%)	0:00:58
11	栄駅 東山線ホームと名城線右回りホーム乗り換えエレベーターの使用開始日程のお知らせ 名古屋市身体障害者福祉連合会	3,420(1.58%)	3,070(1.99%)	0:04:10
12	ご利用案内 名古屋市身体障害者福祉連合会	3,164(1.46%)	2,031(1.32%)	0:00:24
13	2021年度手話奉仕員養成講習会およびろうネイティブコースについて 名古屋市身体障害者福祉連合会	2,919(1.35%)	2,116(1.37%)	0:01:04
14	バーチャル作品展によろこ 名古屋市身体障害者福祉連合会	2,682(1.24%)	1,683(1.09%)	0:01:12
15	第一ワークス・第一デイサービス施設情報 名古屋市身体障害者福祉連合会	2,570(1.19%)	1,684(1.09%)	0:00:43
16	熱田区障害者基幹相談支援センター 名古屋市身体障害者福祉連合会	2,527(1.17%)	1,805(1.17%)	0:01:55
17	中村区障害者基幹相談支援センター 名古屋市身体障害者福祉連合会	2,434(1.13%)	1,797(1.17%)	0:01:56
18	動画紹介 名古屋市身体障害者福祉連合会	2,355(1.09%)	1,642(1.07%)	0:01:14
19	依頼したい(手話通訳派遣) 名古屋市身体障害者福祉連合会	2,336(1.08%)	1,862(1.21%)	0:03:01
20	交通アクセス 名古屋市身体障害者福祉連合会	2,263(1.05%)	1,866(1.21%)	0:01:59
21	第二ワークス・第二デイサービス施設情報 名古屋市身体障害者福祉連合会	2,068(0.96%)	1,404(0.91%)	0:00:46
22	福祉バス 名古屋市身体障害者福祉連合会	1,908(0.88%)	1,207(0.78%)	0:02:16
23	【お正月】2022年おせち予約販売開始のお知らせ【八百彦のおせち】 名古屋市身体障害者福祉連合会	1,838(0.85%)	1,514(0.98%)	0:02:47
24	就労継続支援B型事業 名古屋市身体障害者福祉連合会	1,716(0.79%)	1,259(0.82%)	0:01:11
25	聴覚言語障害者情報文化センター(名身連聴言センター) 名古屋市身体障害者福祉連合会	1,633(0.76%)	1,186(0.77%)	0:00:43
26	ガイドヘルパー募集 名古屋市身体障害者福祉連合会	1,557(0.72%)	1,120(0.73%)	0:02:03
27	組織図・役員 名古屋市身体障害者福祉連合会	1,500(0.69%)	1,099(0.71%)	0:01:17
28	協力したい(ボランティア募集) 名古屋市身体障害者福祉連合会	1,230(0.57%)	884(0.57%)	0:01:16

29	サニーライフめいしんれん 名古屋市身体障害者福祉連合会	1,224(0.57%)	1,009(0.65%)	0:01:11
30	ボランティア募集 名古屋市身体障害者福祉連合会	1,165(0.54%)	901(0.58%)	0:01:02
31	ヘルパーセンター 名古屋市身体障害者福祉連合会	1,162(0.54%)	869(0.56%)	0:01:15
32	生活介護事業 名古屋市身体障害者福祉連合会	1,157(0.54%)	892(0.58%)	0:01:22
33	情報公開 名古屋市身体障害者福祉連合会	1,150(0.53%)	717(0.47%)	0:01:15
34	ジパング倶楽部特別会員(身体障害用)入会のご案内 名古屋市身体障害者福祉連合会	1,059(0.49%)	884(0.57%)	0:03:21
35	依頼したい(要約筆記派遣) 名古屋市身体障害者福祉連合会	1,051(0.49%)	756(0.49%)	0:02:15
36	障害者相談センターめいしんれん 名古屋市身体障害者福祉連合会	982(0.45%)	774(0.50%)	0:01:36
37	名身連グループホーム中村 名古屋市身体障害者福祉連合会	947(0.44%)	688(0.45%)	0:01:29
38	会長あいさつ 名古屋市身体障害者福祉連合会	921(0.43%)	717(0.47%)	0:00:48
39	事務局 名古屋市身体障害者福祉連合会	921(0.43%)	732(0.47%)	0:00:37
40	お仕事のご依頼 名古屋市身体障害者福祉連合会	888(0.41%)	695(0.45%)	0:01:08
41	あつたハニー販売開始！ 名古屋市身体障害者福祉連合会	851(0.39%)	668(0.43%)	0:01:40
42	本部会館施設情報 名古屋市身体障害者福祉連合会	844(0.39%)	656(0.43%)	0:00:42
43	手作り足置き台 完成しました！！ 名古屋市身体障害者福祉連合会	828(0.38%)	784(0.51%)	0:06:23
44	イベントインフォメーション 名古屋市身体障害者福祉連合会	810(0.37%)	578(0.37%)	0:01:09
45	サニーライフめいしんれんがオープンしました 名古屋市身体障害者福祉連合会	774(0.36%)	602(0.39%)	0:01:36
46	学びたい(聴覚障害者向け) 名古屋市身体障害者福祉連合会	771(0.36%)	547(0.35%)	0:00:58
47	令和3年度音訳ボランティア養成講座の開催について 名古屋市身体障害者福祉連合会	767(0.35%)	647(0.42%)	0:02:32
48	旅行センター 名古屋市身体障害者福祉連合会	759(0.35%)	542(0.35%)	0:01:00
49	イベントインフォメーション更新しました(日本語字幕映画情報) 名古屋市身体障害者福祉連合会	734(0.34%)	592(0.38%)	0:00:09
50	2021年度 オンライン手話講座(名古屋市委託事業) 名古屋市身体障害者福祉連合会	724(0.33%)	542(0.35%)	0:01:21

課題及び今後の取り組み

令和3年度、名身連のホームページには5万2488人(2年度:4万5461人)から7万5308アクセス(2年度:6万8139アクセス)があった。地域別では名古屋市内が42%、大阪市が10.5%、東京24区が9.2%など、都市部で大部分を占めるが、全国各地から閲覧があり、特に名古屋近郊や、横浜市や京都市といった政令市からの閲覧が多く、アメリカを中心とした海外からの閲覧もある。平成30年度から令和元年度のページビュー数の伸び率は、3.27%だったが、令和元年度から2年度にかけて大きく伸び、10.45%を記録している。要因として、①令和元年度の第54回作品展からバーチャル作品展にギャラリーを拡充し、コロナ禍もあって知名度が上がったこと、②新規事業スタート(就労支援センターめいしんれん、サニーライフ、あらわい)で検索が増えたこと、③おしらせ欄の頻繁な更新とSNSの併用、が考えられる。令和2年度から3年度は安定的な変化で、前年と較べるとゆるやかに増加。増加率が高かったのは、動画とバーチャル作品展のギャラリー。中でも動画は、それまで新しい制作や掲載がストップしていたこともあり、前年比429%という数字になった。動画は聴言センターと事務局(旅行センター、作品展)が制作掲載している。聴言センターは、当事者向けの動画と各種講座の募集など、幅広いターゲットを持ち、全体で見ても高いページビューをキープしている。おしらせ欄や聴言センター関係、バーチャル作品展などを中心に、現在のコンテンツは安定した閲覧があり、HP訪問者のニーズを一定程度満たしていると考えられるが、今後の発展のためには、ホームページの改修など、テコ入れが必要である。

No.	日程	参加職員名	テーマ	内容	主催者	講師	場所
1	4月24日	名身連職員	職員研修	事業計画 チャレンジ発表 事業計画共有・グループワーク	名身連	名身連職員	福祉センター
2	6月28日	田尻 健史	名古屋市障害者相談支援従事者研修 初任者クラス研修1日目	基幹相談支援センターの委託内容について 基幹相談支援センター業務の実際	名古屋市	障害者支援課推進係長 寛 氏 熱田区障害者基幹相談支援センター久野氏 中川区障害者基幹相談支援センター関戸氏	市役所西庁舎
3	7月3日	上条 渉 山田みどり 藤田隆晟 渡辺百合子 近藤見彦 永井三三子 榊原諒人 高柳泰二 加藤万里 箕輪勇志 稲持祥太 川野 真奈美	福祉用具 介護技術実習、自立生活講義内容	○福祉用具・介護技術・自立生活講演 リフトの操作 車いす等移動用具の紹介 杖等歩行支援用具の紹介 オムツ・パットの交換方法 食事介助の仕方 身体障害者の自立生活の紹介（受障から地域生活を送るまでの道程）	ケースワークPT企画	なごや福祉用具プラザ AJU自立の家スタッフ	なごや福祉用具プラザ
4	7月3日	近藤 晃弘 坪井 栄子 伊藤 折恵 森本 光代 渡辺百合子	福祉用具 介護技術実習、自立生活講義内容	リフトの操作 オムツ・パットの交換方法 食事介助の仕方 身体障害者の自立生活の紹介	名身連第二ワークス・第二デイサービス	なごや福祉用具プラザ AJU自立の家スタッフ	なごや福祉用具プラザ
5	7月5日	小池 まり	アイネス初任者研修会	・職業評価について ・中長期計画・事業計画について ・グループワーク	愛知県障害者就業・生活支援センター連絡協議会 アイネス/愛知県障害者職業センター 他	愛知県障害者職業センター 職業カウンセラー 照山恵	愛知県障害者職業センター
6	7月15日	石崎 貴子 大瀧 円 池田 待恵	意思疎通支援担当者研修会	コロナ禍での意思疎通支援～急激な変化による影響 現状と課題～	東京手話通訳派遣センター	東京手話通訳派遣センター コミュニケーション支援部門長 落合 和代	オンライン
7	7月28日	安井 奈美	知財学習プログラム オンラインセミナー基礎編 in 愛知	障害のある人の創作活動にまつわる権利保護について	たんぼぼの家 他	弁護士 安永恵子氏 他	オンライン
8	7月30日	高山宗元 田尻 健史	令和3年度第一回4区合同相談支援事業者学習会	名古屋市自立支援連絡会の体制について / グループワーク「事例を通して地域課題を考える」	西ブロック連絡会	中川区障害者基幹相談支援センター渡邊理恵子氏	中川区役所講堂
9	8月5日	坪井 美佳	問題社員をめぐるトラブル予防・対応アドバイス～組織内部から見える勘所～	問題社員をめぐるトラブル予防・対応について	新日本法規出版	芦原一郎（弁護士）	オンライン
10	8月11日	山田 耕治 田尻 健史	相談支援従事者現任研修	地域をつくる相談支援の実践	愛知県	県内相談事業所 相談支援専門員等	ウイルあいち
11	8月11日	高山宗元	松蔭病院との勉強会（中川区相談支援部会）	名古屋市保健医療型アウトリーチ支援モデル事業について	中川区自立支援連絡協議会	松蔭病院社会療法部 地域生活支援室 芝辻彩子氏	オンライン
12	8月20日	鎌田 順子	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業 精神障害者への地域移行関係職員に対する研修	精神障害者への支援を学ぶ	名古屋市	名古屋市健康福祉局健康部健康増進課職員 社会福祉法人愛恵協会泉陽一郎氏 生活支援センターさざなみ中住氏	名古屋市精神保健福祉センターこらぼ
13	8月20日	村下絢香	医療従事者のための勉強会リハスが取り組む社会参加のーかたち	リハスワーク名古屋みずほ事業所紹介 リハスが描く就労支援の可能性について 就労移行支援と就労継続支援の連携	リハスワーク名古屋	リハスワーク名古屋職員	リハスワーク名古屋みずほ
14	8月21日	池田 待恵	2021年度第2回ウェビナー アフターコロナを見据えて 遠隔要約筆記における WebConnectの紹介	社会の変化に応じて、コミュニケーションの多様化と派遣形態の変化等	NPO 全国要約筆記問題研究会	NPO 全国要約筆記問題研究会	オンライン
15	8月26日	椎葉林蔵 岡野 絵里子 西村嘉信 藤田 隆晟 村下絢香 上條 渉	発達障害者の理解と対応	発達障害についての理解を深め、また施設を現在利用されているご利用者様の事例を通して、現在の支援を見直したい	名身連第一デイサービス	リンクス名古屋	名身連第一ワークス第一デイサービス
16	8月31日	久野 寿枝	サービス管理責任者更新研修	制度・施策についての知識のアップデート サービス管理責任者の役割と目的の再認識	愛知県	愛知県内のサービス管理責任者	オンライン
17	9月8日	田尻 健史	障害者差別「地域の相談窓口従事職員向け研修」	差別相談センターで対応した相談事例の紹介	名古屋市	差別相談センター	オンライン
18	9月17日	藤田 聖子	手話通訳士現任研修「医療Ⅰ」	社会福祉援助技術	日本手話通訳士協会	九州産業大学人間科学教授倉知氏	オンライン
19	9月18日	藤田 聖子	手話通訳士現任研修「医療Ⅱ」	ラボラトリー方式によるグループワーク	日本手話通訳士協会	土協会理事 渡邊・草野	オンライン
20	9月22日	松崎 佑夏 谷口 徳也	支援員さんのためのスキルアップセミナー	キャリアカウンセリングから学ぶ、支援員の姿勢 / アセスメントの考え方や必要性	名古屋市	ウェルジョブ 吉田氏 Man to man Animo 中島氏	オンライン
21	10月4日	各務紗恵子	アイネス中堅者研修	就労支援におけるアセスメントの意義と視点 / ケーススタディ	愛知障害者職業センター	主幹障害者職業カウンセラー照山恵	愛知障害者職業センター
22	10月11日 10月14日	高山宗元 柴垣りえ	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業 精神障害者への地域移行関係職員に対する研修	精神障害者への支援を学ぶ	名古屋市	名古屋市健康福祉局健康部健康増進課職員 社会福祉法人愛恵協会泉陽一郎氏 生活支援センターさざなみ中住氏	名古屋市精神保健福祉センターこらぼ
23	10月17日	榊原 諒人	障害福祉サービス事業所施設職員口腔ケア研修会	効果的な口腔ケアについて	愛知県歯科医師会	小島 広臣氏	オンライン
24	10月24日	石崎 貴子 加藤安貴子	盲ろう児者の医療と福祉	盲ろう児者を支援している愛知県の関係施設の取り組み	国立病院機構東京医療センター	国立病院機構東京医療センター 松永 達雄氏 他6名	オンライン
25	10月30日	藤田 聖子	手話通訳士 現任研修 「司法」	民事司法に関して 外国の司法通訳	日本手話通訳士協会	高野俊太郎 弁護士 三澤かがり 手話通訳士協会理事	オンライン
26	10月31日	藤田 聖子	手話通訳士 現任研修 「司法」	司法場面における手話通訳	日本手話通訳士協会	高井洋 手話通訳士協会理事	オンライン

27	11月1日～2日	後藤 孝宏	名古屋市強度行動障害者支援者養成研修	強度行動障害の基本的理解 支援技術の基礎的な知識 基本的な情報収集と記録等の共有 行動障害の背景にある特性の理解	名古屋市	名古屋市強度構想障害者支援事業事務局 大川義之、西山裕一、杉本都	御器所ステーションビル 高齢者就業支援センター大会議室
28	11月11日	椎葉林蔵 中西勇雄 井戸田啓介 西村 嘉信 山口みどり 藤田 隆晟 藤田絵里香 村下 絢香 岡野絵里子 上條渉	救命救急法	心肺蘇生法・AEDの使い方	名身連第一ワークス第一 デイサービス	熱田消防署	名身連第一ワーク ス第一デイサービ ス
29	11月18日	石崎 貴子 加藤安貴子	盲ろう者向け通訳・介助員養成担 当等研修会	コロナ禍における盲聾者支援	国立障害者リハビリテ ーションセンター	東京友の会理事長 藤鹿氏 国立障害者リハビリテーションセン ター 新家氏 他4名	オンライン
30	11月19日	石崎 貴子 加藤安貴子	盲ろう者向け通訳・介助員養成担 当等研修会	情報交換会	国立障害者リハビリテ ーションセンター	情報交換	オンライン
31	11月19日	田尻 健史	依存症基礎講座	依存症病理と引き起こす問題への理解	名古屋市	刈谷病院 菅沼直樹 氏	オンライン
32	11月23日	藤田 聖子	手話通訳士 現任研修「医療通 訳」	医療現場における手話通訳 医療通訳演習	関西学院大学	川上恵 米国認定手話通訳者 竹内幸代 手話講師 柴田正彦 ろう薬剤師 多賀真理子 看護師	オンライン
33	11月24日	小池 まり	アンガーマネジメントの基本を学 ぶ	・怒りの抑え方 ・行動のコントロール	親愛の里勉強会	田原助産所 施設長：鎌田 博幸	親愛の里
34	11月25日	窪田 あい	えせ同和行為をはじめとする不当 要求行為対策セミナー	同和問題の現在 不当要求行為の現状と対応要領	公益財団法人人権教育啓 発推進センター	白井敏男(元朝日新聞論説委員) 館喜代孝(暴力追放愛知県民会議 専務理事)	オンライン
35	11月29日	柴垣りえ	令和3年度名古屋市居住支援セミ ナー	住まいサポートなどごの紹介 居住支援と他施策の連携 連携事例の紹介	名古屋市	中京大学 総合政策学部 教授 岡本 祥浩 氏	オンライン
36	11月29日	高山宗元 田中万祐子	精神疾患への理解とよりよい支援 に向けたオンライン研修会	精神疾患の理解とよりよい支援に向け て	西ブロック連絡会	名古屋市精神保健福祉センター所 長安井氏 瑞穂区障害者基幹相談支援セン ター長小島一郎氏	オンライン
37	12月13日	山田 耕治	サービス管理責任者更新研修	制度・施策についての知識のアップデー ト サービス管理責任者の役割と目的の再認識	愛知県	愛知県内のサービス管理責任者	愛知県自治セン ター
38	12月13日	柴垣りえ	強度行動障害の基本的理解につい て	強度障害者の基本的理解について 冰山モデル・支援手順書の流れ	生活介護シンフォニー	社会福祉法人 名北福祉会 名北鳩岡の家 西山 裕一氏	生活介護 シン フォニー
39	12月17日	羽生 ひろみ	サービス管理責任者更新研修	制度・施策についての知識のアップデー ト サービス管理責任者の役割と目的の再認識	愛知県	愛知県内のサービス管理責任者	オンライン
40	12月21日	安藤 真一 各務紗恵子	名古屋市4センター研修	・若年症サポーター養成講座 ・若年性認知症の支援と現状 ・グループワーク	名古屋市雇用支援セン ター	熱田いきいき支援センター 名古屋市認知症相談支援センター 雇用支援センター	雇用支援センター
41	12月21日	田中万祐子	防災研修	中村区の地域防災について	中村区自立支援連絡協議 会 啓発部会	中村区役所総務課防災担当主査 水野尊雄氏	中村区役所講堂
42	1月10日	池田 待恵	パソコン文字通訳シンポジウム ウィズコロナ時代のパソコン文字 通訳	遠隔でのパソコン要約筆記 実態調査 神奈川県での遠隔情報保障の取り組み	全国文字通訳研究会	神奈川県聴覚障害者福祉センター 田中 氏 他	オンライン
43	1月21日	各務紗恵子	アイネスフォローアップ研修	・グループワーク・発表 ・スーパervァイズ	愛知障害者職業センター	主幹障害者職業カウンセラー照山 恵	名身連福祉セン ター(オンライン)
44	1月26日	小池 まり	愛着障害のある方の支援	精神科病院での児童期事例	親愛の里勉強会	愛知県医療センター精神科医師 吉 岡眞吾	親愛の里
45	1月26日	後藤 桂一]	グループホーム世話人等研修	世話人としての基礎知識、事例検討など	名古屋市社会福祉協議会	社会福祉法人あさみどりの会 法人 共同生活援助事業所 総括主任 丹下靖 氏	オンライン
46	2月	グループホーム正規職 員・パート職員	名身連グループホーム中村職員研 修	障害者総合支援法のサービスについて 障害者虐待の内容、具体例、関係機関につ いて 不適切な身体拘束の防止について 虐待防止に向けた自己チェック	名身連グループホーム中 村	資料読み込み形式にて各自学習	
47	2月3日	渡辺百合子	障害者福祉施設障害福祉サービ ス事業所に置ける虐待防止に向けて	「障害者虐待防止の更なる推進」および「新 大綱相当の適正化の推進」	名古屋市社会福祉協議会	社会福祉法人みんなできまる 理事 片桐公彦氏	オンライン
48	2月14日～ 2月15日	安井 奈美	リスクマネジャー養成講座202 1	リスクマネジメント手法、リスクマネジメン ト各論	全国社会福祉法人経営者 協議会	リスクマネジャー養成講座検討会 委員 村岡裕氏 他	オンライン
49	2月16日	久寿枝 柴垣りえ 田尻健史 羽生ひろみ	強度行動障害者の方への基本的対 応方法	強度障害者の基本的理解について 冰山モデル・支援手順書の流れ	熱田区障害者自立支援連 絡協議会	名古屋市強度行動障害者専門支援 員 今治 信一郎氏	名身連本部会館会 議室YouTube配信
50	2月17日	笹川 純子 大瀧 円	鳥取県内の聞こえない・きこえに くい人に対する支援の取り組みに ついて	鳥取県内の聴覚障害者福祉の流れ・現状・今 後のビジョン	NPO聴覚障害者情報提供 施設協議会(第4プロ ック)	公益社団法人 鳥取県聴覚障害者 協会 事務局長 石橋 大吾氏	オンライン
51	2月18日	片岡 愛里 谷口 徳也	障害者虐待防止研修会	虐待についての基本知識 実際の事例	犬山市	愛知県弁護士所属 川瀬 麻絵弁護士	オンライン
52	2月28日	渡辺百合子	社会福祉事業者による苦情解決制 度 受付担当者研修会	苦情・クレーム対応研修 「あなたが大切」が伝わる接遇を	愛知県社会福祉協議会 運営適正化委員会	(株)インソース 岩村良恵氏	オンライン
53	2月28日	高山宗元 田中万祐子	中村区障害者虐待防止研修会 ～不適切・グレーゾーンの対応を 減らし、より良い支援をするため には～	障害者虐待防止に関する基本知識の講義とグ ループワーク	中村区自立支援連絡協議 会	社会福祉法人名古屋市社会福祉協 議会 権利擁護推進部 名古屋市高 齢者・障害者虐待相談センター副 所長 大橋 一将 氏	オンライン
54	3月3日	窪田 あい	社会福祉事業者による苦情解決制 度推進研修会	精神障害の障害特徴理解	愛知県社会福祉協議会 運営適正化委員会	愛知県社協運営適正化委員会 苦情 解決合議体 委員 竹中秀彦	オンライン
55	3月4日	高山 宗元 田中万祐子	令和4年度 名古屋市相談支援従 事者研修(共通全体研修)	サービス等利用計画と個別避難計画	共通全体研修担当：東プ ロック	同志社大学 社会学部教授 立木 茂雄氏	オンライン

56	3月7日	田尻 健史	名古屋市障害者相談支援従事者研修 初任者クラス研修2日目	OJTシートをもとに1年間の振り返り 支援者のケアをどうしましょう 障害支援区分認定調査熟読度テスト	名古屋市	名古屋大学 アビリティ支援センター 特任准教授 工藤晋平 氏	市役所西庁舎
57	3月8日	服部 和夫 藤田 隆晟	新人職員研修	法人理念と地域のつながりについて 障害者の人権と貴方の生き方	名身連	名身連事務局長 谷川 陽美 名身連第一WD所長 椎葉 林蔵	オンライン
58	3月11日	谷川 陽美 坪井 美佳	社会福祉法人をとりまく制度動向	・コロナに立ち向かう法人経営とアクション プラン2025のポイント ・新たな処遇改善 ・新・WEB経営診断のご紹介	全国社会福祉法人経営者 協議会事務局	全国社会福祉法人経営者協議会 制度・施策委員会委員 吉川郁子 全国社会福祉法人経営者協議会事務局	オンライン
59	3月14日	谷口 徳也	要配慮者利用施設の防災講習会	災害を乗り越える3つの心構え 緊急時の対応	あいち・なごや強靱化共 創センター（愛知県防災 安全局防災危機管理課）	グリーンヒルみふね統括施設 町吉 本 洋氏 愛知県建設局河川課主任 鈴木氏 高齢者住まいる研究会理事長 寺 西貞昭氏	オンライン
60	3月15日	服部 和夫 藤田 隆晟	新人職員研修	福祉の歴史、福祉サービスについて 面談手法	名身連	熱田基幹所長 久野 寿枝 ヘルパーセンター 安井 奈美	オンライン
61	3月16日	小池 まり	振り回されている方への対処方法	境界性パーソナリティ障害の疑いのある方 への対応など	親愛の里勉強会	愛知県淑徳大学社会貢献学部 学部長 瀧 誠先生	親愛の里
62	3月16日	谷口 徳也	要配慮者利用施設BCP策定講習会	被災時に追込まれる状況 被災とBCP BCP作成事例の点検	あいち・なごや強靱化共 創センター（愛知県防災 安全局防災危機管理課）	社会福祉法人寿寿会 老人総合福 祉施設統括施設 吉本 洋、 特定非営利活動法人 高齢者住ま いる研究会一理事長 寺西 貞昭	オンライン
63	3月25日	見山 陽介	東京慈恵会医科大学第1回アクセ シビリティセミナー	デジタル庁の取り組み アクセシビリティとは AIスピーカーを使ったアクセシビリティ アクセシビリティ機器（iPad）導入 リハビリ現場のアクセシビリティ事例	東京慈恵会医科大学	デジタル庁審議官 犬童周作 東京慈恵会医科大学 総合医科学研究 センター高尾洋之 信朝裕行 高 橋宜盟 竹下康平 東京慈恵会医科大学附属病院 リハ ビリテーション科 鈴木慎	オンライン
64	3月29日	大瀧 円	令和3年度聴覚障害者関係施設等 職員対象中堅職員研修	コロナ禍での聴覚障害者のニーズや情報格差 聴覚障害者福祉	社会福祉法人 全国手話研修センター	全日ろう連理事・本部事務所所長 倉野氏 全通研副会長 近藤氏	オンライン
65	3月31日	大瀧 円	令和3年度聴覚障害者関係施設等 職員対象中堅職員研修	実践記録とその発展のために合同実践検討会	社会福祉法人 全国手話研修センター	大阪聴障会相談役 佐藤氏	オンライン
66	3月10日～ 3月31日	谷川 陽美	社会福祉法人経営者研修会～人事 管理コース～	コロナの時代に求められる「人を育てる経 営」とは	全国社会福祉協議会 中 央福祉学院	伊達洋駆(株) ビジネスリサーチラ ボ / 寺島基博(学習院大学教授) 藤井正隆(株) イマージョン代表取 締役社長 / 植田寿之(元梅花女子 大学准教授) / 永田祐(同志社大学 教授) / 佐々木常夫(株) 佐々木常 夫マネージメントリサーチ)	オンライン
67	3月10日～ 3月31日	谷川 陽美	社会福祉法人経営者研修会～経営 管理コース～	コロナ禍をしなやかに生きる ～社会の課題に向き合う法人経営を実現する ために～	全国社会福祉協議会 中 央福祉学院	瀧澤 明也 (厚生労働省) / 神野 直 彦 (東京大学名誉教授) / 千葉 正 展 (福祉医療機構経営サポートセ ンターシニアリサーチャー) / 外 岡 潤 (法律事務所おかげさま) / 渡辺 由美子 (認定NPOキッズドア 理事長) / 奥田 知志 (認定NPO法 人抱樸) / 有本 均 (㈱ホスピタリ ティ&グローイング・ジャパン 代 表取締役)	オンライン

名身連ヘルパーセンター

ヘルパーセンター令和3年度事業報告

I 人員の動向

利用者(人)

	新規契約		解約	
	R3	R2	R3	R2
4月	3	4	1	3
5月	2	1	2	1
6月	1	3	1	0
7月	2	4	0	0
8月	3	1	1	2
9月	1	3	4	0
10月	3	3	1	0
11月	1	2	3	3
12月	3	0	2	0
1月	1	6	0	1
2月	1	0	3	2
3月	3	2	4	1
	24	29	22	13

契約数の推移	
R3	R2
297	280
297	280
297	283
299	287
301	286
298	289
300	292
298	291
299	291
300	296
298	294
297	295
2	16

R3年度解約理由の内訳

死去	6
施設入所	5
他事業所移行	2
介護保険移行	
就職	
転出	1
病気	2
その他	6
計	22

※重複はカウントせずたる理由

ガイドヘルパー(人)

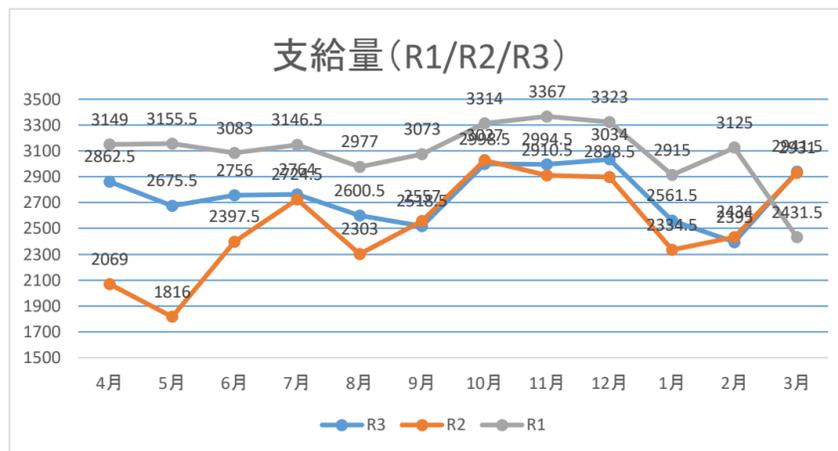
	新規登録		辞退	
	R3	R2	R3	R2
4月	3	0	0	2
5月	2	0	0	0
6月	0	0	1	0
7月	1	1	0	0
8月	0	0	0	0
9月	0	1	1	0
10月	0	2	1	1
11月	0	3	0	0
12月	3	1	1	0
1月	0	0	0	0
2月	0	1	0	0
3月	1	0	0	2
	10	9	4	5

登録者数の推移	
R3	R2
121	112
123	112
122	112
123	113
123	113
122	114
121	115
121	118
123	119
123	119
123	120
124	118
6	4

II 実績の比較(R1年度～R3年度)

支給量(単位:時間)

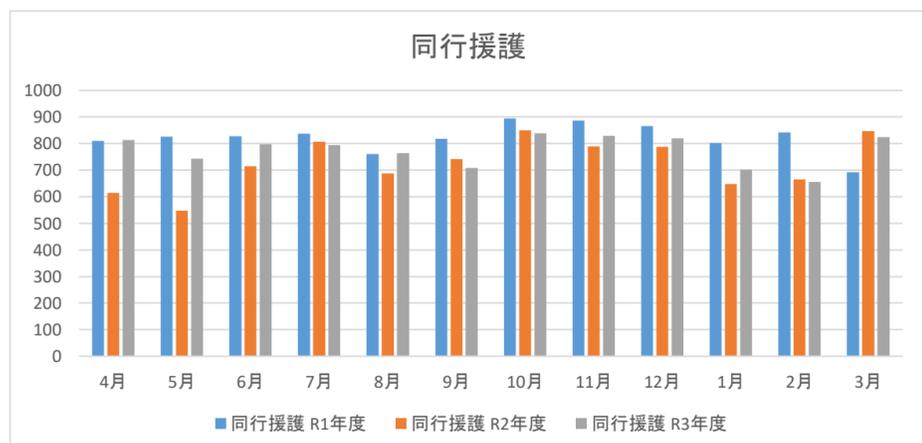
	R3	R2	R1
4月	2862.5	2069	3149
5月	2675.5	1816	3155.5
6月	2756	2397.5	3083
7月	2764	2724.5	3146.5
8月	2600.5	2303	2977
9月	2518.5	2557	3073
10月	2998.5	3027	2907.5
11月	2994.5	2910.5	3314
12月	3034	2898.5	3367
1月	2561.5	2334.5	3323
2月	2395	2434	2915
3月	2941.5	2931	2915
	33102	30402.5	37059.5



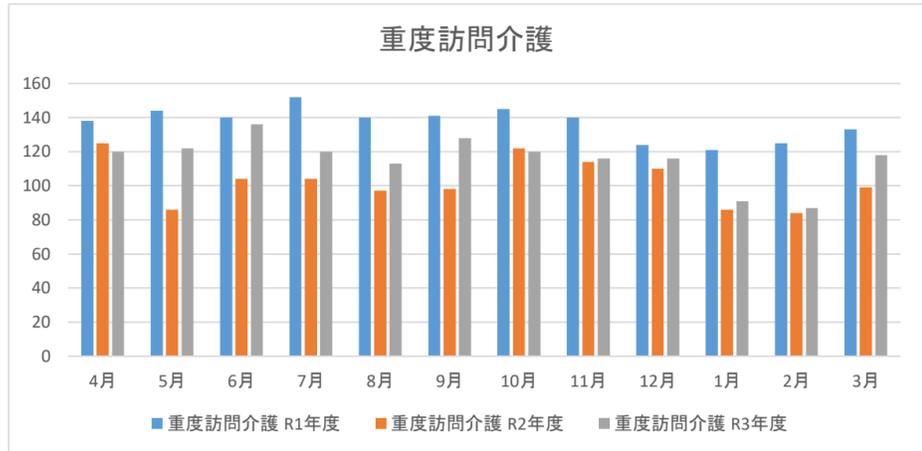
件数の比較

	件数			前年度比
	R1年度	R2年度	R3年度	
4月	1086	859	1070	211
5月	1105	727	988	261
6月	1100	957	1078	121
7月	1139	1045	1038	-7
8月	1023	886	992	106
9月	1083	960	959	-1
10月	1178	1119	1091	-28
11月	1164	1041	1072	31
12月	1121	1042	1060	18
1月	1033	846	911	65
2月	1095	870	853	-17
3月	927	1090	1079	-11
	13054	11442	12191	749

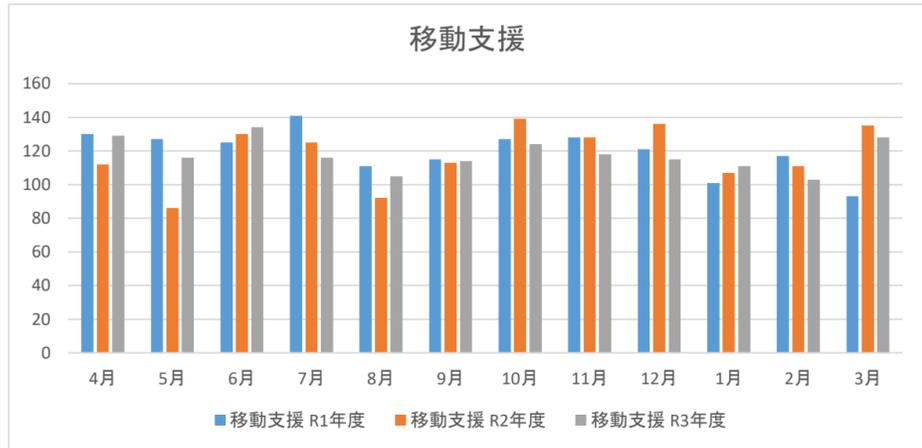
	同行援護		
	R1年度	R2年度	R3年度
4月	810	614	813
5月	826	548	743
6月	827	714	798
7月	837	807	794
8月	760	688	764
9月	818	741	709
10月	895	850	838
11月	887	790	829
12月	865	788	820
1月	802	647	702
2月	842	666	656
3月	692	846	824
	9861	8699	9290



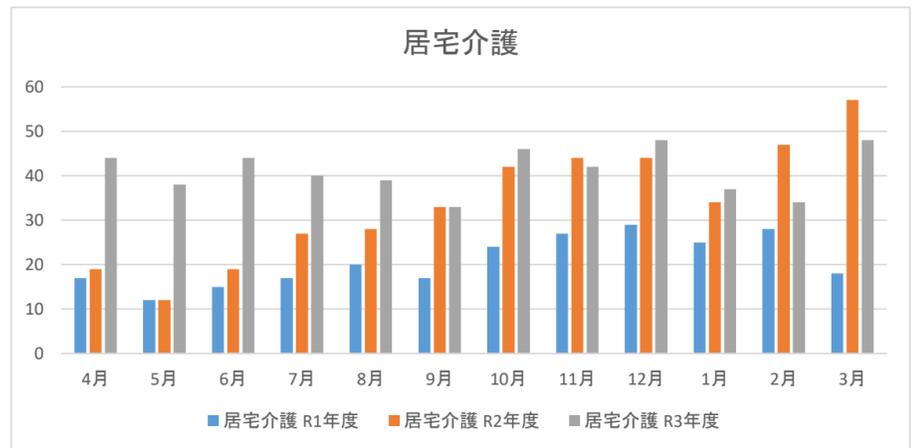
	重度訪問介護		
	R1年度	R2年度	R3年度
4月	138	125	120
5月	144	86	122
6月	140	104	136
7月	152	104	120
8月	140	97	113
9月	141	98	128
10月	145	122	120
11月	140	114	116
12月	124	110	116
1月	121	86	91
2月	125	84	87
3月	133	99	118
	1643	1229	1387



	移動支援		
	R1年度	R2年度	R3年度
4月	130	112	129
5月	127	86	116
6月	125	130	134
7月	141	125	116
8月	111	92	105
9月	115	113	114
10月	127	139	124
11月	128	128	118
12月	121	136	115
1月	101	107	111
2月	117	111	103
3月	93	135	128
	1436	1414	1413



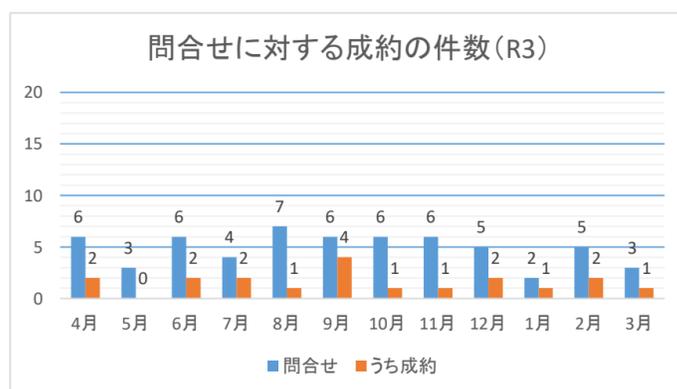
	居宅介護		
	R1年度	R2年度	R3年度
4月	17	19	44
5月	12	12	38
6月	15	19	44
7月	17	27	40
8月	20	28	39
9月	17	33	33
10月	24	42	46
11月	27	44	42
12月	29	44	48
1月	25	34	37
2月	28	47	34
3月	18	57	48
	249	406	493



Ⅲ 利用者確保活動

問合せに対する成約の件数 (R3)

	問合せ	うち成約
4月	6	2
5月	3	0
6月	6	2
7月	4	2
8月	7	1
9月	6	4
10月	6	1
11月	6	1
12月	5	2
1月	2	1
2月	5	2
3月	3	1
	59	19



	問合せ件数	成約件数	問合せに対する成約の割合 (%)
29年度	70	20	28.6
30年度	89	38	42.7
1年度	104	44	42.3
2年度	74	26	35.1
3年度	59	19	32.2

Ⅳ ヘルパーセンター開催研修実績

研修名	同行援護一般	同行援護応用	現任ヘルパー研修	現任ヘルパー研修
開催日	9/8~9/10	11/9・11/11	11/1~12/7	3月
研修内容	同行援護従業者養成研修	同行援護従業者養成研修	ヘルパーの職業倫理と個人情報保護	利用者満足度の結果について
研修時間	3日間	2日間	-	-
参加人数	11	12	全ヘルパー	全ヘルパー
概要	9月30日、10月2日、5日(本部会館)	10月6日、8日(本部会館・福祉センター)	本部会館にて個別面談方式で実施	新型コロナのため配布資料にて自宅学習

名身連第一ワークス・第一デイサービス

就労継続支援B型事業 定員24名 (名身連第一ワークス・第一デイサービス)

1. 年齢・障害原因別状況

(単位：人)

障害 年齢	脳性まひ	脳血管障害	頭部外傷後遺症	聴覚障害	その他	合計
20歳未満					1	1
20～24歳						0
25～29歳				1		1
30～34歳	2					2
35～39歳			1		1	2
40～44歳	1				1	2
45～49歳		1	2		2	5
50～54歳	1	5	1	1		8
55歳以上	1	7	1		6	15
計	5	13	5	2	11	36

平均年齢

男性	52.8 歳
女性	46.2 歳
男女平均	50.9 歳

2. 手帳所持状況

(単位：人)

愛護 身障	1度	2度	3度	4度	なし	計
1級			2	1	5	8
2級		1	3		7	11
3級				1	5	6
4・5・6級				1	6	7
なし			1	2	1	4
計	0	1	6	5	24	36

3. 支援区分

(単位：人)

区 分	人数
6	0
5	1
4	3
3	6
2	1
1	0
未認定	25
計	36

4. 登録前歴状況

(単位：人)

前歴	在宅	学生	他施設(B型)	他施設(A型)	他施設(機能訓練施設)	医療機関	その他	計
計	8	5	4	1	7	0	11	36

生活介護事業 定員20名 (名身連第一ワークス・第一デイサービス)

1. 年齢・等級別状況

(単位：人)

障害 年齢	脳性まひ	脳血管障害	頭部外傷 後遺症	疾病	聴覚障害	その他	合計
20歳未満				1	1	1	3
20歳～24歳			1	2	1	2	6
25歳～29歳	3					1	4
30歳～34歳				2			2
35歳～39歳		1		2		1	4
40歳～44歳	1			2		1	4
45歳～49歳	2			1		1	4
50歳～54歳		1					1
55歳以上	2	2	1	2			6
計	8	4	2	11	2	7	34

平均年齢

男性	39歳
女性	37.6歳
男女平均	38.4歳

2. 手帳所持状況

(単位：人)

愛護 身障	1度	2度	3度	4度	なし	計
1級	4	2	3	0	7	16
2級	1	1	1	0	4	7
3級	1	2	2	0	3	8
4・5・6級	0	0	0	0	1	1
なし	1	0	1	0	0	2
計	7	5	7	0	15	34

3. 障害支援区分

(単位：人)

区 分	人数
6	12
5	5
4	7
3	10
2	0
1	0
計	34

4. 介護状況

	起居	移動	食事	更衣	排泄
自立	20	16	25	19	18
部分介助	4	11	3	7	7
全介助	11	8	7	9	10
計	35	35	35	35	35

名身連第二ワークス・第二デイサービス

就労継続支援B型事業 定員20名 (名身連第二ワークス・第二デイサービス)

1. 年齢・障害原因別状況

(単位：人)

年齢 \ 障害	脳性まひ	脳血管障害	頭部外傷後遺症	疾病	聴覚障害	その他	合計
20歳未満	0	0	0	0	0	1	1
20～24歳	0	0	2	0	0	0	2
25～29歳	0	0	0	0	0	1	1
30～34歳	1	0	1	0	0	0	2
35～39歳	1	0	1	0	0	0	2
40～44歳	0	1	0	1	0	1	3
45～49歳	0	2	0	1	0	1	4
50～54歳	0	3	0	0	0	0	3
55歳以上	2	4	0	3	0	0	9
計	4	10	4	5	0	4	27

平均年齢

男性	48.9 歳
女性	40.8 歳
男女平均	47.3 歳

2. 手帳所持状況

(単位：人)

身障 \ 愛護	1度	2度	3度	4度	なし	計
1級	0	0	0	0	5	5
2級	0	0	1	0	7	8
3級	0	0	0	1	2	4
4・5・6級	0	0	0	0	3	3
なし	0	1	1	1	4	7
計	0	1	2	2	21	27

3. 支援区分

(単位：人)

区分	人数
6	0
5	1
4	2
3	9
2	2
1	1
未認定	12
計	27

4. 登録前歴状況

(単位：人)

前歴	在宅	学生	他施設(B型)	他施設(A型)	他施設(機能訓練施設)	医療機関	就労者	計
計	7	1	2	1	11	2	3	27

生活介護 生産活動有事業 定員20名 (名身連第二ワークス・第二デイサービス)

1. 年齢・等級別状況

(単位：人)

障害 年齢	脳性まひ	脳血管障害	頭部外傷後遺症	疾病	聴覚障害	その他	合計
20歳未満				1			1
20～24歳				1		2	3
25～29歳	1			1		1	3
30～34歳	1		1				2
35～39歳				1			1
40～44歳							0
45～49歳	3						3
50～54歳		1			1	1	3
55歳以上	1	3	2		2	1	9
計	6	4	3	4	3	5	25

平均年齢

男性	44.7 歳
女性	43.8 歳
男女平均	44.3 歳

2. 手帳所持状況

(単位：人)

愛護 身障	1度	2度	3度	4度	なし	計
1級	0	0	2	0	6	8
2級	0	0	0	0	4	4
3級	0	3	2	3	1	9
4・5・6級	0	0	1	0	0	1
なし	0	1	0	1	1	3
計	0	4	5	4	12	25

3. 障害支援区分

(単位：人)

区 分	人数
6	2
5	5
4	8
3	9
2	1
1	0
計	25

4. 介護状況

	起居	移動	食事	更衣	排泄
自立	0	0	0	0	0
部分介助	0	1	0	0	3
全介助	0	0	0	0	0
計	0	1	0	0	3

生活介護 生産活動無事業 定員20名 (名身連第二ワークス・第二デイサービス)

1. 年齢・等級別状況

(単位：人)

障害 年齢	脳性まひ	脳血管障害	頭部外傷後遺症	疾病	聴覚障害	その他	合計
20歳未満							0
20～24歳			1	1			2
25～29歳							0
30～34歳							0
35～39歳	4			2		1	7
40～44歳	1		1	1			3
45～49歳	5	1	1	1			8
50～54歳	3	1	1	1		1	7
55歳以上	1	1	1	7		4	14
計	14	3	5	13	0	6	41

平均年齢

男性	49.6 歳
女性	49.7 歳
男女平均	49.7 歳

2. 手帳所持状況

(単位：人)

愛護 身障	1度	2度	3度	4度	なし	計
1級	3	0	2	1	17	23
2級	3	0	0	0	6	9
3級	0	0	3	0	2	5
4・5・6級	0	0	0	0	1	1
なし	0	0	0	0	3	3
計	6	0	5	1	29	41

3. 障害支援区分

(単位：人)

区 分	人数
6	21
5	6
4	8
3	5
2	1
1	0
計	41

4. 介護状況

	起居	移動	食事	更衣	排泄
自立	22	9	22	17	11
部分介助	11	19	12	14	17
全介助	8	13	7	10	13
計	41	41	41	41	41

熱田区障害者基幹相談支援センター

(当月分・相談支援を利用している障害者等の人数)

	実人数	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	322	62	0	58	159	6	0	18
障害児	17	2	0	9	1	0	0	5
計	339	64	0	67	160	6	0	23
内、新規	90	14	0	16	39	0	0	11

難病患者(その他の再掲)	1
	0
	1
	0

(年度累計・相談支援を利用している障害者等の人数)

	実人数	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	322	62	0	58	159	6	0	18
障害児	17	2	0	9	1	0	0	5
計	339	64	0	67	160	6	0	23

難病患者(その他の再掲)	1
	0
	1
	0

支援内容・方法

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や症状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計	差別に関する相談(権利擁護の再掲)	虐待相談(権利擁護の再掲)
訪問	127	16	24	3	0	5	14	21	32	1	0	3	246	0	0
同行	68	1	13	0	0	1	7	2	2	0	0	2	96	0	0
個別支援会議	13	6	0	0	0	2	7	2	0	2	0	0	32	0	0
関係機関調整	13	9	1	0	0	1	0	1	0	0	7	0	32	0	0
その他	4	1	1	0	0	2	1	2	0	1	1	2	15	0	0
小計	225	33	39	3	0	11	29	28	34	4	8	7	421	0	0
来所	136	42	28	47	0	66	134	85	61	5	1	14	619	0	0
電話	528	167	118	60	3	59	135	109	74	13	10	54	1330	0	2
電子メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	664	209	146	107	3	125	269	194	135	18	11	68	1949	0	2
計	889	242	185	110	3	136	298	222	169	22	19	75	2370	0	2
ヒアリング(再掲)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

地域自立支援協議会	総会(全体会)	3	部会	17	研修会	1	その他	14	計	35
-----------	---------	---	----	----	-----	---	-----	----	---	----

事業運営費外

障害支援区分認定調査	サービス等利用計画(案)	サービス等利用計画	継続サービス利用支援	入居成立
278件	34件	34件	96件	0件

中村区障害者基幹相談支援センター

(第3号様式)

事業内容報告書

中村区障害者基礎相談支援センター

(計)

令和3年度分

(当月分・相談支援を利用している障害者等の人数)

実人数	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	516	94	2	95	287	12	3
障害児	14	1	0	6	4	3	0
計	530	95	2	101	291	15	3
内、新規	197	41	0	23	104	10	0

難病患者(その他の再掲)
7
0
7
5

(年度累計・相談支援を利用している障害者等の人数)

実人数	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	516	94	2	95	287	12	3
障害児	14	1	0	6	4	3	0
計	530	95	2	101	291	15	3

難病患者(その他の再掲)
7
0
7
7

支援内容・方法

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や症状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計	差別に関する相談(権利擁護の再掲)	虐待相談(権利擁護の再掲)
訪問	144	9	8	6	0	2	9	12	5	1	3	25	224	0	1
同行	20	1	10	1	0	1	5	7	2	0	0	9	56	0	0
個別支援会議	30	3	4	0	0	3	2	1	1	0	1	3	48	0	1
関係機関調整	3	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	7	0	0
その他	14	0	4	2	0	1	0	1	1	0	4	3	30	0	3
小計	211	15	26	9	0	7	17	22	9	1	8	40	365	0	5
来所	167	12	18	52	0	32	24	13	5	6	4	27	360	0	3
電話	1476	142	228	770	0	125	144	125	53	16	45	171	3295	0	32
電子メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	1643	154	246	822	0	157	168	138	58	22	49	198	3655	0	35
計	1854	169	272	831	0	164	185	160	67	23	57	238	4020	0	40
ヒアリング(再掲)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

地域自立支援協議会	總會(全体会)	部会	研修会	その他	計
	0	16	3	19	38

事業運営費外

障害支援区分認定調査	サービス等利用計画(案)	サービス等利用計画	継続サービス等利用支援	入居成立
588 件	10 件	11 件	30 件	0 件

障害者相談センターめいしんれん

障害者相談センターめいしんれん

1. 基本相談支援 実施状況

		合計						
		延数	身体	知的	精神	発達	難病	障害児
手段	電話・FAX・メール	1040	550	336	363	51	16	24
	来所	22	13	9	6	0	0	3
	訪問	214	116	60	71	11	4	4
内容	障害福祉サービスの利用について	725	396	198	243	18	14	20
	その他	553	284	208	197	44	6	11

2. 計画相談支援 実施状況

区分		合計						
		延数	身体	知的	精神	発達	難病	障害児
サービス等利用計画案作成		204	148	60	45	5	3	2
サービス等利用計画作成		202	146	60	44	6	1	4
継続サービス利用支援（モニタリング）実施		524	427	153	123	16	4	2

名身連聴覚言語障害者情報文化センター

手話通訳者派遣状況報告書

2021年4月1日～2022年3月31日

項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10	11	12	13	14	15	16	累計	主催	救急
	医療・健康	教育・保育	労働	行政・政治	司法・警察	住宅	財産・税務	生活	行	事	会議	教養	社会講座	ろうあ相談	テレビ	その他				
合計	3,543 (3,543)	283 (234)	164 (116)	47 (24)	48 (47)	28 (28)	50 (50)	485 (477)	9 (5)	129 (69)	296 (160)	212 (103)	5 (3)	0 (0)	0 (0)	17 (15)	5,316 (4,874)	255 (159)	36 (36)	

要約筆記者派遣状況報告書(手書き)

項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10	11	12	13	14	15	16	累計	広域	主催
	医療・健康	教育・保育	労働	行政・政治	司法・警察	住宅	財産・税務	生活	行	事	会議	教養	社会講座	ろうあ相談	テレビ	その他				
合計	3 (3)	0 (0)	0 (0)	10 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (2)	5 (3)	47 (17)	99 (37)	75 (24)	9 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	252 (93)	4 (2)	15 (5)

要約筆記者派遣状況報告書(パソコン要約)

項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10	11	12	13	14	15	16	累計	広域	主催
	医療・健康	教育・保育	労働	行政・政治	司法・警察	住宅	財産・税務	生活	行	事	会議	教養	社会講座	ろうあ相談	テレビ	その他				
合計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	25 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (17)	56 (24)	82 (34)	127 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	23 (8)	313 (90)	19 (7)	94 (26)

盲ろう者向け通訳・介助員派遣状況報告書

項目	医療・健康		教育・保育		官公庁	金融機関	司法・警察	住宅	財産・税務		生活		行事		団体活動	教養	代読・代筆	手引き	その他	累計	主催
	健康	医療	保育	教育					買物	その他	スポーツ	その他									
合計	379 (379)	6 (6)	15 (15)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	247 (247)	367 (366)	1 (1)	9 (8)	184 (125)	334 (333)	36 (36)	42 (42)	1 (1)	1,625 (1,563)	6 (3)			

()内の数字は実派遣数

手話奉仕員養成講習会

	期間	時間	会場	講師	受講者数	修了者数
奉仕員1コース	2021年6月24日～ 2022年3月31日 毎週木曜日 全33回 計66時間	13:30～ 15:30	名身連福祉 センター	佐藤愛子 山口光子	16	12
		18:30～ 20:30		松浦佳代 藤田聖子	17	13
	2021年6月25～ 2022年3月25日 毎週金曜日 全31回 計62時間	18:30～ 20:30		松浦佳代 近藤ちゆき	19	11
奉仕員2コース	2021年4月19日～ 2022年3月28日 毎週月曜日 全35回 計66時間	13:30～ 15:30	名身連福祉 センター	吉田陽子 荒川智子	20	14
		18:30～ 20:30		河口一恵 徳山公子	22	14
	2021年6月25～ 2022年3月25日 毎週金曜日 全33回 計62時間	18:30～ 20:30		吉田陽子 北村奈緒子	16	6

※ 新型コロナ感染拡大予防のため、下記期間中の講習会は中止。

○ 手話奉仕員1コース（木曜 昼・夜）

2021年5月13、20、27日、6月3、10、17日、9月2、9、16、30日

○ 手話奉仕員1コース（金曜 夜）

2021年5月14、21、28日、6月4、11、18日、8月27日、9月3、10、17、24日

○ 手話奉仕員2コース（月曜 昼・夜）

2021年5月17、24、31日、6月7、14日、8月30日、9月6、13、27日

手話通訳者養成講習会

	期間	時間	会場	講師	受講者数	修了者数
手話通訳者Ⅰコース	2021年4月8日～ 2022年3月24日 毎週木曜日 全45回 計84時間	13:30～ 15:30	名身連福祉 センター	平野 千博 青山 純子	5	5
	2021年4月13日～ 2022年3月15日 毎週火曜日 全45回 計84時間				5	2
短期集中講座1	2021年6月13日(午前午後)、20日(午前午後) 全4回 計8時間	〈午前〉 10:00～ 12:00 〈午後〉 13:30～ 15:30	名身連福祉 センター	平野 千博 徳山 公子	6	-
短期集中講座2	2021年7月22日(午前午後)、25日(午後) 全3回 計6時間				6	-

オンライン手話講習会（名古屋市委託事業）
～ 聞こえない人と一緒に学ぶ「はじめての手話講座」～

	期間	時間	会場	講師	受講者数	修了者数
(前期)	2021年6月25日～ 2021年9月10日 毎週金曜日 全10回 計20時間	18:30～ 20:30	名身連福祉 センター	河 口 一 恵 藤 田 聖 子	10	8
(後期)	2021年10月2日～ 2021年12月11日 毎週土曜日 全10回 計20時間	13:30～ 15:30	講師自宅	松 浦 佳 代 藤 田 聖 子	10	10
特別講座	2021年12月25日 2022年1月10日 2022年3月12日 全3回 計6時間	10:00～ 12:30	名身連福祉 センター	松 浦 佳 代 藤 田 聖 子	18	18

オンライン手話講習会（名身連独自事業）
～ オンライン手話特別講座～

	期間	時間	会場	講師	受講者数	修了者数
特別講座	2021年12月25日 2022年1月10日 2022年3月12日 全3回 計6時間	10:00～ 12:30	名身連福祉 センター	松 浦 佳 代 藤 田 聖 子	18	18

要約筆記者養成講習会

■手書きコース

コロナのため人数制限をしなければならず、手書きコースは開催できず。
平日昼間のパソコン登録者を増やすためパソコンコースのみ開催。

■パソコンコース

期間	時間	会場	講師	特別講座	受講者数	修了者数
2021年 4月13日 (火) ～ 2022年 2月8日 (火) 全43回 計87時間	13:30 ～ 15:30	実技は名身連 福祉センター、 講義はオンライン (ZOOM) ※一部、講義等で福祉 センター集合あり	荒川清美 岡村万記子 山岡千恵子 松井美智子 名身連職員	<ul style="list-style-type: none"> ・ フロイデ法律事務所 弁護士 寺本倫子 ・ 東洋英和女学院大学 石渡和実 ・ 社会福祉法人 聴力障害者情報文化センター 飯泉菜穂子 ・ NPO 法人東京都中途失聴・難聴 者協会 事務局長 宇田川芳江 ・ 東洋大学ライフデザイン学部 稲沢公一 ・ 名古屋市職員 	11	9

名古屋市要約筆記者認定試験対策講座

月日	時間	開催方法	講師	参加者数
				PC
1月18日（火）	10：00～12：00	ハイブリッド （オンライン、会場）	山岡千恵子 松井美智子	8
1月25日（火）	16：00～18：00	オンライン（ZOOM）		9
2月1日（火）	16：00～18：00	ハイブリッド （オンライン、会場）		7
2月8日（火）	10：00～12：00	ハイブリッド （オンライン、会場）		8
2月15日（火）	13：30～15：30	会場（福祉センター）		9

※手書きは対象者おらず

手話通訳者研修会

月日	内容・テーマ	講師	参加者数
8月7日(土)	相互理解の援助技術	NPO インフォメーションギャップバスター理事長 伊藤芳浩(ろう講師)	会場参加 6 ZOOM 参加 18
12月18日(土)	読み取り通訳実践	聴言センター専任手話通訳士	12
12月18日(土)	聞き取り通訳実践①	関西学院大学 手話言語研修センター 助教 前川 和美(ろう講師)	会場参加 6 ZOOM 参加 16
1月8日(土)	聞き取り通訳実践②	関西学院大学 手話言語研修センター 助教 前川 和美(ろう講師)	会場参加 5 ZOOM 参加 15
3月26日(土)	読み取り通訳実践	関西学院大学 手話言語研修センター 助教 下谷奈津子	会場参加 2 ZOOM 参加 11

盲ろう者向け通訳・介助員研修会

研修会を開催することができませんでした。その理由として、派遣ルールを変更するにあたり、派遣を利用する盲ろう者に対し3度の説明会、個別での説明など年間を通し開催しました。この関連する様々な場面で多くの盲ろう者および通訳介助員にサポートを頂き、盲ろう者、通訳介助員、聴言センターの三者で活動する機会は、例年以上に多い1年でしたが、ルール変更の説明会を優先したことで研修会の予定を立てることが難しい状況でした。

10月24日(日) 社会福祉法人全国盲ろう者協会主催で開催された『盲ろう児者の医療と福祉』をテーマにしたオンライン勉強会の呼びかけは、盲ろう者向け通訳・介助員に参加いただくことができました。

要約筆記者研修会

月日	内容・テーマ	講師	開催方法	参加者数	視聴者数
★8月10日(火)	日本国憲法と基本的人権の尊重	フロイデ法律事務所事務所 弁護士 寺本倫子	オンライン (ZOOM)	7	9
★8月17日(火)	社会福祉の理念と歴史	東洋英和女学院大学 石渡和実		8	11
★8月24日(火)	ろう運動史・ろう教育史 手話通訳の理論と実施	社会福祉法人 聴力障害者情報文化センター 飯泉菜穂子		8	12
★8月31日(火)	聴覚障害者の社会参加と実績 コミュニケーション支援の位置づけ	社会福祉法人 聴力障害者情報文化センター 飯泉菜穂子		10	10
★9月7日(火)	当該自治体の障害者福祉制度 身体障害者法+障害者総合支援法	名古屋市健康福祉局障害福祉 部障害企画課職員、 名身連職員		11	8
★1月25日(火)	中途失聴・難聴者の臨床心理 カウンセリングの基礎理論	東京都中途失聴・難聴者協会 事務局長 宇田川芳江		3	14
★1月30日(日)	対人援助の基礎理論 観察技術	東洋大学ライフデザイン学部 稲沢公一		2	11
2月7日(月)	事例検討 (手書き・パソコン)	名古屋市認定要約筆記者	オンライン (ZOOM)	16	
3月13日(日)	ハイブリッド形式の現場を 想定した実習 (パソコン)	名古屋市認定要約筆記者	名身連 福祉 センター	9	
3月20日(日)	OHC全体投影の実習 (手書き)	名古屋市認定要約筆記者		9	

※★は要約筆記者養成講習会との合同研修。手書き、パソコンともに。

※視聴者数は、当日参加できない人で申込者限定に1週間限定で配信して感想の提出があった人数。要約筆記者養成講習会が平日の昼間に開催のため、参加できない現任要約筆記者に対して視聴を設けた。★の合同研修会のみに対する対応。

専任手話通訳派遣の実績

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
医療・健康	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4
教育・保育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
労働	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
行政・政治	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
司法・警察	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
住宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和3年度	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
行事	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
遠隔通訳	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
その他	2	0	1	0	3	2	0	3	2	2	2	3	24
計	3	3	3	3	2	1	4	3	2	4	4	4	35

遠隔は、新型コロナウイルスの感染が広がり陽性者や保健所の指示でPCR検査を受ける際に専任が対応した。対応が難しいケースや相談対応中に関連する内容は専任が継続した。

2022年度で専任手話通訳者の数が6名となったが、経験や技術の差を縮め、対応が難しいケースを誰でも担えるようスキルアップが必要。

DVD・ビデオテープ貸し出し実績

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
教養・趣味	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
記録・報道	0	1	4	2	2	0	0	0	0	0	1	0	10
教育・教材	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
映画・ドラマ	4	3	2	2	3	0	0	0	0	0	0	0	14
健康	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
子供向けアニメ	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	10
スポーツ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
芸能・娯楽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自主制作	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
報道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
手話教材	0	0	3	0	0	0	0	0	2	2	0	0	5
その他	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	4
計	8	4	10	6	5	0	0	0	4	1	2	5	45

社会情勢の変化などもあり貸し出し本数は減少傾向だが、令和3年度は各講習会が開催できたこともあり受講者の利用が増えたためか昨年度(計22本)より増加している。近年、利用者は手話を勉強する聴こえる人が多い傾向にある。当事者ニーズを把握し他事業への巻き替えを以前より計画し取り組んでおり、引き続き進めている。

ライブラリー・グループ学習スペース利用報告書

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和3年	0	1	1	2	1	0	1	0	0	1	0	2	9

登録グループは、2022年3月末までに6グループ(手話関係4、要約関係2)となった。2020年10月より3階ライブラリーにグループ学習スペースを設け、聴覚障害に関わる勉強をグループでやるときに利用できるようになった。コロナ禍のため定員より少ない人数制限にて行っていることもあり、利用はまだ少ないが、少しずつ登録が増えている状況。またグループ学習スペースについて、知らない人も多いため講座等で周知していきたい。

聴覚障害者相談の実績

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
①労働(就労)	1	1	2	1	2	3	1	0	2	2	1	1	17
②教育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③医療	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
④通訳派遣	0	0	1	4	1	1	1	1	2	0	1	1	12
⑤家族	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
⑥福祉・介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
⑦コミュニケーション手段の獲得	2	0	0	1	2	2	0	2	0	0	0	0	9
⑧金銭トラブル	0	3	2	0	0	1	0	0	0	0	1	3	10
⑨契約関係	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
⑩支援会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑪上記以外の単独相談	0	2	2	0	1	2	2	1	4	0	1	2	17
⑫生活全般(複数内容、包括的支援)	2	1	2	2	0	0	1	1	1	0	0	1	11
⑬日本語理解のサポート	5	2	3	2	6	7	6	4	5	6	6	3	55
計	10	9	12	12	13	16	11	9	14	8	11	12	137

全体件数としては昨年度と比較し1.05倍(R2年度130件→R3年度137件)と微増である。前年度多く占めた「生活(31件)」と「その他(47件)」は内容の区別が曖昧だったため、内容を整理し項目を「⑪上記(①～⑩)以外の単独内容」「⑫生活全般(複数内容、包括的支援)」「⑬日本語理解のサポート」に分けて見直した。その結果「日本語理解のサポート」が多く占めた(35件/全体の40%)。「生活全般(複数内容、包括的支援)」は以前からの継続支援によるケースも含まれる。労働(就労)も多く占めたが、特定の方の継続支援(別に支援者が付いており聴言センターは連携の形で支援)も含まれている他、仕事探しということで就労センターに繋いだケースもある。「通訳派遣」は利用に関する相談(公費派遣の可否等)とグループがほぼ半々であった。なお、本年度はコロナ禍による影響はあまりみられなかった。

中継サービスの実績

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和3年度	45	49	37	41	67	56	63	56	66	68	56	44	648
生活	0	3	3	1	1	0	0	2	0	2	0	2	14
職業	4	12	7	1	5	4	6	0	0	1	0	0	40
その他	49	64	47	43	73	60	69	58	66	71	56	46	702
計	4	4	49	37	67	56	63	56	66	68	56	44	648

昨年度と比較し全体の件数が1.2倍の増加(令和2年度579件→令和3年度702件)。令和3年7月から公共インフラとして電話リレーサービスが開始した。開始してから7月～3月を昨年度の7月～3月と比較しても1.2倍の増加だった。電話リレーサービスの利用の周知が行き届いていない等の理由もあり、中継サービスの利用件数は増加の一途を辿っている。電話リレーサービスは、聴覚障害者等の自立した日常生活、社会生活の確保に寄与した国の制度であるため、今後も継続して中継サービスの利用者に電話リレーサービスを利用するよう促したい。それにより電話リレーサービスの利用が難しい聴覚障害者が中継サービスを利用するといふすみ分けができるようになるという。

コミュニケーション機器貸出
ビデオ・DVD 館内利用本数

種別 月別	集団補聴器 貸出件数	O H P		O H C		パソコン			ICT 件数	プロジェ クター 件数	ビデオ・DVD 館内利用本数
		貸出 件数	貸出 台数	貸出 件数	貸出 台数	貸出 件数	貸出 台数	遠隔用 台数			
4月	1	0	0	0	0	10	10	7	0	0	0
5月	3	0	0	1	1	7	7	3	4	1	0
6月	2	0	0	0	0	9	9	6	0	1	0
7月	1	0	0	2	2	11	11	6	0	1	1
8月	0	0	0	0	0	3	2	0	1	0	0
9月	1	0	0	1	1	6	5	3	1	0	0
10月	3	0	0	2	2	4	3	3	1	0	0
11月	0	0	0	0	0	5	5	2	0	0	0
12月	4	0	0	1	1	9	8	1	0	0	0
1月	2	0	0	3	3	5	5	1	0	0	0
2月	2	0	0	1	1	4	3	3	1	0	0
3月	1	0	0	2	2	3	3	3	1	0	0
合計	20	0	0	13	13	76	71	38	9	3	1

社会教育講座

■ 1日講座

	開催日	講座名	講師	会場	受講者数
1日講座	2021年 10月5日(火)	レジンアクセサリー 講座	レジン専門店 Abc500en 代表 勅使川原由紀	名身連福祉センター	9
	2021年 12月4日(土)	簡単楽しい 手ツボ講座	アズ倶楽部株式会社 都築麻尋	名身連福祉センター	10
	2022年 1月25日(土)	からだを温める 薬膳法	アズ倶楽部株式会社 都築麻尋	名身連福祉センター	10

■ 年間講座

年間講座	2021年7月3日～ 2022年3月5日 毎週土曜日 (21回)	中途失聴者・難聴者対象 手話教室～初級～	名古屋市認定手話通訳者 吉松 壽子	名身連福祉センター	5
	2021年7月3日～ 2022年3月5日 毎週土曜日 (18回)	中途失聴者・難聴者対象 手話教室～中級～	名古屋市認定手話通訳者 佐々木 明美	名身連福祉センター	17
	2021年7月10日～ 2022年2月26日 不定期土曜日 (15回)	手話倶楽部	名古屋市認定手話通訳者 吉松 壽子	名身連福祉センター	22

※ 新型コロナ感染拡大予防のため、下記期間中の講習会は中止。

○ 手話教室（初級）

2021年8月28日、9月4日、11日、25日

○ 手話教室（中級）

2021年9月4日、11日

○ 手話倶楽部

2021年8月28日、9月11日、25日

聴覚障害者相談員研修会

実施日	時間	場所	内容	講師	参加人数
令和4年 3月5日 (土)	13:30～ 15:30	名身連福祉 センター	高齢・介護関係の相談に 対応するために	一般社団法人 名古屋市 療養サービス事業団 緑区南部いきいき支援 センター 所長 辻 理恵 次長 仙田 裕子	8

情報提供事業

■情報誌発行

- (1) 発行回数 3回（年間）
- (2) 発行部数 1500部
- (3) 配布先 聴覚障害者、聴覚障害者団体、手話サークル、公共機関等 約170箇所
- (4) 内容

発刊号	内容
第1号	〔特集〕 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）発表後の「事前避難」について 〔その他〕 2021年度社会講座の案内 / エジプト考古学者河江肖剰氏より著者寄贈
第2号	〔特集〕 新型コロナウイルスワクチン追加接種（3回目）について 〔その他〕 盲ろう児者の医療支援施設検索サイトの案内 / 2021年度名古屋市認定手話通訳者合格者の紹介 / 手話通訳・要約筆記のある行事案内
第3号	〔特集〕 遠隔要約筆記派遣について 〔その他〕 2022年度社会講座の案内 / 2021年度聴言ボランティア活動報告 / みんなと耳のプレコンサートの報告

■手話・字幕付き動画制作

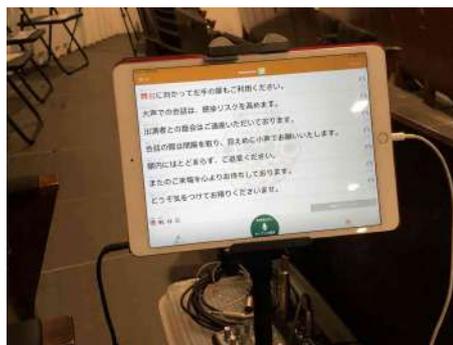
- (1) 作成本数 6タイトル 9本
- (2) 配信場所 名身連ホームページ（YouTubeにリンク）
- (3) 内容（タイトル）

	内容（タイトル）	配信月
1	名古屋市長選 ～期日前投票・不在者投票～	4月
2	新型コロナウイルスワクチン接種予約	5月
3	特別福祉乗車券対象拡大のご案内	6月
4-1) 4-2) 4-3)	手話通訳者派遣 1) 申込み基本情報 2) メールでの申込み 3) 警報発令時の対応	6月
5	新型コロナウイルスワクチン障害者優先接種の予約サポート体制	7月
6-1) 6-2)	新型コロナウイルス対応の遠隔手話通訳・要約筆記サービス 1) 基本情報 2) 模擬	11月

音声認識事業

音声認識アプリ（UD トーク）を使用した字幕対応

芸術関連（歌や演劇など）について、手話通訳や要約筆記の対象とならないケースについて情報保障をどうするのか検討を重ねた結果として、ICT（音声認識）の活用を進めている。担い手としてのサポーター養成も行っている。



宗次ホールでの耳の日プレコンサートにおける実施の様子

文化活動

新型コロナウイルス感染症の予防および拡大防止のため開催中止

字幕映画

[まごのて（協力）]

活動日	時間	活動場所	内容
<p>原則として 第2火曜日</p>	<p>19:30~20:30</p> <p>1. 定例例会の 18:30~20:30 のうち、約1時 間を字幕活動に 充てる</p> <p>2. 本年度は、 感染症対策とし て、原則オンラ インに変更し、 2月か月に1回 程度開催</p>	<p>オフライン の場合は、 名古屋市総 合社会福祉 会館</p>	<p>内 容 名古屋市科学館の観望会に字幕を付ける 会 場 名古屋市科学館</p> <p>（プラネタリウムの上映に字幕を付けるため には、バックヤードで複数名が互いの声が聞け、作 業画面を共有するなど、密になる作業が避けられ ない。新型コロナウイルスによる感染の波がいつ 収まるか予測できない状況が続いたため、今年度 の字幕プラネタリウムの実施は見送り、オンライ ンの観望会（1/29）に字幕を付けることを企画。 まごのて側もオンラインにして字幕を付ける方法 を検討したが、観望会では、星空の映像を映すた め、字幕を挿入することで解像度が低下するとい う問題を回避できず、実施を見送った）</p>
		<p>オンライン の場合は、 ZOOM を利用</p>	<p>内 容 名古屋市科学館の公式動画字幕をつける 会 場 名古屋市科学館公式チャンネル</p> <p>（上記観望会の収録動画も、公式チャンネルに 登録されるため、登録後に字幕データを科学館に 提供し、チャンネル主催者により字幕をアップロ ードすることで動画の解像度に影響を与えず字幕 を付ける方法を検討、可能であることが分かった ので、取り敢えず、公式チャンネルの2つの動画 に字幕を付けた（公開済み））</p>
			<p>内 容 知事・市長会見の字幕制作</p> <p>愛知県や名古屋市が知事・市長の会見を公式に YouTube で公開している。これに字幕がない問題 を名難聴と話し合い、要望していく方向性につい て合意した。</p> <p>名古屋市科学館の公式チャンネルに字幕を付け た方法を用いると、クローズドキャプションにで き、英語字幕などとの共存が可能なことも分かっ たので、この方式で今後の活動を検討する。</p>
			<p>備考：次年度に向けての準備作業</p> <p>ここ数年、字幕付与に音声認識を用いてきた。音声認 識には独特癖があり、認識しやすい単語や認識しやすい 話し方、などがあることが分かってきており、そうした 経験を蓄積してきた。</p> <p>この経験を要約筆記に生かす、という観点で、登要会 なごやとの共同研究の話があり、2022年度に共同研究を 行なう方向で話し合いを進めてきた。</p> <p>要約筆記に音声認識を用いる作業は、プラネタリウム の上演に字幕を付ける活動で蓄積した経験やスキルが生 かせると考えた。また要約筆記に音声認識を用いるため の研究は、リアルタイム字幕に生かせる面があること も、検討の中でみえてきた。</p> <p>このため、次年度にこうした共同研究を行なうことと し、これに向けて、予備的な検討などを行なった。</p>

ICTサポート事業報告

【ICT関連 個別相談・対応案件】

	月日	聴障・健聴	相談方法	内容	年齢	関係機関との関わり、その他
1	9月3日	聴障	来館	ポケットタブレットminiのトライアル 対応 機器貸出も含め調整	60代	日常生活上で使用できるかどうかの確認
2	9月3日	聴障・健聴	電話 FAX	ポケットタブレットminiのトライアル 対応 機器貸出も含め調整	70代	名古屋市内の就労継続支援B型での 作業時における活用
3	9月28日	聴障・健聴	電話 FAX	ポケットタブレットminiのトライアル 対応 機器貸出も含め調整	60代	名古屋市内介護保険事業所との連携
4	10月28日	健聴	電話	音声認識に関する情報の伝達	20代	名古屋市内の大学へ通学中 講義におけるアプリ使用に関する相談
5	10月29日	健聴	電話	ポケットタブレットminiのトライアル 対応 機器貸出も含め調整		名古屋市内の社会福祉協議会からの 問い合わせ
6	10月30日	聴障	来館 メール	ポケットタブレットminiのトライアル 対応 機器貸出も含め調整	70代	社会講座「手話倶楽部」利用者
7	11月11日	聴障	来館	メールの使用方法について相談あり	50代	手話派遣利用者、メールの使用方法について 教示して対応
8	11月11日	健聴	メール 来館	音声認識に関する情報の伝達		名古屋市内の大学における障害学生支援
9	11月11日	聴障	来館	音声認識に関する情報の伝達	70代	在宅で利用する際の設定方法に関する相談
10	12月17日	聴障	来館	LINEの乗っ取り被害の対応	40代	LINEの乗っ取り被害対応策について相談
11	2月7日	聴障	来館	音声認識に関する情報の伝達	60代	音声認識アプリの活用についての相談 機器を貸出対応
12	3月7日	聴障	来館	メールの使用方法について相談あり	70代	区内の聴覚障害当事者
13	3月14日	聴障	来館	メールの使用方法について相談あり	70代	区内の聴覚障害当事者

聴言ボランティア活動

	日程	時間	会場	活動件数	活動人数
名身連第二デイの手話体験講座に講師とサポーターを派遣	R3年4月19日～ R4年3月21日	13:30～ 14:30	名身連福祉センター	16	43
社会講座(参加者のサポート)	R3年10月15日 R4年1月25日	13:30～ 15:30	名身連福祉センター	2	3
その他(聴言ライブラリーの整理整頓、名身連第二デイの作業サポーターを派遣等)	日程不定	時間不定	名身連福祉センター	4	7

○登録者数 22名

喉頭摘出無声障害者発声訓練講習会

1, 喉頭摘出無声障害者の発声リハビリテーションによる社会復帰への援助教室

(1)第一教室(名古屋大学付属病院)正午～午後2時

月	日	出席者数	備考	月	日	出席者数	備考	
R3 4	3	中止	名大病院	R3 10	2	中止	名大病院	
	10	〃	〃		9	〃	〃	
	17	〃	〃		16	〃	〃	
	24	〃	〃		23	〃	〃	
5	1	〃	〃	11	13	11	名身連本部会館	
	8	〃	〃		27	21	〃	
	15	〃	〃	12	11	26	〃	
	22	〃	〃 総会		25	17	〃	
6	5	〃	名大病院	R4 1	8	13	〃	
	12	〃	〃		22	中止	〃	
	19	〃	〃		2		〃	名大病院
	26	〃	〃				〃	〃
7	3	〃	〃	3		〃	〃	
	10	〃	〃			〃	〃	
	17	〃	〃			〃	〃	
	24	〃	〃		〃	〃		
8	夏休み			計		88名		
9	4	中止	名大病院					
	11	〃	名身連本部会館					
	18	〃	名大病院					
	25	〃	名身連本部会館					

新型コロナウイルス感染症拡大により名大病院が使用不可の為、教室を閉めていましたが、

R3.11月～R4.1月まで名身連本部会館2F会議室にて臨時教室を開講する。

R4.1月中旬よりオミクロン株の急拡大の為、再度教室を中止しました。

(2)第二教室(名古屋市立大学付属病院) 正午～午後2時

月	日	出席者数	備考	月	日	出席者数	備考
R3 4	6	中止	名市大病院	R3 10	5	中止	名市大病院
	13	〃	〃		12	〃	〃
	20	〃	〃		19	〃	〃
	27	〃	〃		26	〃	〃
5	11	〃	〃	11	2	〃	〃
	18	〃	〃		9	〃	〃
	25	〃	〃		16	〃	〃
6	1	〃	〃	12	7	〃	〃
	8	〃	〃		14	〃	〃
	15	〃	〃		21	〃	〃
	22	〃	〃		R4 1	11	17
7	6	〃	〃	18		中止	〃
	13	〃	〃	25	〃	〃	
	20	〃	〃	2	1	〃	〃
27	〃	〃	8		〃	〃	
8	夏休み				15	〃	〃
	9	7	中止	〃	22	〃	〃
14		〃	〃	R4 3	1	〃	〃
21		〃	〃		8	〃	〃
21		〃	〃		15	〃	〃
			22		〃	〃	
計						17名	

新型コロナウイルス感染症拡大により名市大病院が使用不可の為、教室を閉めていましたが、R4.1月より教室再開が認められ1月11日開講しました。
しかしながら1月中旬よりオミクロン株の急拡大の為、再度教室を中止しました。

(3)第三教室(多治見病院) 午後1時～午後3時

月	日	出席者数	場所・備考
R3 12	2	5	多治見市総合福祉センター
	9	5	〃
	16	5	〃
	23	5	〃
R4 1	6	3	
	13	3	
計		26名	

(注)
出席者26名の内6名は
愛知県豊田市在住で訓練士です。

新型コロナウイルス感染症拡大により多治見病院が使用不可の為、教室を閉めていましたが、R3.11月コロナ感染症が落ち着いてきたのでR3.12月より多治見総合福祉センターにて臨時教室を開きました。

しかしながら1月中旬よりオミクロン株の急拡大の為、再度教室を中止しました。

(4)教室出席者

第一教室(名大・名身連本部)	5日	88名
第二教室(名市大)	1日	17名
第三教室(多治見・多治見総合福祉センター)	6日	26名
計	12日	131名

出席者26名の内6名は
愛知県豊田市在住で訓練士です。

2. 名声会 会報発行 令和3年5月発刊

3. 総会 書面にて実施

4. 新年会 中止

5. 春、秋研修旅行 中止

6. 日喉連 中部日本ブロック発声指導者研修会
静岡県静鈴会が当番で9月15日(水)～17日(金)開催予定 中止

7. 名古屋市立大学医学部学生のリハビリ教室の見学 中止

8. 会員への福祉用具用品の販売

9. 教室閉鎖中の会員との交信
(1)新型コロナウイルス対応について 5回実施
(2)役員会 文書にて
(3)その他

以上

障害者就労支援センターめいしんれん

R3 年度就労支援センター事業報告

名古屋市内から委託を受け、障害者就業・生活支援センターと同じ機能を持つ事業として 4 年が経ちました。令和 3 年度もコロナ禍の影響がありました。在宅勤務の時間が増えることにより、移動時間がない、一人の作業で集中できたというメリットがある一方で、職場への訪問を控えることで十分な定着支援ができなくなった、長時間家にいることで孤独感を感じてしまい体調を崩されたというデメリットもありました。就職活動の在り方にも変化があり、リモートでの面接や説明会をする機会も増えてきています。働き方や就職活動の環境の変化に順応しながら障害者の就労面・生活面の支援をするなかで、就職件数など目標を達成できている項目もありますが、支援の質を担保する為の課題も残しています。

目標数値に対する実績について

目標数値については、名古屋市より名古屋市内における 4 センターの実績平均(職員 1 人当たりに換算)を目標として、毎年数値設定がされます。

【令和 3 年度実績】

	職員数		累計 登録者数	新規 登録者数	相談・支 援件数	就職件数	1 年後の職 場定着率
令和 3 年度	5 人	目標		110 名	6,085 件	60 件	80%
		実績	450 人	87 名	4,645 件	71 件	81%

登録者中の内、障害種別では精神障害が半数、残りの半数が身体、知的障害。(割合はほぼ同じ数)新規の登録者数は 8 割程が精神障害となります。

取り組み内容について

① 職員の知識、技術向上

- ・職員個々の支援力の差にバラつきなく、統一した支援技術を目指す。

支援員による標準化した支援をするためにインタークからフォローアップまでの流れについて支援プロセス、障害種別ごとに見るべきポイントの見える化、体系化を行いました。

② 利用者満足度の向上

- ・年に 1 度の利用者満足度アンケートを実施して、支援の質を上げるために反映させていただいています。安心して相談できる体制作り、適切な情報提供に努めました。

③ 部署間の連携によるサービスの質の向上

- ・就労面では B 型からステップアップのための就労センターへの登録、生活面では基幹相談支援センターや特定相談など、専門部署との連携を図ることにより多面的な就労・生活面の支援に努めてきました。

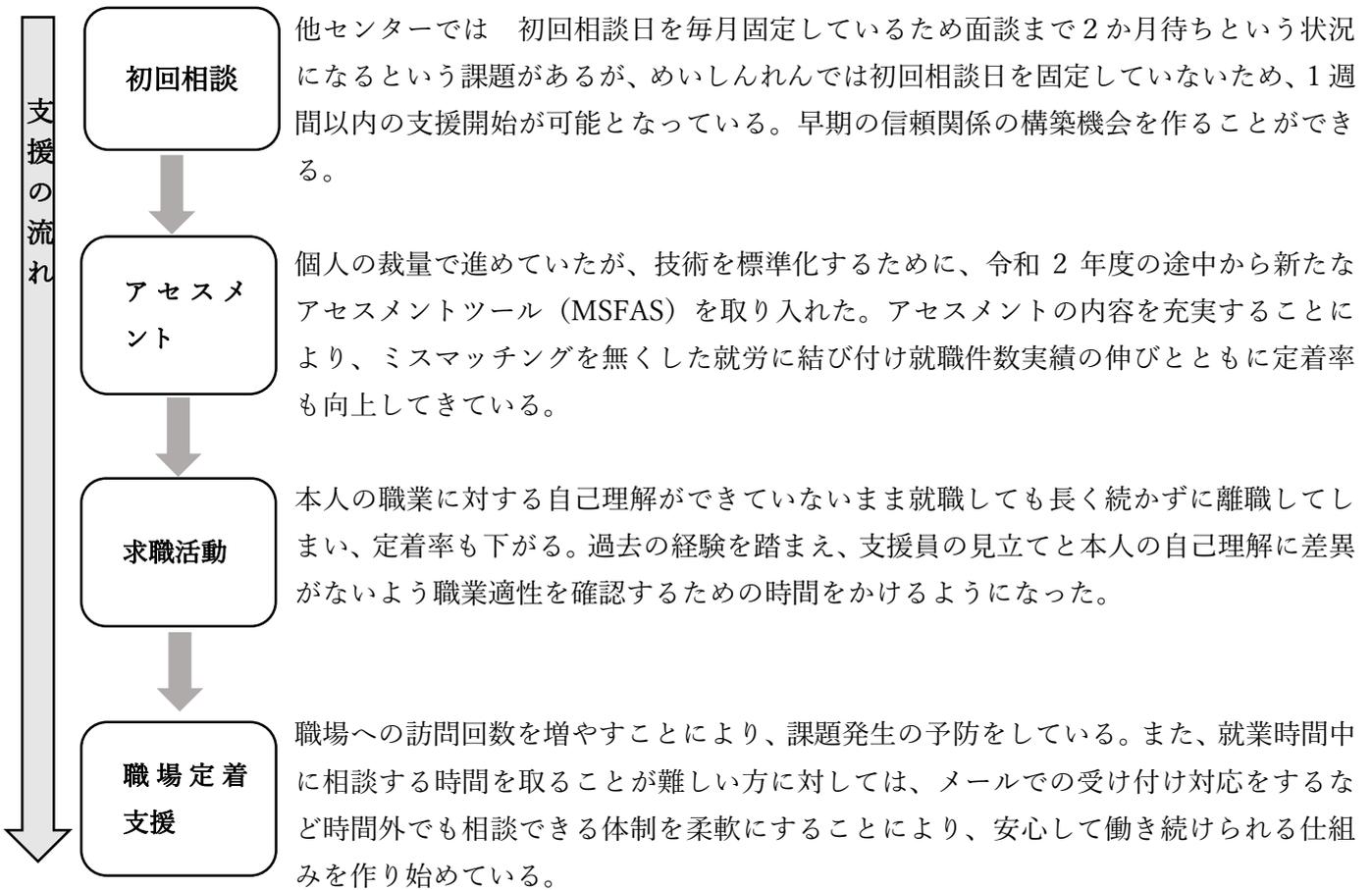
④ 職業開拓、定着率の向上

・離職のミスマッチを防ぐための実習活用、ハローワークだけではなく、県内に設置されている就労支援窓口を活用した新たな雇用機会をつくることに努めてきました。

⑤ 地域に開かれたサービスの連携

・名古屋市内、県内の同事業者との情報交換等の機会をつくり、障害者雇用情勢の情報収集やケースの共有をしてきました。

支援の流れについて



サニーライフめいしんれん

令和3年度 サニーライフ事業報告資料

1. 見学、相談者の状況 (単位)：人

区分	利用	未利用	次年度利用	計
人数	10	38	2	50

2. 利用に至った見学、相談者の紹介経路 (単位)：人

区分	ハローワーク	役場	特定相談	就業・生活支援センター	病院、クリニック	本人・家族	その他	計
人数	1	1	5	1	2	0	0	10

3. 利用者の状況(年度末現在) (単位)：人

区分	前年からの継続	新規利用者数	終了者数	年度末利用者数	一月平均利用者数	平均年齢(歳)
就労移行支援(定員10→20)	23	10	18	18	16.6	31.2

4. 利用者の障害原因別・年齢別状況 左：男性、右：女性 (単位)：人

区分	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～60歳	65歳～	計
発達障害		7	3	1	1			15
精神障害		1	4	1	3	1		15
知的障害	2							2
高次脳機能障害				1	1			2
身体障害	1							1
その他								0
※重複障害のある利用者については主症状で記載した								35

5. 利用者の在籍地 (単位)：人

区分	犬山市	江南市	岩倉市	扶桑町	大口町	小牧市	その他	計
人数	15	1	2	8	4	5	0	35

6. 利用終了後の社会復帰状況 (単位)：人

区分	人数	
一般就労(トライアル)	6(2)	
他施設利用	就労移行	0
	就労継続A型	2
	就労継続B型	1
学校	1	
入院	0	
その他	6	
計	18	

7. 利用者の職場定着状況 (単位)：人

区分	人数
継続	12
離職	0

名身連グループホーム中村

1. 年齢・等級別状況

(単位：人)

障害 年齢	脳性まひ	脳血管障害	頭部外傷 後遺症	疾病	聴覚障害	その他	合計
20歳未満							0
20歳～24歳							0
25歳～29歳				1			1
30歳～34歳	1						1
35歳～39歳							0
40歳～44歳	2						2
45歳～49歳	1						1
50歳～54歳		1				1	2
55歳以上			1	1		1	3
計	4	1	1	2	0	2	10

平均年齢

男性	38.6
女性	57.4
男女平均	48.0

2. 手帳所持状況

(単位：人)

愛護 身障	1度	2度	3度	4度	なし	計
1級		2			3	5
2級		2				2
3級				1		1
4・5・6級						0
なし			1		1	2
計	0	4	1	1	4	10

3. 障害支援区分

(単位：人)

区 分	人数
6	1
5	3
4	2
3	4
2	
1	
計	10

4. 介護状況

	起居	移動	食事	更衣	排泄	入浴
自立	9	7	9	6	8	6
部分介助	0	3	1	3	1	3
全介助	1	0	0	1	1	1
計	10	10	10	10	10	10

5. 退所

	利用期間	退所先	退所理由